

電キヤビ・ACAD-Parts

オペレータ

トレーニングマニュアル



本書について

本書の全部または一部を無断で転載することは禁止します。

本書の内容に関しましては予告なく変更することがあります。

本書の操作は Windows10 を基本として説明しています。Windows10 の更新状態によりましては、スタートメニューからの選択肢表現が異なる場合がございます。

運用した結果の影響につきましては責任を負いかねますのでご了承ください。

本書の操作画面イメージは BricsCAD を利用しております。

電キャビ・ACAD-Parts オペレータトレーニングマニュアル

目次

1 章	はじめに	1
1.1	電キャビ・ACAD-Parts マニュアルについて	2
1.1.1.	本マニュアルの目的	2
1.1.2.	本マニュアルの流れについて	3
2 章	電キャビについて	5
2.1	電キャビとは	6
2.1.1.	電キャビについて	6
2.1.2.	電キャビの起動方法	6
2.1.3.	電キャビの初期画面	7
3 章	フォルダ・ファイル	9
3.1	ボリューム	10
3.1.1.	環境ファイルのインポート	10
3.1.2.	図面庫フォルダの作成	11
3.1.3.	ボリュームの作成	12
3.1.4.	ボリュームの追加	13
3.1.5.	ボリュームのプロパティ	14
3.1.6.	ボリュームの削除 (階層設定の変更)	15
3.2	フォルダ	17
3.2.1.	フォルダの新規作成	17
3.2.2.	フォルダのコピー・貼り付け	20
3.2.3.	フォルダのプロパティ編集	21
3.2.4.	フォルダの削除	22
3.2.5.	フォルダの復元	23

3.3	ファイル	24
3.3.1.	ファイルの新規作成	24
3.3.2.	複数ファイルの新規作成	26
3.3.3.	ファイルのコピー・貼り付け	28
3.3.4.	ファイルのソート	29
3.3.5.	プロパティ編集と図枠転記	30
3.3.6.	プロパティ編集(一括)	31
3.3.7.	名前の一括変更	32
3.3.8.	プロパティ情報の出力	34
4章	インポート・検索・連続印刷	35
4.1	インポート	36
4.1.1.	フォルダのインポート	36
4.1.2.	ファイルのインポート	38
4.2	図題インポート	40
4.2.1.	図題インポート	40
4.3	検索	41
4.3.1.	フォルダ、ファイルの検索	41
4.3.2.	図面内の検索(dwg 検索)	42
4.4	連続印刷	44
4.4.1.	ファイルを選択して印刷	44
4.4.2.	フォルダを選択して印刷	45
5章	目次・履歴	47
5.1	目次作成	48
5.1.1.	目次作成時のご注意	48
5.1.2.	目次作成の設定	48
5.1.3.	目次作成の実行	49
5.1.4.	目次作成画面から項目編集	50

5.1.5. 行の追加	52
5.2 履歴管理	55
5.2.1. 履歴管理の事前確認	55
5.2.2. 履歴管理 (物件単位 - ページ編集)	57
5.2.3. 履歴編集 (物件単位 - 物件編集)	58
5.2.4. 履歴管理 (ページ単位 - ページ編集)	63
6 章 ACAD-Parts	65
6.1 ACAD-Parts とは	66
6.1.1. ACAD-Parts の概要と目的	66
6.1.2. ACAD-Parts について	66
6.1.3. ACAD-Parts の起動方法	66
7 章 部品表作成	67
7.1 部品表抽出図面作成	68
7.1.1. シンボル入力 (部品マスタ)	68
7.1.2. 部品マスタ検索	70
7.2 部品情報抽出	71
7.2.1. 部品情報の抽出と反映	71
7.2.2. 部品情報更新 (部品マスタ)	73
7.3 部品表作成	75
7.3.1. スタイル選択	75
7.3.2. 部品情報の集約	77
7.3.3. テンプレート選択、部品表出力	78
7.3.4. CSV への出力	80
8 章 盤図コマンド	83
8.1 器具仮配置	84
8.1.1. 物件の作成	84

目次

8.1.2. 部品情報の抽出	87
8.1.3. 器具仮配置	88
8.2 盤構造ブラウザ	90
8.2.1. 盤構造ブラウザを使用する前に	90
8.2.2. 盤構造ブラウザを開く	91
8.2.3. 部品の配置	92
8.1.4. 設計変更	95
8.3 端子配置	99
8.3.1. 端子配置の前に	99
8.3.2. ブロック端子仮配置	101
8.3.3. 組合せ端子仮配置	103
8.4 Parts 外部ファイル照合	107
8.4.1. 情報の照合	107
8.5 Parts 回路図・盤図照合	109
8.5.1. 情報の照合	109

1 章

はじめに

本マニュアルの目的とトレーニングの流れについて説明します。

1.1

電キャビ・ACAD-Parts マニュアルについて

本マニュアルの流れと、目的について説明します。

1.1.1. 本マニュアルの目的

本マニュアルは以下の内容について説明しています。

- フォルダ・ファイル編集について
- 目次作成・履歴管理について
- ACAD-Parts について
- 部品表作成について
- 盤図コマンドについて

本マニュアルの内容に沿って操作を練習していただくことで、
電キャビ・ACAD-Parts の機能を活用した作図操作を行えるようになります。

1.1.2. 本マニュアルの流れについて

電キャビ・ACAD-Parts マニュアルの流れと、その内容を説明します。

1 章 . はじめに

■ 電キャビ・ACAD-Parts マニュアルについて

本マニュアルの目的と流れについて説明しています。

2 章 . 電キャビの概要

■ 電キャビについて

電キャビの概要について説明しています。

3 章 . フォルダ・ファイル編集

■ ボリュームの作成 / 追加 / 削除
■ フォルダの作成 / 追加 / 削除
■ ファイルの作成 / 追加 / 削除

電キャビでフォルダ・ファイルを編集する操作を説明しています。

4 章 . インポート・検索・連続印刷

■ インポート
■ 検索
■ 連続印刷

電キャビでインポート・検索・連続印刷を実行する操作を説明しています。

5 章 . 目次作成・履歴管理

■ 目次作成
■ 履歴管理の編集
■ 履歴管理の変更と追加

電キャビで目次作成・履歴管理を実行する操作を説明しています。

6 章 . ACAD-Parts の概要

■ ACAD-Parts について

ACAD-Parts の概要について説明しています。

7 章 . 部品表作成

■ 部品表抽出図面作成
■ 部品情報抽出
■ 部品表作成

ACAD-Parts で部品表作成を実行する操作を説明しています。

8 章 . 盤図コマンド

- 盤構造ブラウザ
- 器具仮配置
- 端子配置
- Parts 回路図・盤図照合

ACAD-DENKI の盤図作成で実行する操作を説明しています。

2章

電キャビについて

ここでは電キャビの機能概要を説明します。

2.1 電キャビとは

電キャビについて説明します。

2.1.1. 電キャビについて

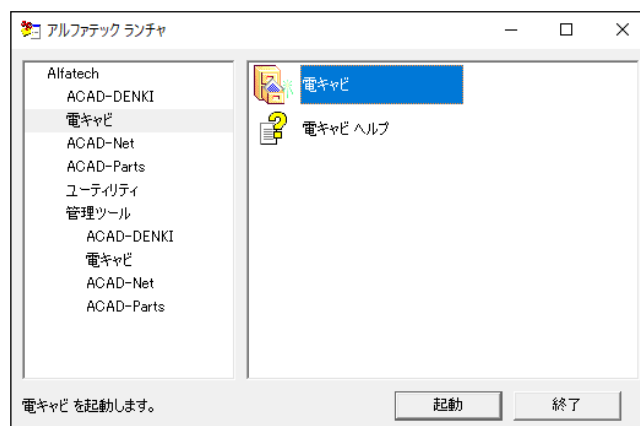
電キャビとは、.dwg ファイルを管理するためのアプリケーションです。ACAD-DENKI と併用することで、図面の図題情報を自動転記するなど、より便利な機能を使用できます。ACAD-DENKI 他、弊社商品の使用方法につきましては、マニュアル、弊社ホームページ (<https://alfatech.jp>)、弊社ホームページ記載の FAQ を参照ください。

2.1.2. 電キャビの起動方法

1. デスクトップの電キャビアイコンから起動
デスクトップの電キャビアイコンをダブルクリックします。



2. スタートから起動
[スタート]-[Alfatech]-[アルファテックランチャー]を起動します。
アルファテックランチャーの左ペインの [Alfatech]-[電キャビ] を選択し、右ペインで《電キャビ》を選択し、"起動" ボタンをクリックします。



電キャビを使うメリット

1. 図題情報が一括で変更できる
2. 図面を開かなくても内容がわかる
3. 作業者間で図面管理（図面庫の階層）のルールを統一できる
4. CAD を立ち上げなくても印刷できる

2.1.3. 電キャビの初期画面

電キャビを起動すると以下の画面が表示されます。



電キャビ画面では左ペイン①に図面及びその他のファイルを管理するフォルダ階層が表示されます。右ペイン②には左ペインで選択したフォルダ配下の内容が表示されます。

2章．電キヤビについて

《このページは空白ページです》

2

3章

フォルダ・ファイル

編集

この章では、電キャビでのフォルダ、ファイルの作成・編集方法について説明します。
本マニュアルではマイデータベースに作成する前提で記載します。

3.1 ボリューム

電キャビで図面を管理するにあたり、図面管理の基点となるフォルダ（以下、ボリューム）が必要となります。ここではボリュームの編集方法を説明します。

ボリュームについては ACAD-DENKI 電キャビ・ACAD-Parts 管理者用マニュアル「8章 管理図面庫の作成」に同様の内容を記載しております。
既に実施済の場合は、「3.2 フォルダ」へ進んでください。

3.1.1. 環境ファイルのインポート

トレーニング用の環境データ・各種データは、下記 URL から [ご購入ユーザー様専用マニュアルダウンロードページ] を開き、[トレーニングマニュアル] をクリックして、「ACAD-DENKI / 電キャビ・ACAD-Parts 共通 サンプルファイル」をダウンロードしてください。

<https://www.alfatech.jp/support/manualdownload.html>

ユーザー名、パスワードの入力を求められた場合は、以下のように入力してください。

ユーザー名：ZA_USER パスワード：ZA_DENKI

※外部ネットワークに接続できない環境の場合、インストーラーデータ (MEDIA_A_1041.iso) 内の下記パスに上記 URL と同じデータがあります。

MEDIA_A_1041\MISC¥Manual_Sample¥環境 ¥ 電キャビ (マニュアル用).pak

環境データのインポート方法は ACAD-DENKI・電キャビ・ACAD-Parts 管理者マニュアルの【4.9.4. 環境のインポート】を参考にしてください。

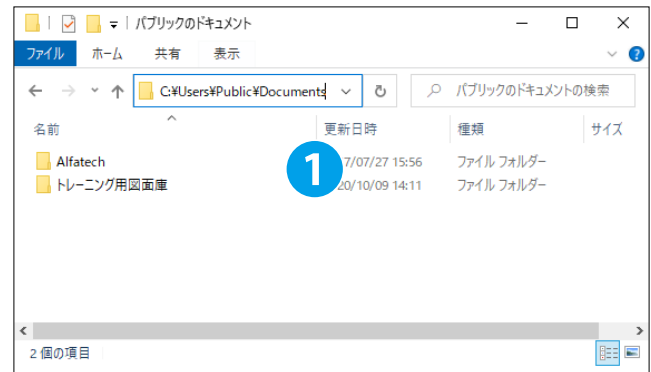
上記ファイルには、環境データのほかにサンプルの図面やシンボルが含まれています。

3.1.2. 図面庫フォルダの作成

電キャビに登録する図面庫のボリュームにあたる基点フォルダをエクスプローラで作成する例です。

1. エクスプローラを起動します。
(例:[スタート]アイコンを右クリックして、「エクスプローラ」を選択)
右図のように「トレーニング用図面庫」フォルダを作成します。①

フォルダパス：C:\Users\Public\Documents\ トレーニング用図面庫

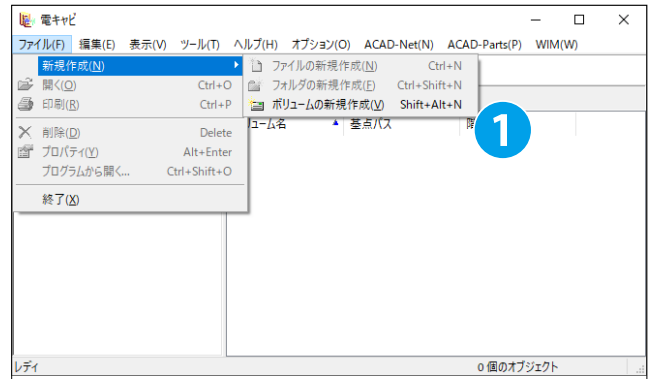


2. トレーニング用図面庫以下に「図面庫 A」、「図面庫 B」フォルダを作成します。②



3.1.3. ボリュームの作成

1. 電キャビのアイコンをダブルクリックして起動します。
2. [ファイル]-[新規作成]-[ボリュームの新規作成] をクリックします。①



3. ボリュームの新規作成ダイアログが表示されます。
以下のように設定します。

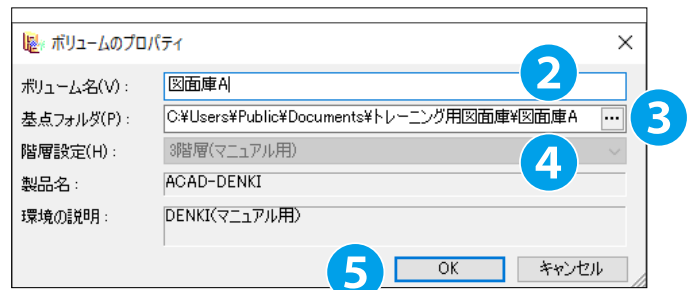
ボリューム名: 図面庫 A ②

基点フォルダ: C:\Users\Public\Documents\トレーニング用図面庫\図面庫 A ③

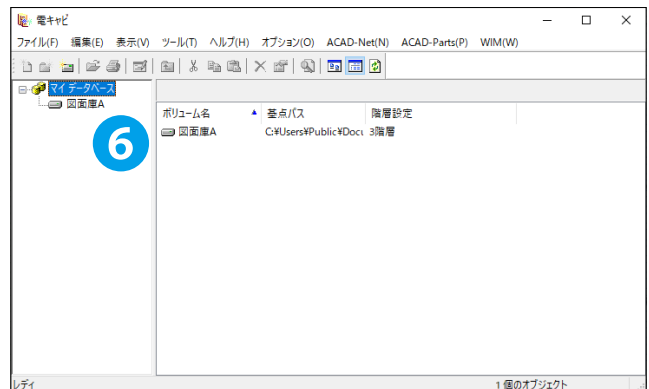
※右端の "..." をクリックし、「2.」で作成したフォルダを選択します。

階層設定: 3 階層 (マニュアル用)

"OK" をクリックします。⑤



4. 電キャビ画面に戻ります。
マイデータベース以下にボリューム「図面庫 A」が作成されました。⑥



3.1.4. ボリュームの追加

1. 左ペインの「マイデータベース」を選択し、[ファイル]-[新規作成]-[ボリュームの新規作成]を選択します。

2. ボリュームの新規作成ダイアログが表示されます。
下記のように設定します。

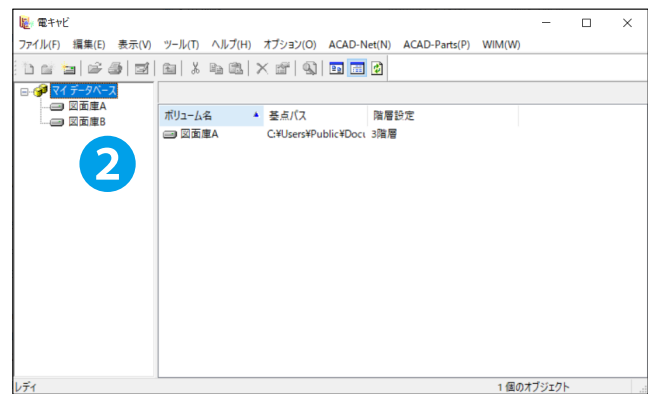
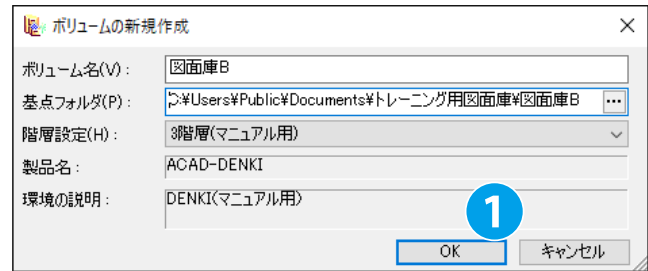
ボリューム名: 図面庫 B

基点フォルダ: C:\Users\Public\Documents\トレーニング用図面庫\図面庫 B

階層設定: 3 階層 (マニュアル用)

3. "OK" をクリックします。①

4. 新しいボリューム「図面庫 B」が作成されたことを確認します。②



3.1.5. ボリュームのプロパティ

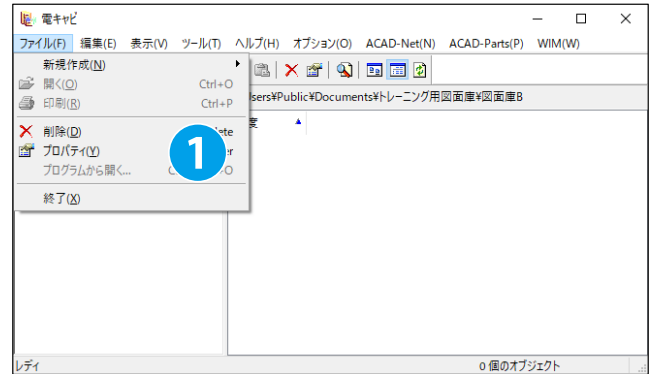
ボリュームのプロパティを表示します。

ボリュームのプロパティでは電キャビ上で表示するボリュームの名称を変更することが可能です。ここでは確認のみ行います。

1.[図面庫 B] を選択します。

2.[ファイル]-[プロパティ] をクリックします。①

※ [図面庫 B] を右クリックして表示されるメニューからプロパティをクリックしても同様の挙動となります。



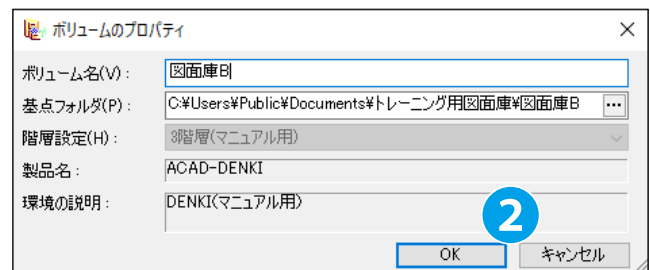
2. ボリュームのプロパティダイアログが表示されます。

※右図例は、ボリューム名・基点フォルダの変更ができるユーザでの表示です。

変更権限がない場合はグレーアウト表示になります。

階層設定の変更は出来ません。

"OK" をクリックします。②



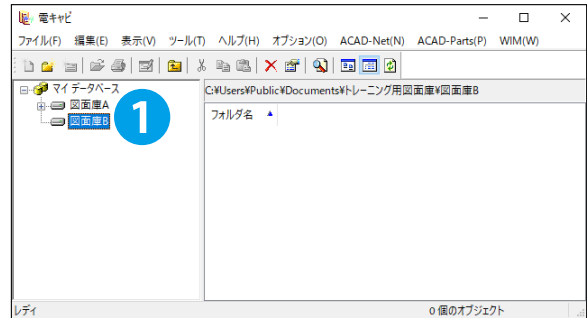
3.1.6. ボリュームの削除 (階層設定の変更)

既存のボリュームの階層設定を変更することはできません。

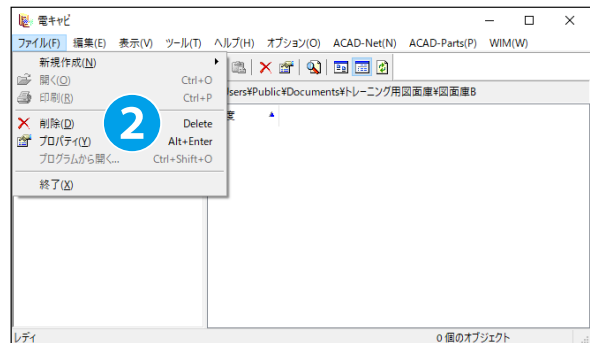
変更したい場合は、既存のボリュームを削除して、新たにボリュームとして登録する必要があります。

ここでは、「3.1.3. ボリュームの追加」で作成したボリューム「図面庫 B」の階層設定を変更する手順を記載します。

1. 「図面庫 B」を選択します。①



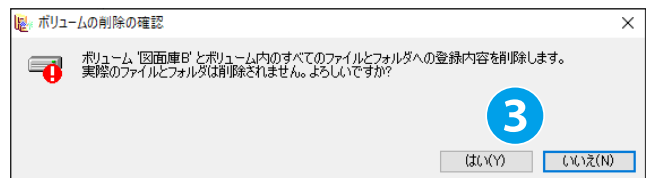
2. [ファイル]-[削除]をクリックします。②



3. ボリュームの削除確認ダイアログが表示されます。

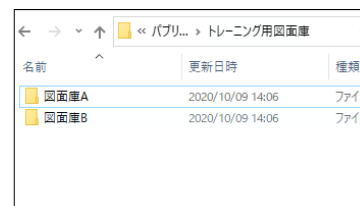
"はい"をクリックします。③

ボリューム「図面庫 B」が削除されます。



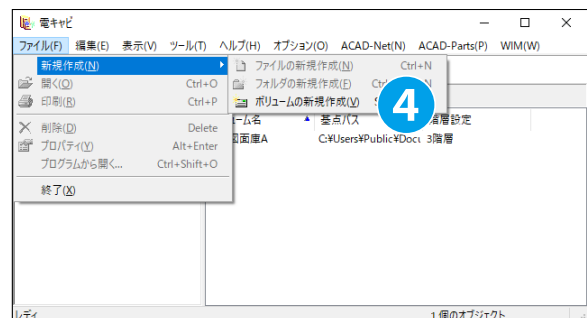
※右図は、エクスプローラを表示した例です。

電キャビ上でボリュームを削除しても、電キャビ上の表示から削除されるだけで、ボリュームに割り付けていた実際のフォルダ及びファイルは削除されません。



4. [マイデータベース]を選択します。

5. [ファイル]-[新規作成]-[ボリュームの新規作成]をクリックします。④



3章 . フォルダ・ファイル編集

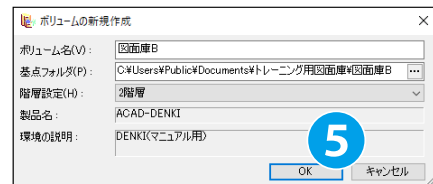
6. ボリュームの新規作成ダイアログが表示されます。
以下を入力します。

ボリューム名: 図面庫 B

基点フォルダ: C:\Users\Public\Documents\ トレーニング用図面庫 ¥ 図面庫 B

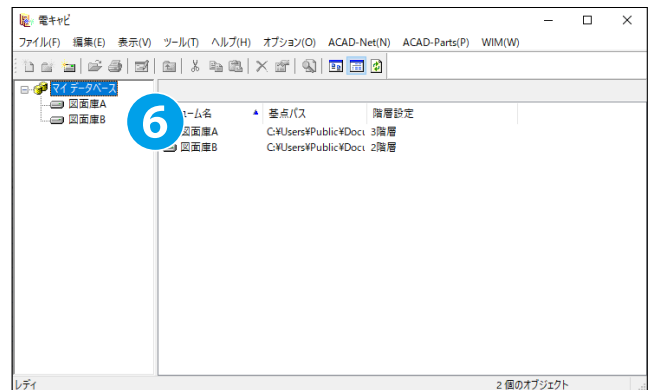
階層設定: 2 階層

※階層設定「2 階層」は ACAD-DENKI 電キャビ・ACAD-Parts 管理者用マニュアル「7.2.3 階層設定のコピー流用」にて作成したものです。作成していない場合、この手順はスキップしてください。



7. "OK" をクリックします。⑤

8. ボリューム「図面庫 B」が作成されました。⑥



! ワンポイント

■ ボリュームについての補足

ボリュームを削除した場合、"元に戻す" 操作はできません。再作成してください。

また、選択した階層以下に作成できるものは決まっています。

「ボリュームの作成 / フォルダの作成 / ファイルの作成」などのメニューは選択フォルダ階層により選択状態・非選択状態が切り替わります。

- マイデータベースを選択 (ボリューム作成が有効)
- ボリューム・フォルダを選択 (フォルダ作成が有効)
- 最下層フォルダを選択 (ファイル作成が有効)

3.2 フォルダ

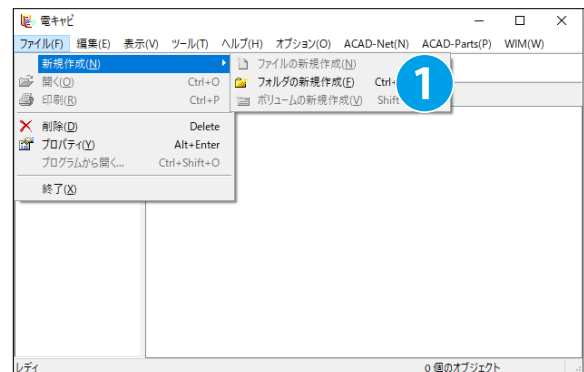
ボリューム以下に管理されるフォルダの編集方法を説明します。

3.2.1. フォルダの新規作成

ボリューム以下に管理するフォルダを新規作成します。ボリューム「図面庫 A」が存在しない場合は、「3.1.2. ボリューム」の作成の手順を参考に作成してください。

1.[図面庫 A] を選択します。

2.[ファイル]-[新規作成]-[フォルダの新規作成] をクリックします。①



3. フォルダの新規作成ダイアログが表示されます。以下を入力します。

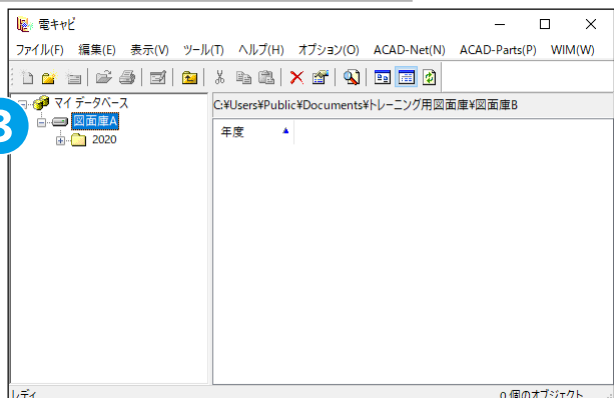
年度：本年度
例)2020

4. "登録" をクリックします。②



5. ボリューム「図面庫 A」の左側の「+」をクリックします。③

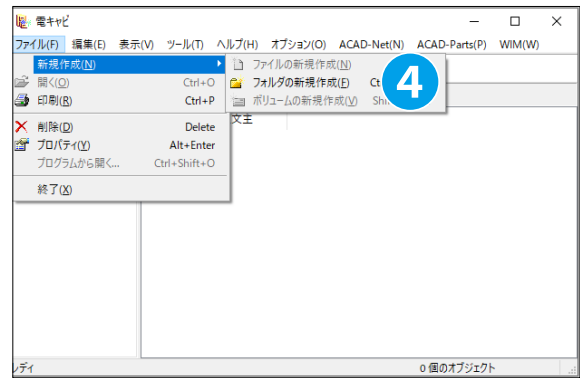
6. フォルダ「2020」が表示されます。



3章 . フォルダ・ファイル編集

7. フォルダ「2020」を選択します。

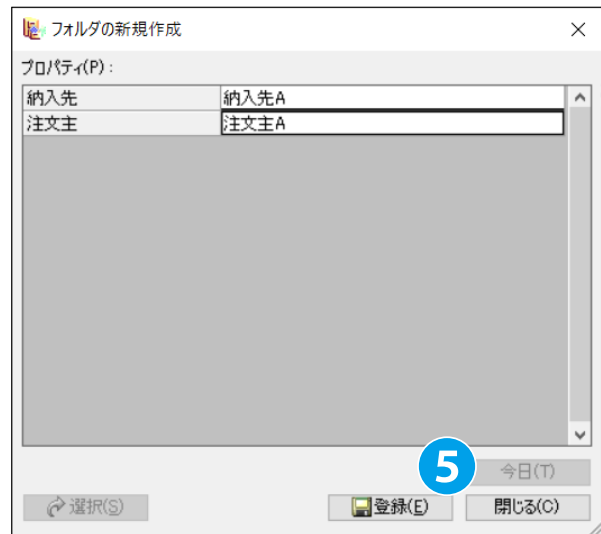
8. [ファイル]-[新規作成]-[フォルダの新規作成]をクリックします。④



9. フォルダの新規作成ダイアログが表示されます。以下を入力します。

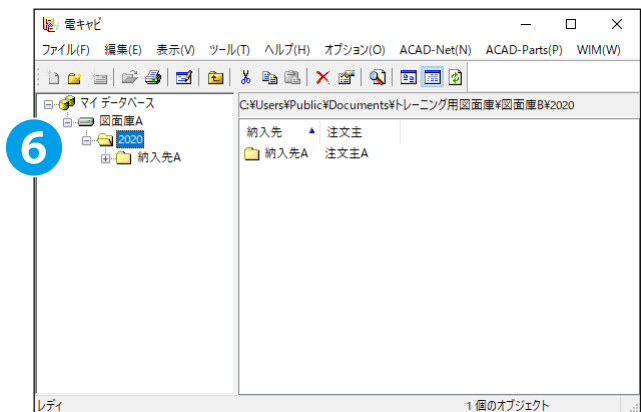
納入先：納入先 A
注文主：注文主 A

10. "登録" をクリックします。⑤



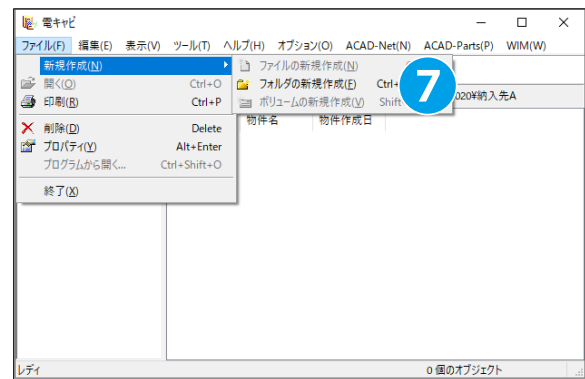
11. フォルダ「2020」の左側の「+」をクリックします。⑥

12. フォルダ「納入先 A」が表示されます。



13.[納入先 A] を選択します。

14.[ファイル]-[新規作成]-[フォルダの新規作成] をクリック
します。⑦



15. フォルダの新規作成ダイアログが表示されます。

物件名、物件作成日に以下の情報を入力します。

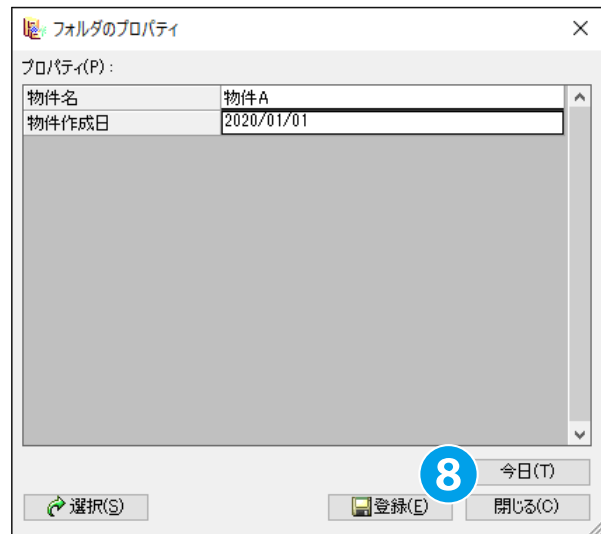
物件名：物件 A

物件作成日：本日日付

例) 2020/01/01

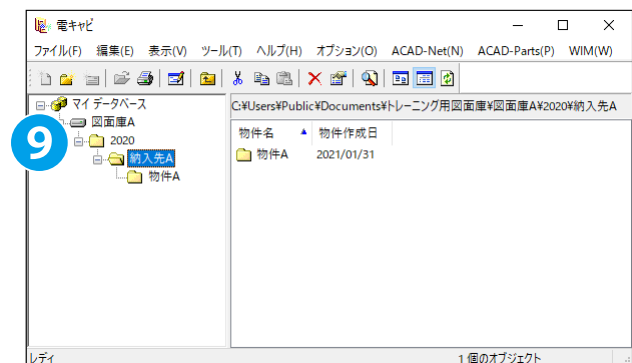
※物件作成日を入力する際は、物件作成日の入力欄を
クリックし、" 今日 " をクリックすると本日日付が入力
されます。

16." 登録 " をクリックします。⑧



17.[図面庫 A]-[2020]-[納入先 A] の左側の「+」をクリックし
ます。⑨

18. フォルダ「物件 A」が表示されます。

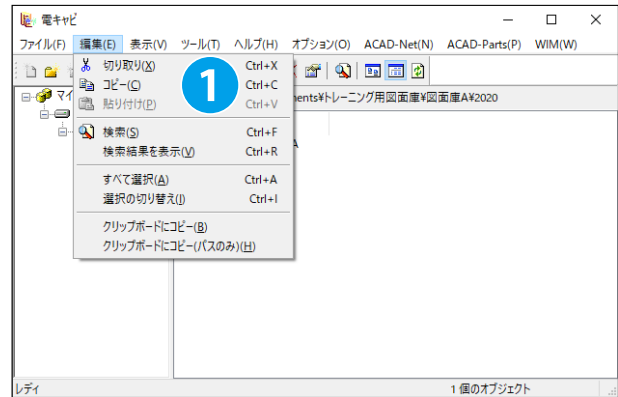


3.2.2. フォルダのコピー・貼り付け

同じボリューム内のフォルダ間でコピー・貼り付けを行います。

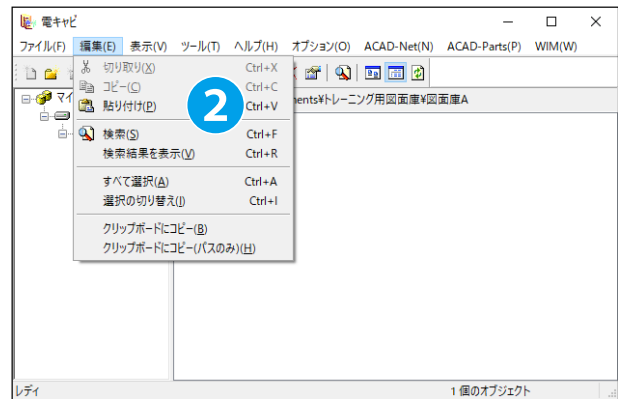
1.[図面庫 A]-[2020] を選択します。

2.[編集]-[コピー] をクリックします。①



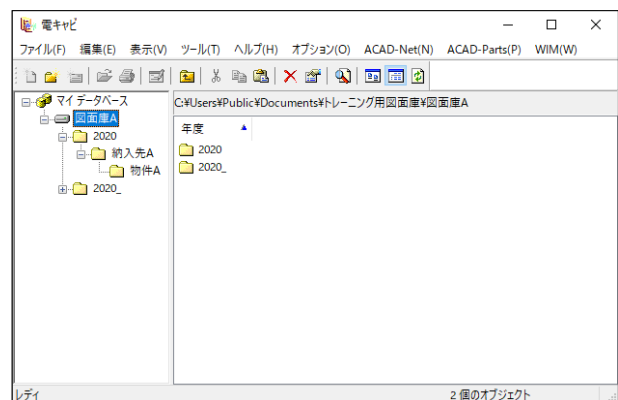
3.[図面庫 A] を選択します。

4.[編集]-[貼り付け] をクリックします。②



5. フォルダ「2020_」が作成されます。

※コピー先に同名のフォルダがある場合は、フォルダ名に「_ (アンダーバー)」がつきます。

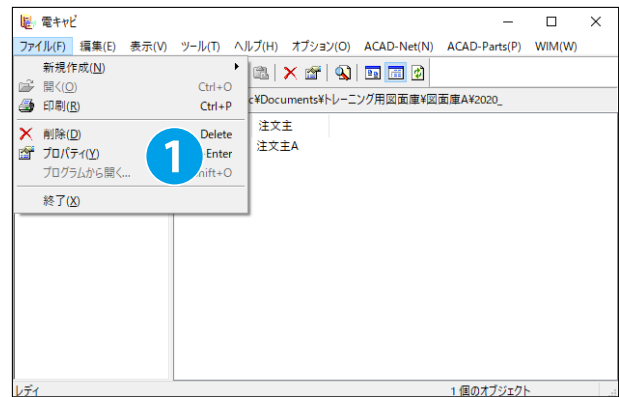


3.2.3. フォルダのプロパティ編集

フォルダのフォルダ名称等、プロパティ情報を変更します。

1.[図面庫 A]-[2020.] を選択します。

2.[ファイル]-[プロパティ] をクリックします。①



3. フォルダのプロパティダイアログが表示されます。

年度を変更します。

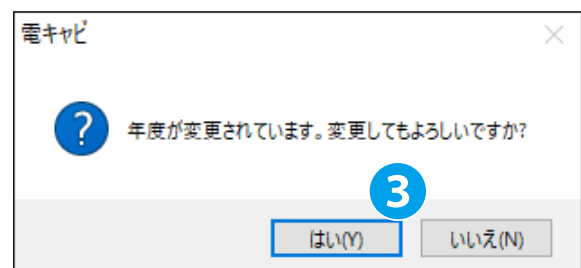
年度：来年度
例)2021

4."登録" をクリックします。②



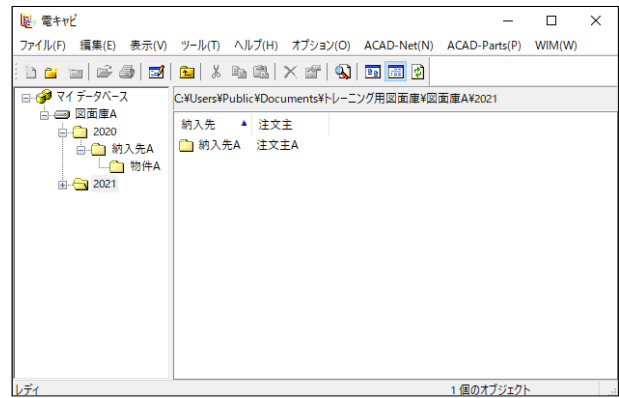
5. 確認ダイアログが表示されます。

"はい" をクリックします。③



3章 . フォルダ・ファイル編集

6. フォルダ名称が変更されました。

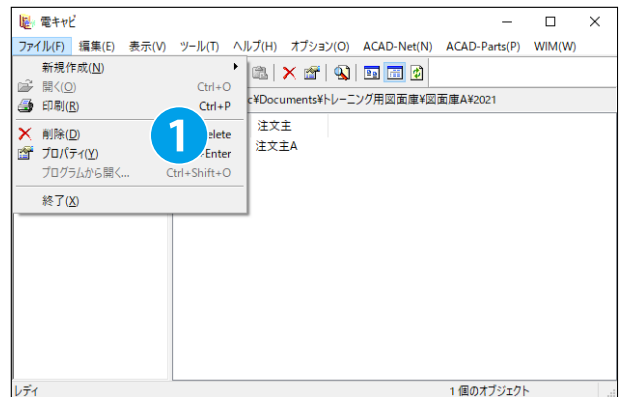


3.2.4. フォルダの削除

フォルダを削除します。フォルダを削除すると削除したフォルダ以下も削除されます。

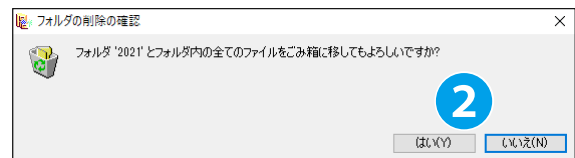
1.[図面庫 A]-[2021] を選択します。

2.[ファイル]-[削除] をクリックします。①



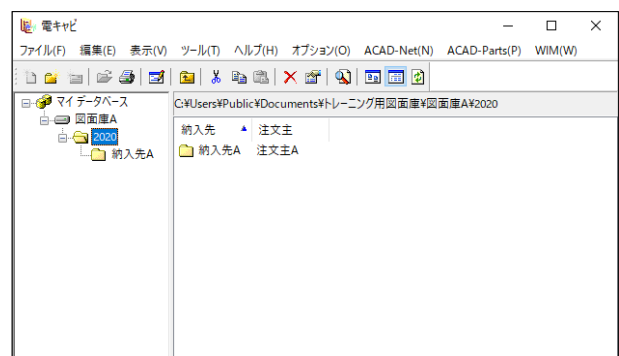
3. フォルダの削除の確認ダイアログが表示されます。

"はい" をクリックします。②



4. フォルダ「2021」が削除されます。

※電キャビ上でフォルダを削除すると、実際のフォルダも削除されます。

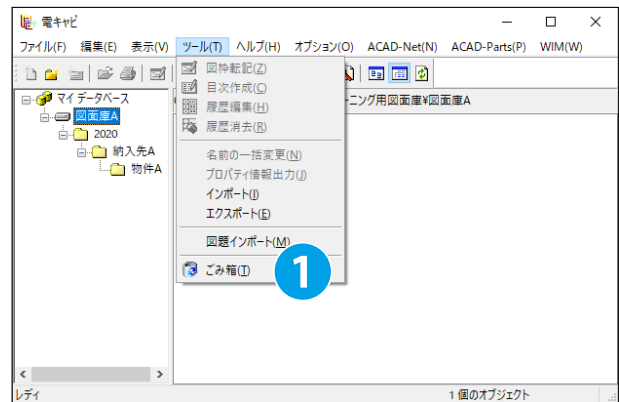


3.2.5. フォルダの復元

削除したフォルダを復元します。

1.[図面庫 A] を選択します。

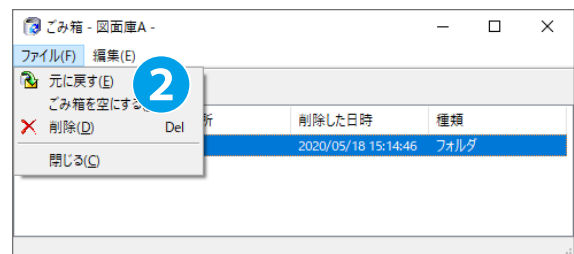
2.[ツール]-[ごみ箱] をクリックします。①



3. ごみ箱ダイアログが表示されます。

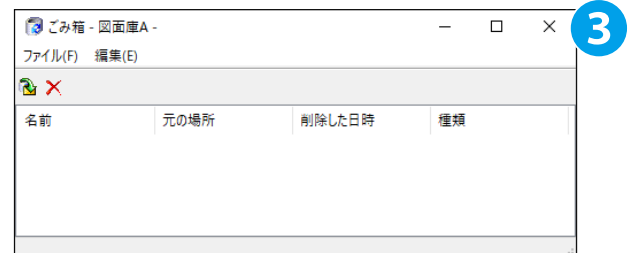
[2021] を選択します。

4.[ファイル]-[元に戻す] をクリックします。②

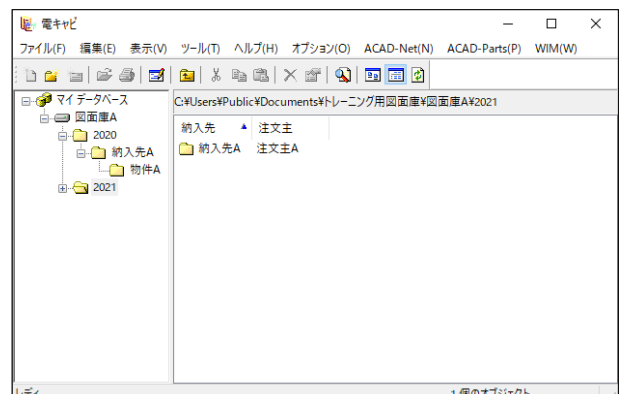


5. ごみ箱ダイアログが空になります。

ダイアログ右上の " × " をクリックしてダイアログを閉じます。③



6. 削除した「2021」フォルダが元の場所に戻ったことが確認できます。



3.3 ファイル

ファイルの新規作成、コピー / 貼り付け、その他の編集を行います。

階層設定が固定階層の場合、ファイルを編集できる場所は各ボリュームの最下層フォルダになります。

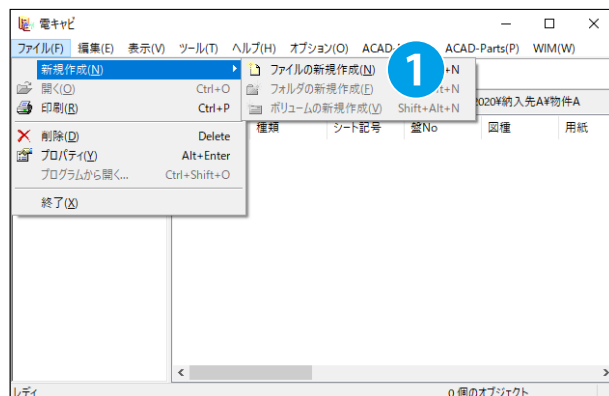
3階層を指定している「図面庫 A」では3階層目のフォルダが最下層フォルダとなります。

※階層設定については、ACAD-DENKI 電キャビ・ACAD-Parts 管理者用マニュアル「7章 事前設定 (階層設定)」を参照ください。

3.3.1. ファイルの新規作成

ファイルを新規作成します。

- 1.[図面庫 A]-[2020]-[納入先 A]-[物件 A] を選択します。
- 2.[ファイル]-[新規作成]-[ファイルの新規作成] をクリックします。①



3. ファイルの新規作成ダイアログが表示されます。

以下のプロパティ情報を入力します。

ページ：01

種類：BricsCAD Drawing file(初期値)

図種：電気図

用紙：展開接続図用 A3 横

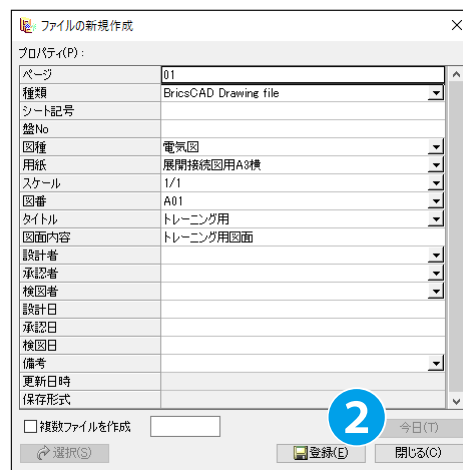
スケール：1/1

図番：A01

タイトル：トレーニング用

図面内容：トレーニング用図面

4. "登録" をクリックします。②

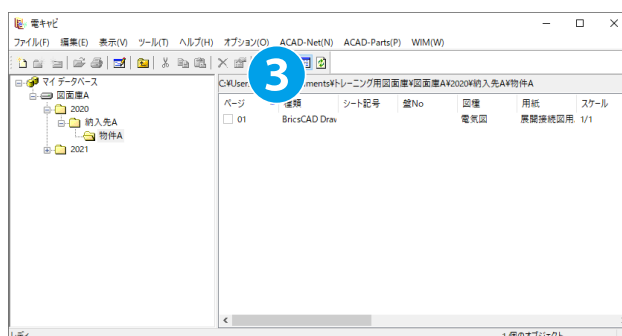


5. 「01」 が作成されます。

「01」 をダブルクリックします。③

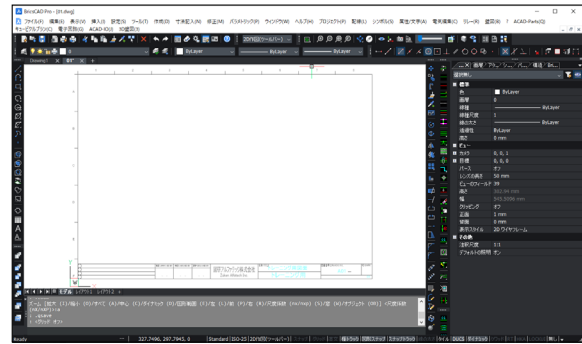
※電キャビで新規作成したファイルはこの時点ではプロパティ情報のみが保存され、.dwg ファイルとしての実体はありません。

図面を開く操作を行って初めて .dwg ファイルとしての実体が作成されます。



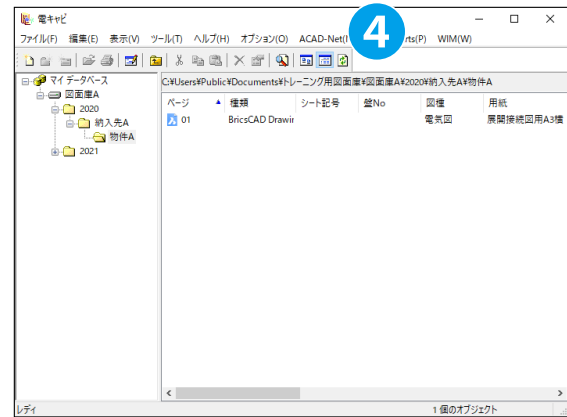
6.ACAD-DENKI が起動します。

※この時点で .dwg ファイルが作成されます。



7. 電キャビ画面に戻り、最新の情報に更新アイコンをクリックします。④

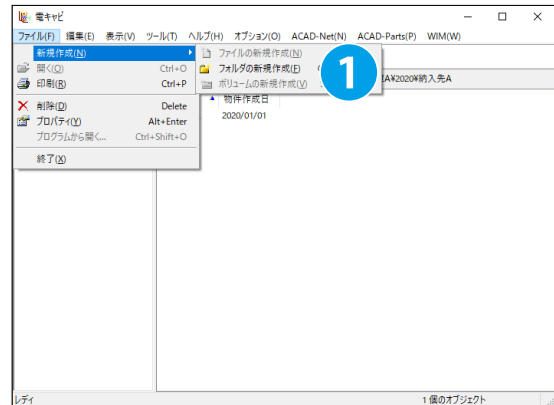
8. ファイルアイコンが更新されます。



3.3.2. 複数ファイルの新規作成

1.[図面庫 A]-[2020]-[納入先 A] を選択します。

2.[ファイル]-[新規作成]-[フォルダの新規作成] をクリック
します。①



3. フォルダの新規作成ダイアログが表示されます。

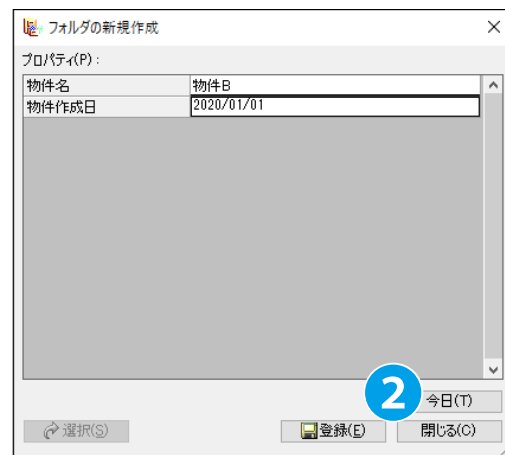
物件名、物件作成日に以下の情報を入力します。

物件名：物件 B

物件作成日：本日付

例) 2020/01/01

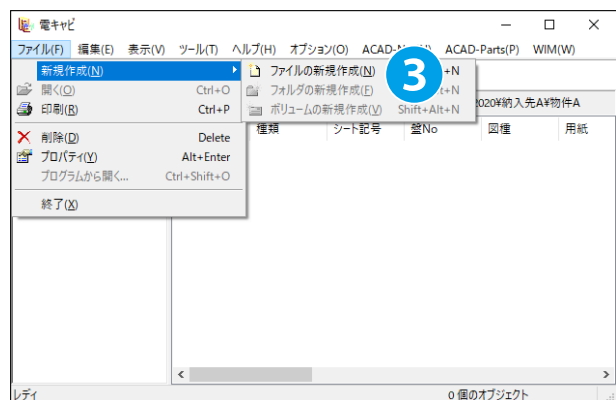
4." 登録 " をクリックします。②



5. フォルダ「物件 B」が表示されます。

6.[図面庫 A]-[2020]-[納入先 A]-[物件 B] を選択します。

7.[ファイル]-[新規作成]-[ファイルの新規作成] をクリック
します。③



8. ファイルの新規作成ダイアログが表示されます。
以下のプロパティ情報を入力します。

ページ：101

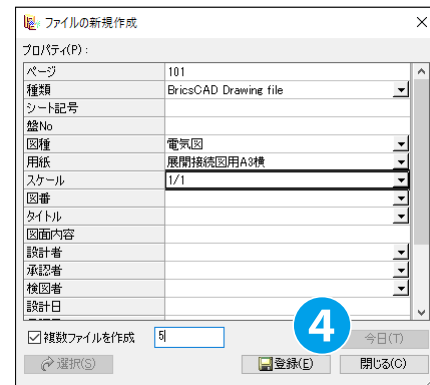
種類：BricsCAD Drawing file（初期値）

図種：電気図

用紙：展開表接続図用 A3 横

スケール：1/1

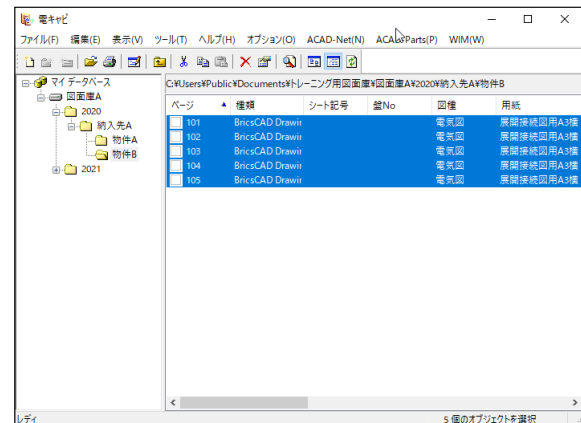
複数ファイルを作成：チェックを入れ、「5」を入力



9. "登録" をクリックします。④

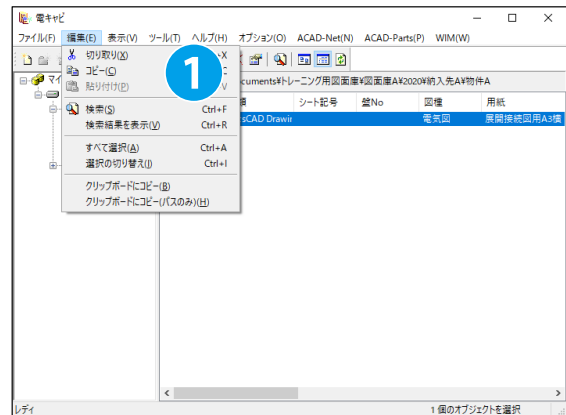
10. ページ「101」~「105」までのファイルが連番で作成されます。

11. 「3.3.1. ファイルの新規作成」の手順と同様にファイルをダブルクリックすると .dwg ファイルが作成されます。
複数ファイルを選択し、Enter を押すことで一括で開くことも可能です。

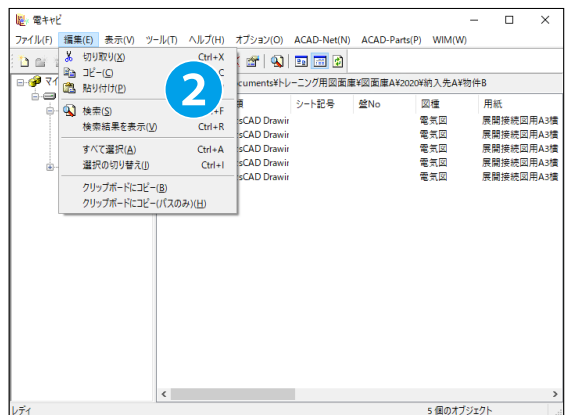


3.3.3. ファイルのコピー・貼り付け

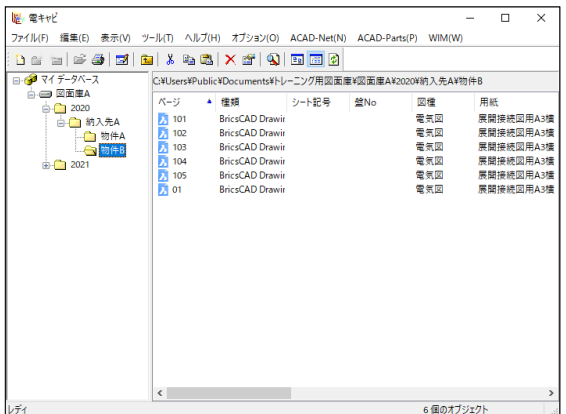
1. [図面庫 A] - [2020] - [納入先 A] - [物件 A] を選択します。
2. ページ「01」を選択します。
3. [編集]-[コピー] をクリックします。①



4. [図面庫 A] - [2020] - [納入先 A] - [物件 B] を選択します。
5. [編集]-[貼り付け] をクリックします。②



6. [図面庫 A] - [2020] - [納入先 A] - [物件 B] にページ「01」がコピーされます。



！ワンポイント

■ファイルに表示されるアイコンの種類について

- (アイコンが表示されない状態)

プロパティ情報のみが作成され、.dwg ファイルは未作成の表示です。

ファイルを電キャビで「新規作成」した場合や、.dwg ファイルをエクスプローラ上で削除した場合にアイコンが表示されない状態になります。

- 📄 (図面アイコンが表示されている状態)

図面ファイルが存在し、電キャビで編集可能な状態です。

- 🔒 (図面アイコンに鍵マークが表示されている状態)

図面が CAD で開かれている、または、「読取専用」などで編集が出来ない状態です。

■ボリューム間のファイルのコピーについて

ボリューム間を跨いだファイルのコピー・移動は可能です。

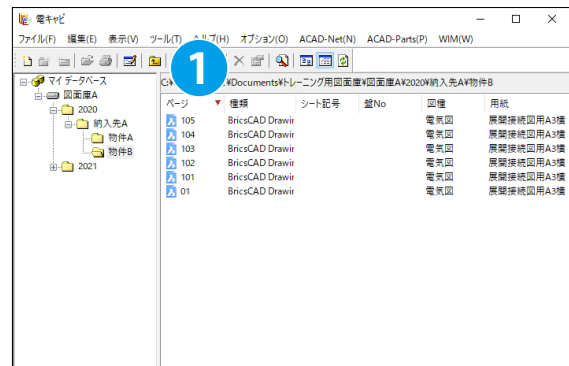
これは異なる階層設定を使用している場合でも可能ですが、異なる階層設定の場合、コピー・移動したときは、プロパティ情報の必須項目（ページ、種類、シート記号、盤 No.、図種、用紙、スケール）のみがコピー・移動され、その他の項目は空白表示になります。

3.3.4. ファイルのソート

1. 項目の「ページ」をクリックします。①

ページが降順にソートされます。

ソート項目に「▼（降順）」が表示されていることが確認できます。

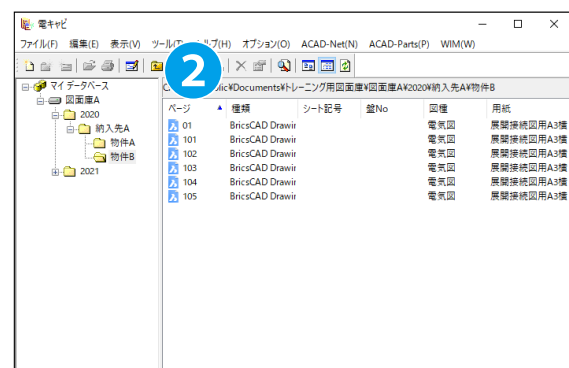


2. 再度、項目の「ページ」をクリックします。②

ページが昇順にソートされます。

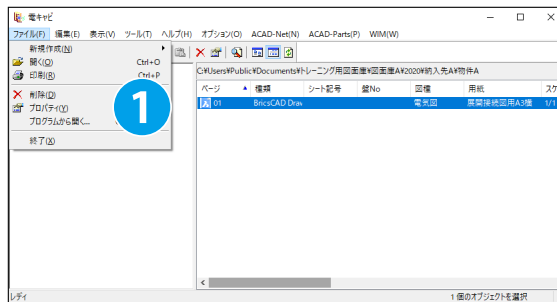
※項目の「ページ」に「▲（昇順）」が表示されていることが確認できます。

※他の項目も同様の操作でソート可能です。



3.3.5. プロパティ編集と図枠転記

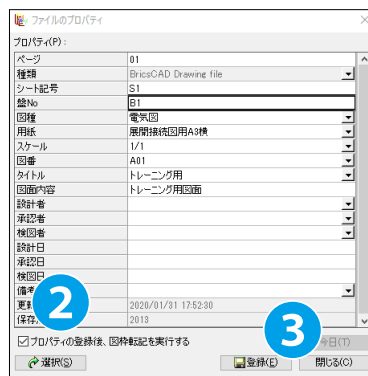
1. [図面庫 A] - [2020] - [納入先 A] - [物件 A] を選択します。
2. ページ「01」を選択します。
- 3.[ファイル]-[プロパティ]をクリックします。①



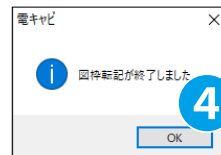
4. ファイルのプロパティダイアログが表示されます。
5. プロパティ情報を変更します。

シート記号 : S1
盤 No. : B1

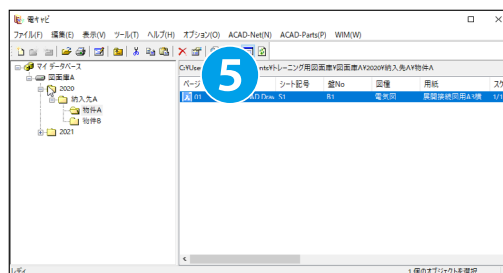
6. <<プロパティの登録後、図枠転記を実行する>>にチェックを入れます。②
※図枠転記とは、電キャビで編集したプロパティ情報を図面へ転記する機能です。



- 7."登録"をクリックします。③
8. 確認のダイアログが表示されます。
"OK"をクリックします。④



9. ページ「01」をダブルクリックします。⑤

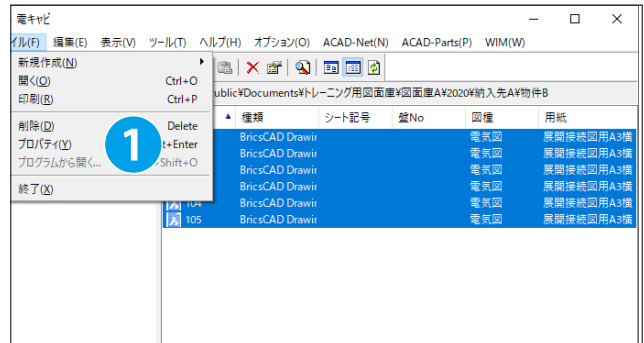


- 10.ACAD-DENKI が起動します。
[プロジェクト]-[カレントページで開く]をクリックして、プロジェクト管理「図題情報編集」より、図面に変更内容が更新されていることを確認します。

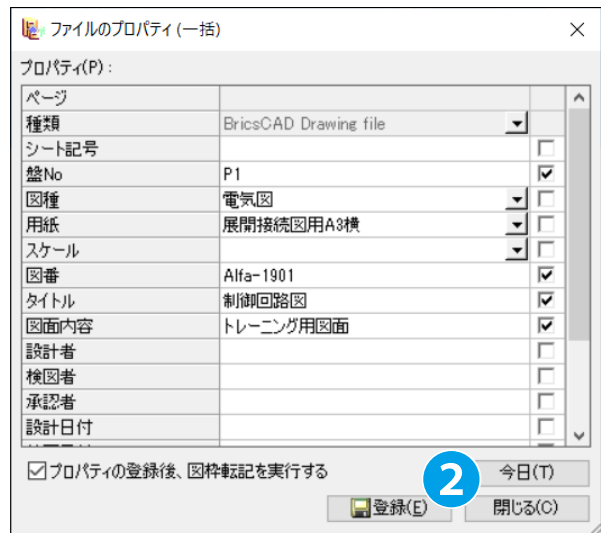


3.3.6. プロパティ編集 (一括)

1. 物件 B フォルダにあるファイルのシート名を変更します。
[図面庫 A] - [2020] - [納入先 A] - [物件 B] を選択します。
2. [物件 B] フォルダ内のファイルをすべて選択 (「ctrl」キー + 「A」キー) します。
3. [ファイル]-[プロパティ] をクリックします。①

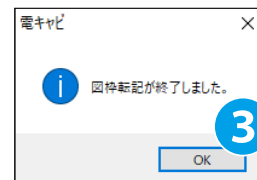


4. ファイルのプロパティ (一括) ダイアログが表示されます。
プロパティ情報を編集します。
盤 No. : P1
図番 : Alfa-1901
タイトル : 制御回路図
図面内容 : トレーニング用図面

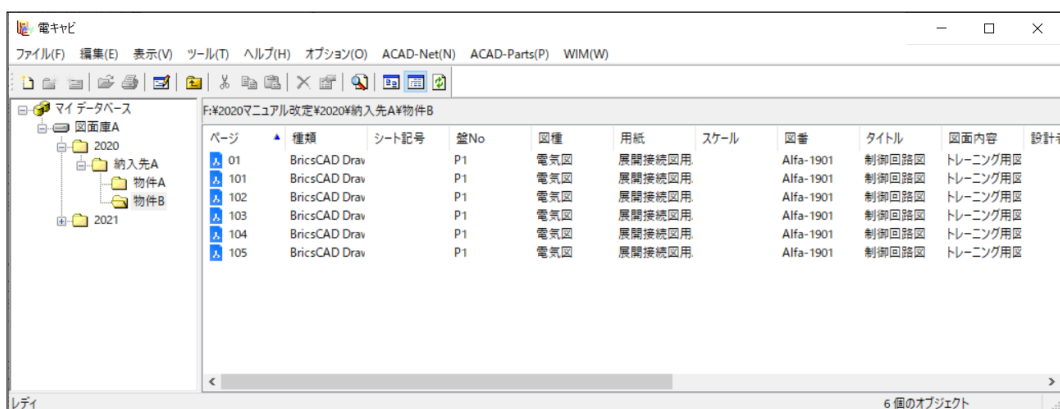


5. "登録" をクリックします。②

6. 確認のダイアログが表示されます。
"OK" をクリックします。③

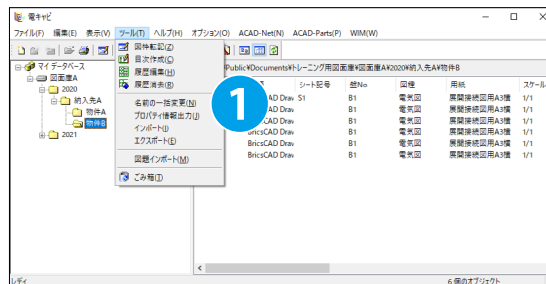


7. 電キャビ画面に戻ります。
プロパティ情報が更新されていることを確認します。



3.3.7. 名前の一括変更

1. 物件 B フォルダにあるファイルのシート名を変更します。
[図面庫 A] - [2020] - [納入先 A] - [物件 B] を選択します。
2. [ツール] - [名前の一括変更] をクリックします。①



3. 名前の一括変更ダイアログが表示されます。
以下をチェックします。②

《全プロパティを表示》
《図枠転記を実行する》

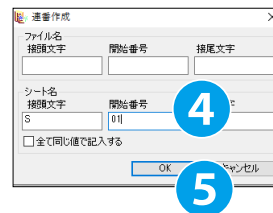
4. 表示されている全行を選択します。

5. " 連番を記入 " アイコンをクリックします。③



6. 連番作成ダイアログが表示されます。
シート名を入力します。④

接頭文字：S
開始番号：01

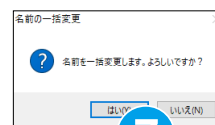


7. "OK" をクリックします。⑤

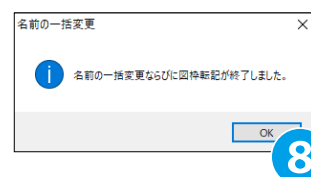
8. シート名が入力されます。
" 反映 " をクリックします。⑥



9. 確認のダイアログが表示されます。
" はい " をクリックします。⑦



10. 確認のダイアログが表示されます。
"OK" をクリックします。⑧



10. 名前の一括変更ダイアログが再表示されます。

"キャンセル"をクリックして、ダイアログを終了します。

9



！ワンポイント

■名前の一括変更ダイアログのチェック項目について
《全プロパティを表示》

ファイルに設定しているすべてのプロパティが表示されます。

また、この画面で編集も可能です。

《図枠転記を実行する》

"反映"をクリックと同時に図枠転記が自動で実行されます。



！ワンポイント

■エクスプローラでの操作

電キャビでフォルダ名称を変更するとエクスプローラ上でも変更されますが、エクスプローラでフォルダ名を変更した場合は電キャビには反映されません。

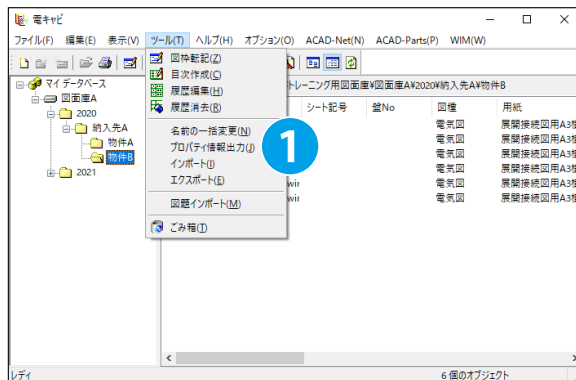
これは電キャビのフォルダ構造、設定が、データベースに登録、管理されているためです。

エクスプローラでフォルダ名を変更すると、データベースの情報と乖離が発生し、電キャビ上でフォルダを認識できなくなります。

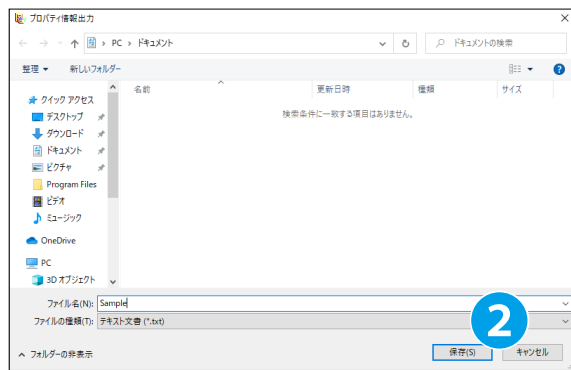
フォルダ、ファイルの削除、名前の変更は必ず電キャビから行ってください。

3.3.8. プロパティ情報の出力

1. [図面庫 A] - [2020] - [納入先 A] - [物件 B] を選択します。
2. [ツール] - [プロパティ情報出力] をクリックします。 ①

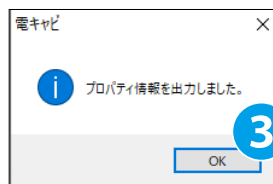


3. プロパティ情報出力ダイアログが表示されます。
任意の保存先を指定し、ファイル名を入力します。
ファイル名：Sample



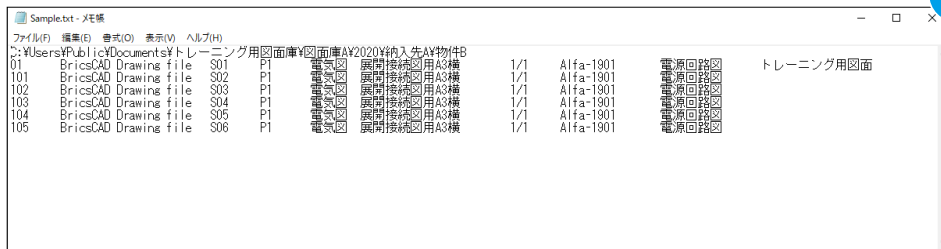
4. "保存" をクリックします。 ②

5. 確認のダイアログが表示されます。
"OK" をクリックします。 ③



6. 指定した保存先に作成された Sample.txt を開きます。
プロパティ情報が出力されています。
確認したら [×] をクリックして、Sample.txt を閉じます。

④



④

4 章

インポート ・ 検索 ・ 連続印刷

外部ファイルを電キャビへインポートする方法 ・ 検索 ・ 連続印刷について説明します。

4.1 インポート

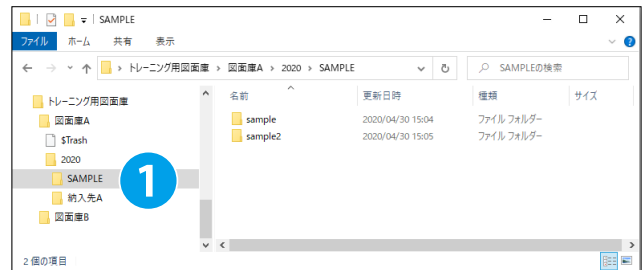
電キャビで管理していないフォルダ・ファイルを電キャビで管理できるようにする手順を記載します。

4.1.1. フォルダのインポート

1. 電キャビにインポートするフォルダ、ファイルを準備します。

エクスプローラの操作で、電キャビに登録したいフォルダを電キャビの管理図面庫以下にコピーします。

右図は、[図面庫 A]-[2020] 以下に [SAMPLE] フォルダを作成し、[SAMPLE] フォルダ以下に [sample] フォルダをコピーした例です。①



※ [SAMPLE]-[sample] フォルダ配下はサンプル物件です。②

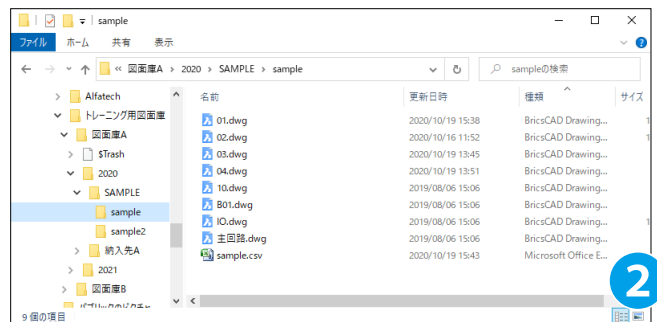
下記 URL の [サンプルファイル]-[ACAD-DENKI チュートリアルファイル] よりサンプル物件「sample」をダウンロードし、利用してください。

<https://www.alfatech.jp/support/supportdownload/>

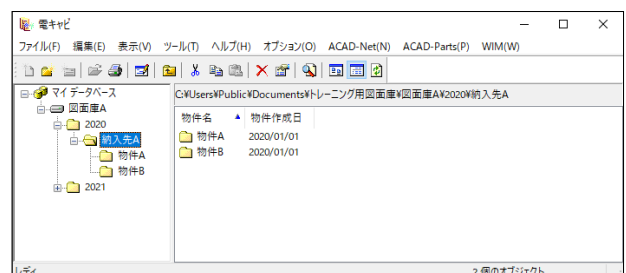
外部ネットワークに接続できない環境の場合、インストーラデータ (MEDIA_A_1041.iso) 内の下記パスに上記 URL と同じデータがあります。

MEDIA_A_1041\MISC¥Manual_Sample¥sample

また、[SAMPLE]-[sample2] は新規作成した空のフォルダです。

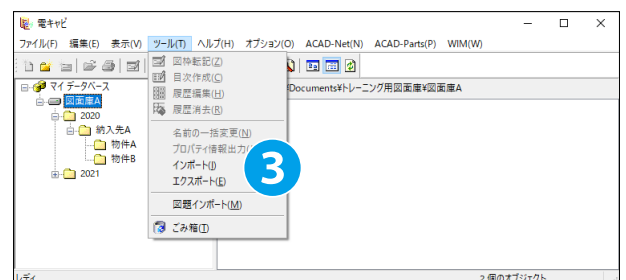


※エクスプローラでコピーしただけでは、「2020」以下にある [SAMPLE]-[sample] フォルダは電キャビ上に表示されていません。



2. 電キャビで左ペインの [図面庫 A] を選択します。

3. [ツール]-[インポート] をクリックします。③



6. インポートダイアログが表示されます。

電キャビに登録されていないフォルダにはチェックボックスが表示されます。

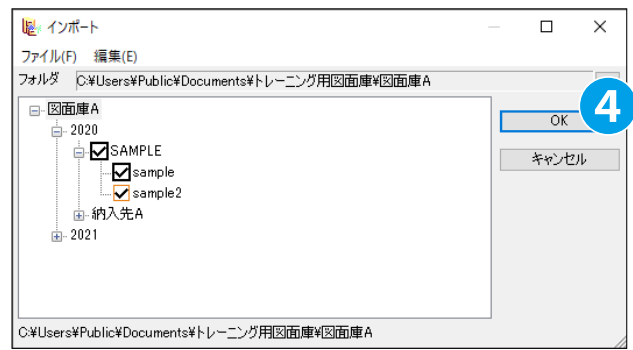
チェックボックスはデフォルトで「ON」の状態です。

: インポート対象のファイルがあるフォルダ

: インポート対象のファイルがないフォルダ

電キャビに登録しないフォルダは任意にチェックを外します。

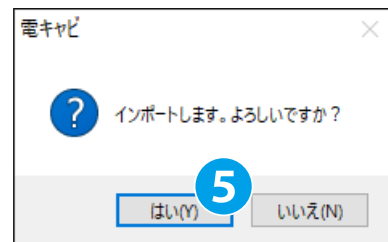
"OK" をクリックします。 4



※インポート対象のファイルとは電キャビの階層設定に関連付けられた拡張子のファイルです。

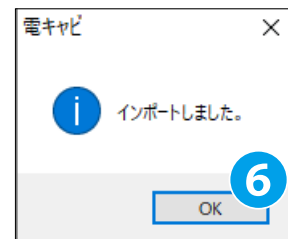
6. 確認ダイアログが表示されます。

"はい" をクリックします。 5



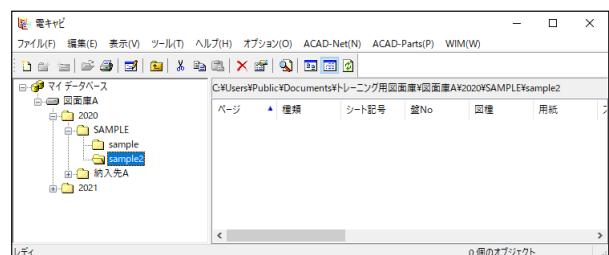
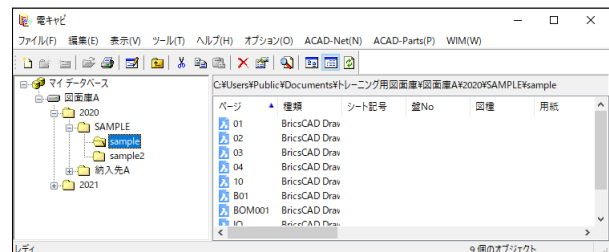
7. 確認ダイアログが表示されます。

"OK" をクリックします。 6



8. 電キャビの画面に戻ります。

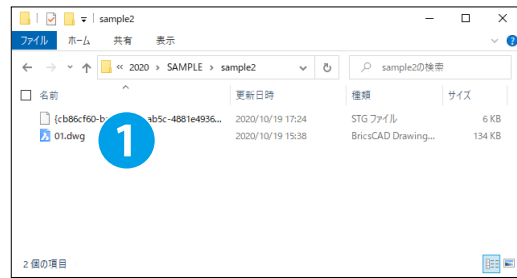
[図面庫 A]-[2020] 以下に [SAMPLE]-[sample] フォルダと図面、[sample2] フォルダ (中身は空) が登録されていることを確認します。



4.1.2. ファイルのインポート

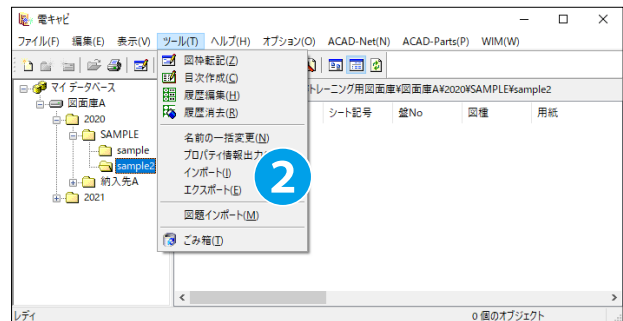
1. 電キャビにインポートするファイルを準備します。

エクスプローラなどで電キャビに登録するファイルを電キャビの管理図面庫以下の最下位層フォルダにコピーします。右図は sample2 フォルダに、提供 sample 図面フォルダの「01」をコピーした例です。①



2. [図面庫]-[2020]-[SAMPLE]-[sample2] を選択します。

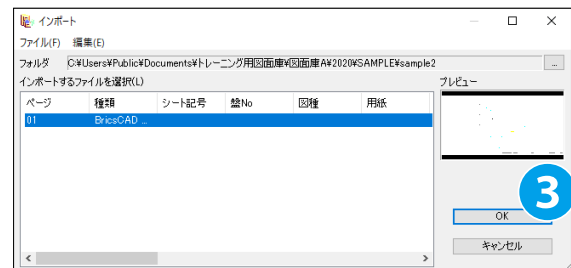
3. メニューの [ツール]-[インポート] をクリックします。②



4. インポートダイアログが表示されます。

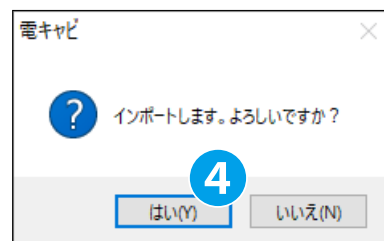
表示されているすべてのファイルを選択（「ctrl」キー+「A」キー）します。

5."OK" をクリックします。③



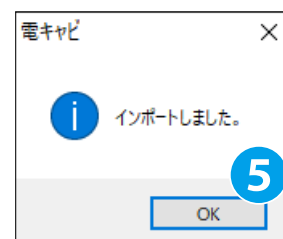
6. 確認ダイアログが表示されます。

"はい" をクリックします。④



7. 確認ダイアログが表示されます。

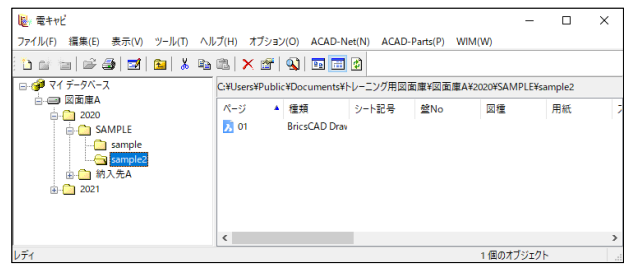
"OK" をクリックします。⑤



8. 電キャビの画面に戻ります。

[sample2] 以下に図面が登録されていることを確認します。

※インポート対象は図面 (.dwg ファイル) の他、電キャビの階層設定で設定した拡張子を持つファイルのみです。
電キャビの階層設定については、ACAD-DENKI 電キャビ・ACAD-Parts 管理者用マニュアル「7章 事前設定 (階層設定)」を確認ください。



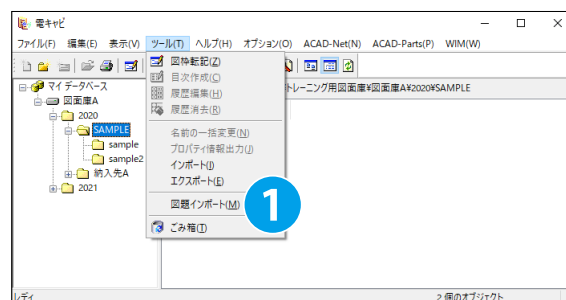
4.2 図題インポート

電キャビで管理していない図題情報をインポートします。

4.2.1. 図題インポート

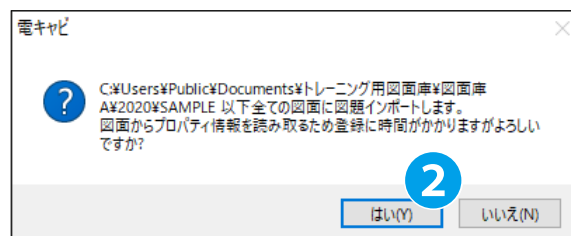
1.[図面庫]-[2020]-[SAMPLE] を選択します。

2.[ツール]-[図題インポート] をクリックします。 ①



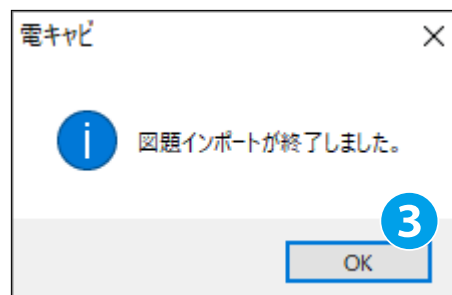
3. 確認ダイアログが表示されます。

"はい" をクリックします。 ②

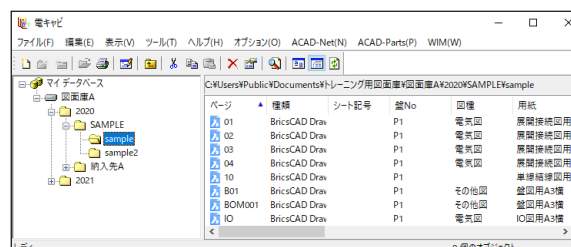


4. 確認ダイアログが表示されます。

"OK" をクリックします。 ③



5.[sample] 及び、[sample2] 以下の図面に図題情報が登録されていることが確認できます。



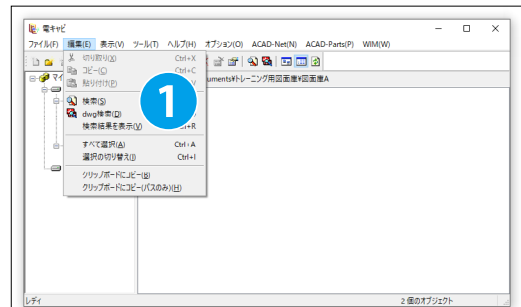
4.3 検索

電キャビで管理するフォルダ内から検索項目を指定して図面を検索します。

4.3.1. フォルダ、ファイルの検索

1. 検索を実行するボリュームを選択します。
ここでは「図面庫 A」を選択します。

2. [編集]-[検索] をクリックします。①



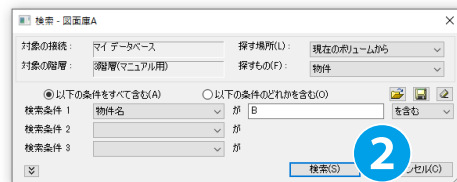
3. 検索ダイアログが表示されます。
以下のように条件を設定します。

探す場所：現在のボリュームから

探すもの：物件

検索条件：物件名が B を含む

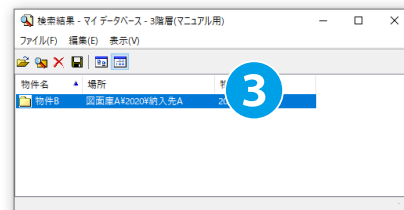
※上記条件はフォルダ検索ですが、探すものに "ファイル" を指定することで、ファイルの検索も可能です。



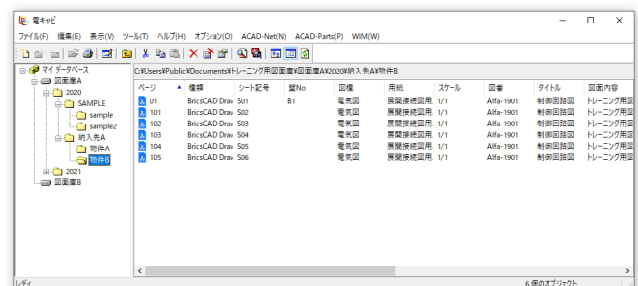
4. "検索" をクリックします。②

5. 検索結果が表示されます。

表示されている場所が「図面庫 A¥2020¥ 納入先 A」のディレクトリ名「物件 B」をダブルクリックします。③



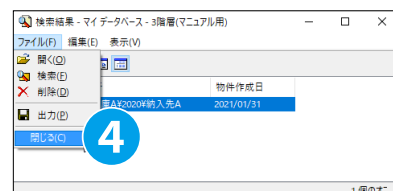
6. 検索結果のフォルダに選択がジャンプします。



7. 検索結果ダイアログに戻ります。

[ファイル] - [閉じる] をクリックし、検索を終了します。

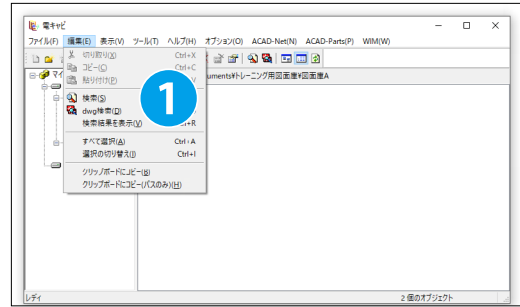
④



4.3.2. 図面内の検索 (dwg 検索)

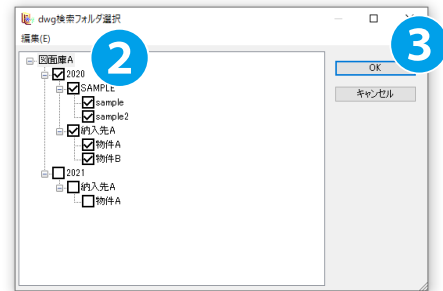
1. 検索を実行するボリュームを選択します。
ここでは「図面庫 A」を選択します。

2. [編集]-[dwg 検索] をクリックします。①



3. dwg 検索フォルダ選択ダイアログが表示されます。

"2020" にチェックを入れ、② "OK" をクリックします。③



4. dwg 検索ダイアログが表示されます。

以下のように条件を設定します。

図題情報

項目：図面内容 (ZITEM3)

条件：制御回路

オプション：を含むもの

検索条件リスト

項目：型式

条件：MY-4N

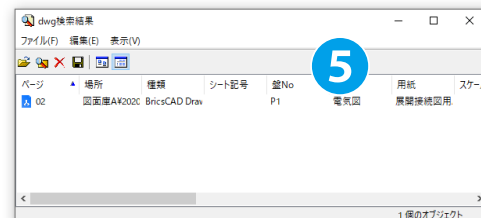
オプション：を含むもの



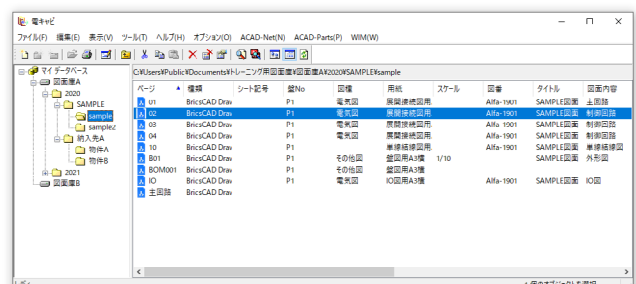
5. "検索" をクリックします。④

6. dwg 検索結果ダイアログが表示されます。

検索結果に表示されたページ "02" の図面をダブルクリック
します。⑤



7. 検索結果のフォルダに選択がジャンプします。



8. dwg 検索結果ダイアログに戻り検索結果に表示されたページ "02" の図面を右クリックし、[個別表示] をクリックします。⑥



9. dwg 検索結果 (個別表示) ダイアログが表示されます。対象の行をダブルクリックすると⑦ ACAD-DENKI が起動し、対象の図形がズーム表示されます。



※右図は検索結果の2行目をダブルクリックした例です。



！ワンポイント

■検索条件の複数指定

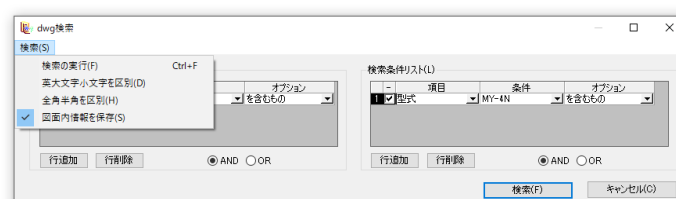
dwg 検索ダイアログの検索条件は図題情報と検索条件リスト (図題情報以外の図面内情報) に分かれています。上記2つは AND 条件で検索され、またそれぞれで複数項目を指定可能です。複数項目を指定した場合、AND 条件にするか OR 条件にするかについても検索条件下のラジオボタンにて指定可能です。



！ワンポイント

■検索時間の短縮方法

dwg 検索ダイアログの [検索]-[図面内情報を保存] にチェックを入れると、図面と同じフォルダ配下に cache フォルダが生成され、その中に図面毎に検索項目を抽出した csv ファイルが生成されます。この機能を用いることで検索時間を短縮することが可能です。



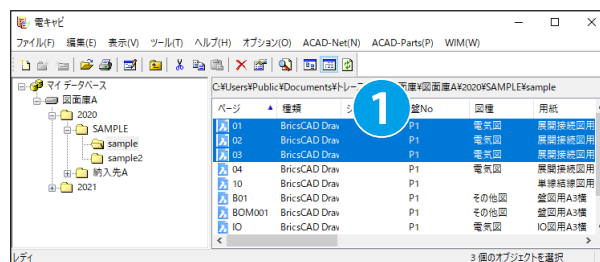
4.4 連続印刷

電キャビで管理しているファイルを印刷します。

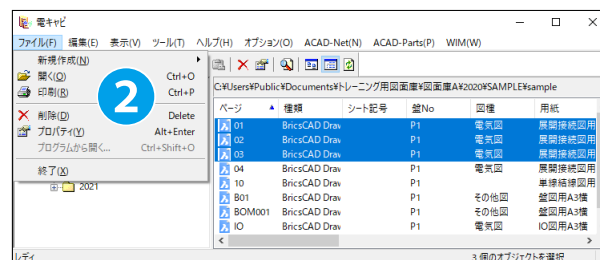
4.4.1. ファイルを選択して印刷

1.[図面庫 A]-[2020]-[SAMPLE]-[sample] を選択します。

2. 「01」～「03」を選択します。①

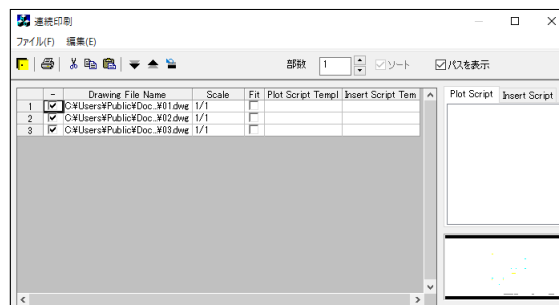


3.[ファイル]-[印刷] をクリックします。②



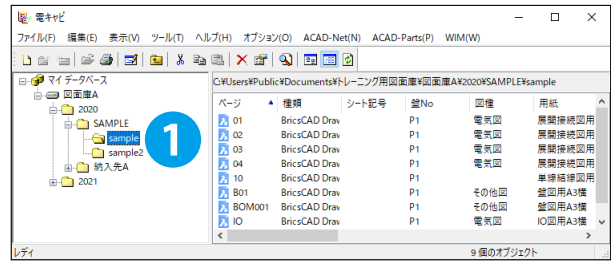
4. 連続印刷ダイアログが表示されます。

※連続印刷手順については、ACAD-DENKI オペレータートレーニングマニュアルの「7章 連続印刷」を確認ください。

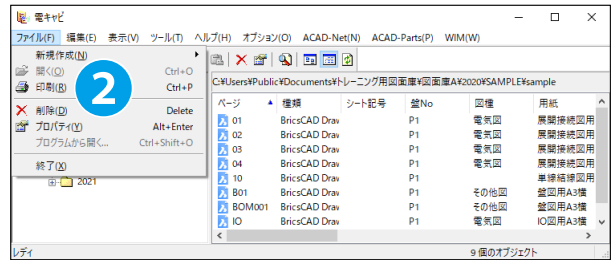


4.4.2. フォルダを選択して印刷

1. [図面庫]-[2020]-[SAMPLE]-[sample] を選択します。①

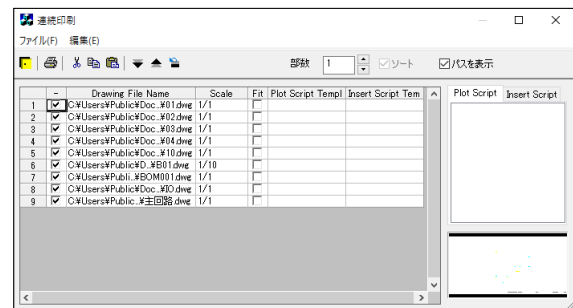


2. [ファイル]-[印刷] をクリックします。②



3. 連続印刷ダイアログが表示されます。

※連続印刷手順については、ACAD-DENKI オペレータートレーニングマニュアルの「7章 連続印刷」を確認ください。



4章．インポート・検索・連続印刷

《このページは空白ページです》

5章

目次・履歴

目次と履歴欄作成機能について説明します。

5.1 目次作成

目次ページを作成する方法について説明します。

5.1.1. 目次作成時のご注意

電キャビの目次作成では、物件フォルダ内にある図面を検索して、目次図面を自動生成します。

物件フォルダ内の目次図面と一般図面（回路図・盤図・部品図など）とでは、図枠が目次用であるかどうかで判断します。

目次ページと同じ図枠を使用した一般図面が物件フォルダ内にある場合、その図面は目次と認識され、目次作成時の上書き対象となります。

必ず「目次作成で使用する図枠」と「一般図面で使用する図枠」を分けて運用してください。

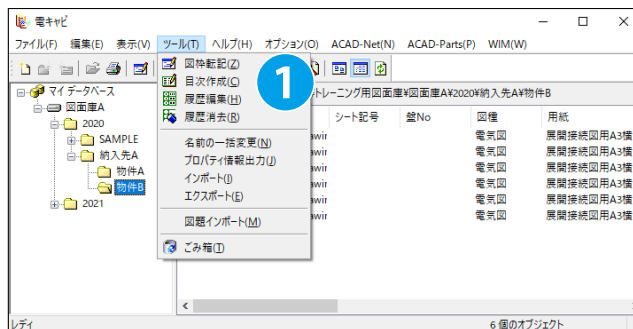
5.1.2. 目次作成の設定

1. 電キャビを起動します。

2. 目次を作成するフォルダを選択します。

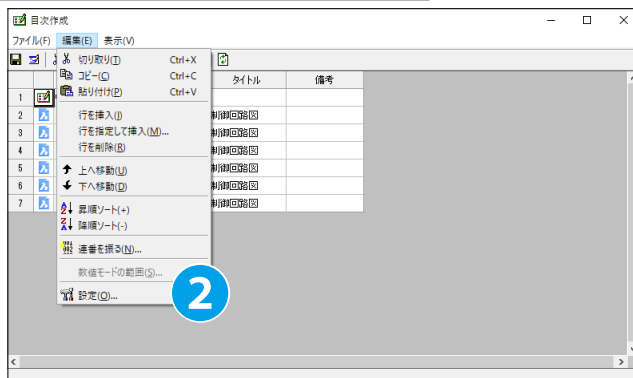
ここでは [図面庫 A]-[2020]-[納入先 A]-[物件 B] フォルダを選択します。

3.[ツール]-[目次作成] をクリックします。①



4. 目次作成ダイアログが表示されます。

[編集]-[設定] をクリックします。②



5. 設定ダイアログが表示されます。

以下の項目を入力します。③

テンプレート名: CONTENTS1(プルダウンから選択)

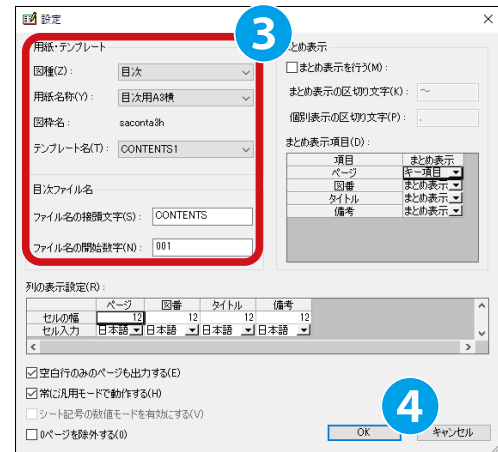
ファイル名の接頭文字: CONTENTS

ファイル名の開始数字: 001

※目次図面が1ページ以上にわたる場合は連番になります。

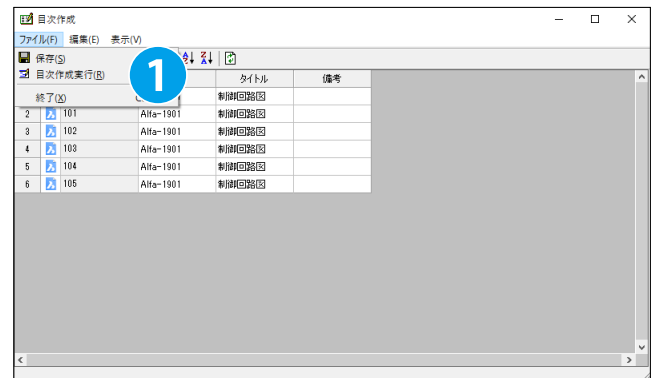
※ファイル名が、既存の図面と重なる場合は次の空き番号を自動検索してファイル名がつけられます。

6."OK" をクリックします。④



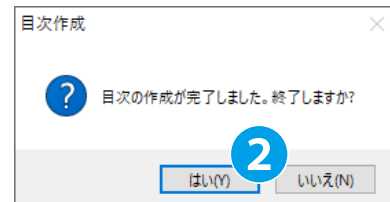
5.1.3. 目次作成の実行

1.[ファイル]-[目次作成実行] をクリックします。①



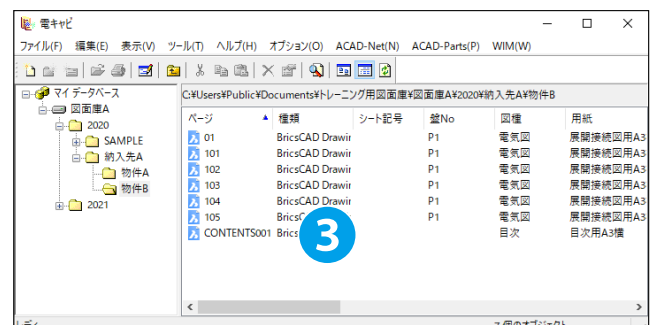
2. 確認のダイアログが表示されます。

"OK" をクリックします。②

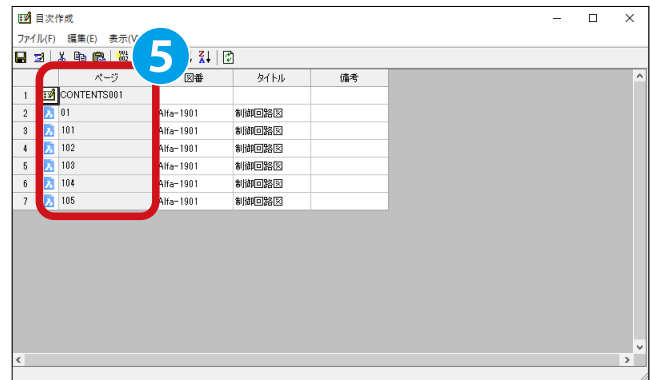


3. ページ名「CONTENTS001」のファイルが作成されます。

作成されたファイルをダブルクリックします。③

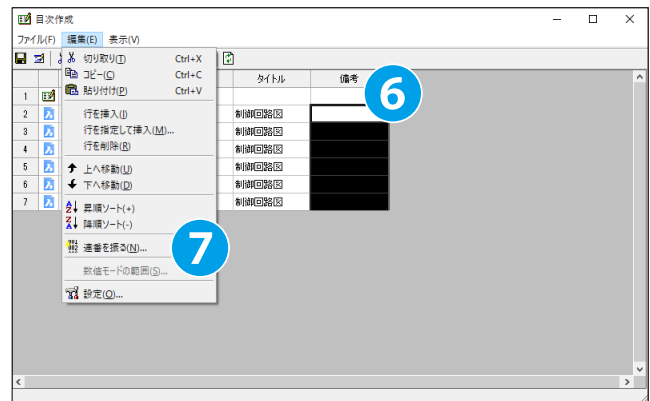


5. ページ (ファイル名) 項目の長さが 15 に固定されます。⑤
 ※「列の表示設定」は目次作成ダイアログの表示の設定です。
 実際に作成される目次図面の項目の長さには影響しません。



- 6.2 行目から 7 行目の備考欄を選択します。⑥

7. [編集]-[連番を振る] をクリックします。⑦

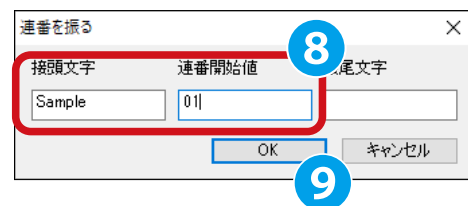


8. 連番を振るダイアログが表示されます。

以下の設定を行います。⑧

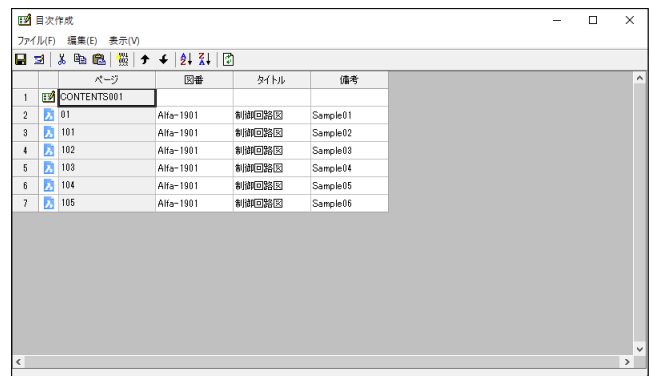
接頭文字 : Sample

連番開始値 : 01



9. "OK" をクリックします。⑨

10. 備考欄が更新されていることを確認します。

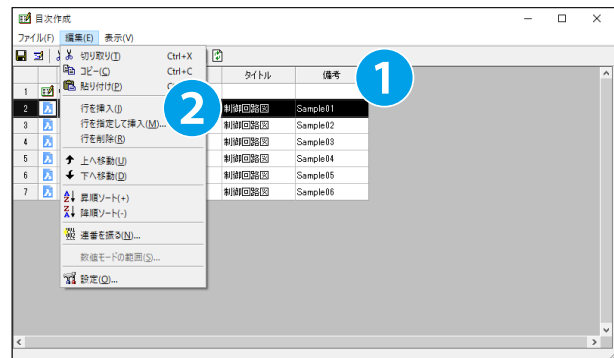


5.1.5. 行の追加

1. 目次行の下に行を追加します。

2 行目を選択します。①

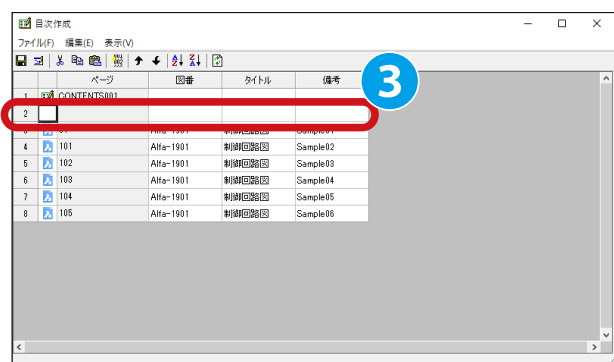
2. [編集]-[行を挿入]をクリックします。②



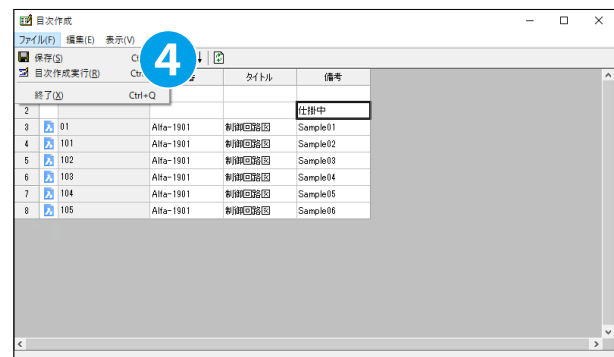
3. 選択した行の上に 1 行空行が追加されます。

以下の項目を入力します。③

備考欄：仕掛中

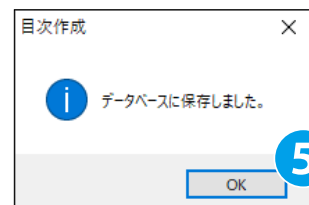


4. [ファイル]-[保存]をクリックします。④



5. 確認のダイアログが表示されます。

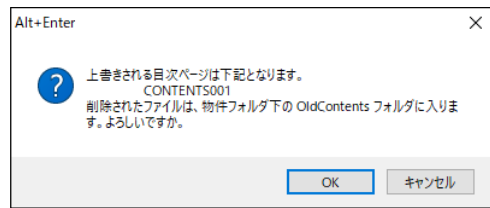
"OK" をクリックします。⑤



! ワンポイント

■目次のバックアップについて

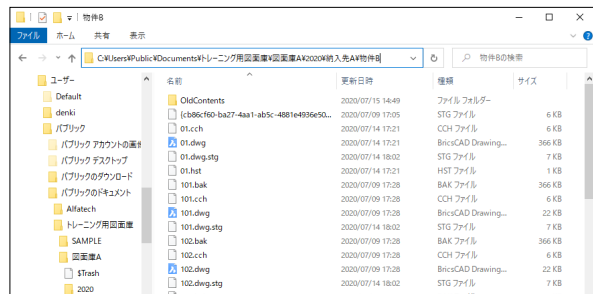
既に目次を作成済のプロジェクトについて、目次を作成すると右図のような確認のダイアログが表示されます。



"OK" をクリックすると、物件フォルダ以下に「oldContents」フォルダが自動作成され、既存の目次が退避されます。

※「OldContents」フォルダは電キャビ上では表示されません。確認する際はエクスプローラで確認してください。

※「OldContents」フォルダは前回の「OldContents」フォルダを削除し、新たに再作成します。そのため、目次ファイルのバックアップは直前の1つ前の目次のみです。



5.2 履歴管理

履歴を管理する方法について説明します。

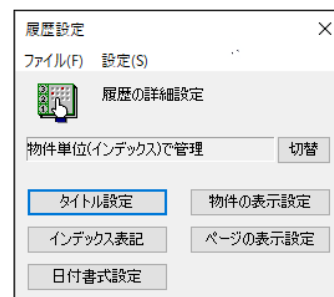
5.2.1. 履歴管理の事前確認

- 1.ACAD-DENKI を起動します。
2. 電キャビツールバーの履歴設定アイコンをクリックします。

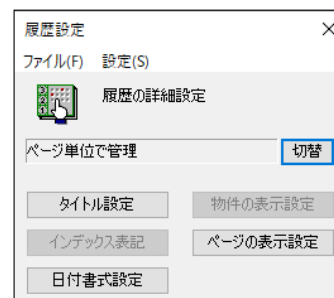
※電キャビツールバーが表示されていない場合は、CAD 画面のツールバーアイコンが表示されている箇所でも右クリックし、[ツールバー]-[ACAD-DENCABI]-[電キャビ]をクリックして表示させてください。②



3. 履歴設定ダイアログが表示されますので履歴管理方法を確認します。
履歴管理方法は物件単位での管理とページ単位での管理があります。
物件単位 (インデックス) で管理 : 5.2.2 ~ 5.2.3 を参照
ページ単位で管理 : 5.2.4 を参照



物件単位での管理

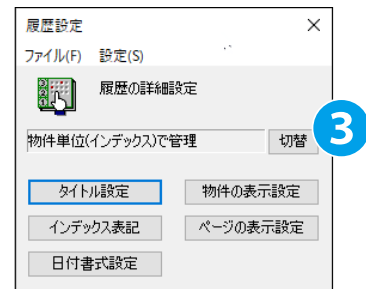


ページ単位での管理

！ワンポイント

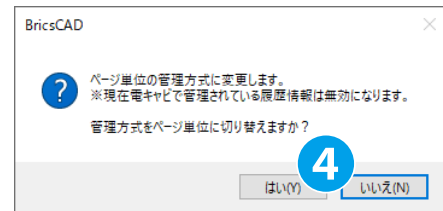
■物件単位での管理とページ単位の切替について
履歴の物件単位とページ単位の管理を切り替える場合、
以下の手順にて実施します。

"切替" をクリックします。③



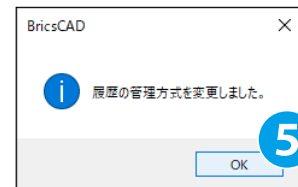
確認ダイアログが表示されます。

"はい" をクリックします。④



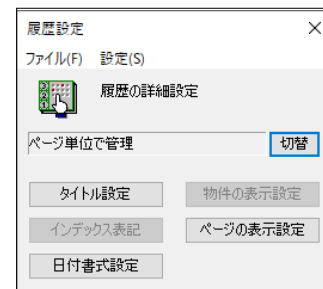
確認のダイアログが表示されます。

"OK" をクリックします。⑤



物件単位⇔ページ単位の切替が完了しました。

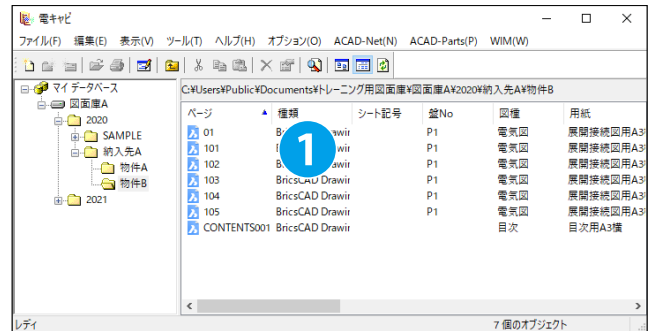
※図は物件単位からページ単位に切り替えた例です。



履歴管理設定詳細については ACAD-DENKI 電キャビ・ACAD-Parts 管理者用マニュアル「10 章 . 履歴管理の準備」を確認ください。

5.2.2. 履歴管理（物件単位 - ページ編集）

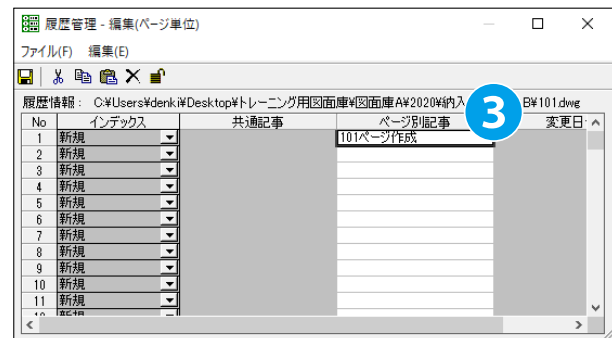
1. 電キャビを起動します。
2. 履歴を作成するファイルをダブルクリックします。
ここでは [図面庫 A]-[2020]-[納入先 A]-[物件 B]-[101] を使
用します。①



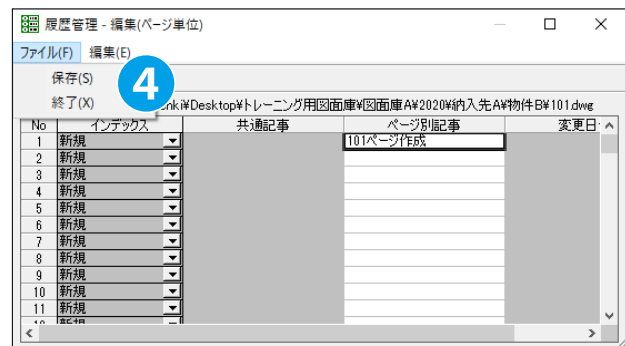
3. ACAD-DENKI が起動します。
電キャビツールバーの「履歴管理編集」アイコンをクリック
します。②



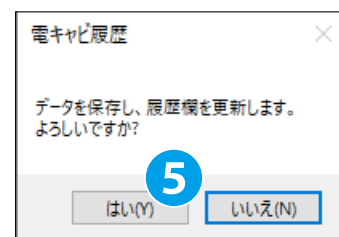
4. 履歴管理 - 編集 (ページ単位) ダイアログが表示されます。
ページ単位の編集画面のため、ここで編集できる項目は
「ページ別記事」のみです。
グレーアウトされた項目は「物件単位」専用の編集項目です。
5. ページ別記事に以下の設定を行います。③
ページ別記事：101 ページ作成



6. [ファイル]-[保存] をクリックします。④

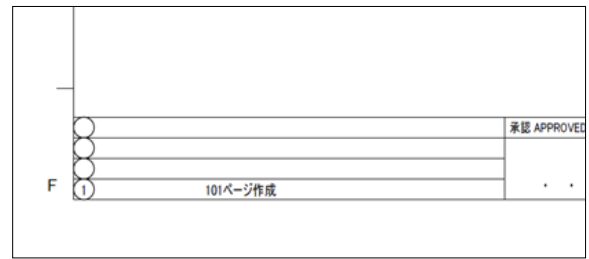


7. 確認のダイアログが表示されます。
"はい" をクリックします。⑤



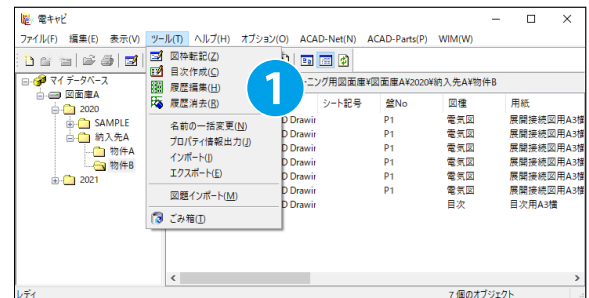
5章 . 目次・履歴

- 8.ACAD-DENKI でページ「101」を開き、図枠の履歴欄に入力した記事が転記されていることを確認します。
確認したら、ACAD-DENKI を閉じ、電キャビ画面に戻ります。

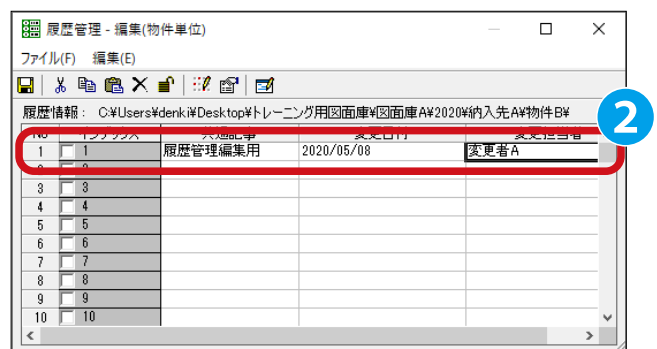


5.2.3. 履歴編集 (物件単位 - 物件編集)

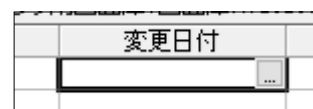
- 履歴管理編集を行うフォルダを選択します。
ここでは [図面庫 A]-[2020]-[納入先 A]-[物件 B] を選択します。
- [ツール]-[履歴編集] をクリックします。①



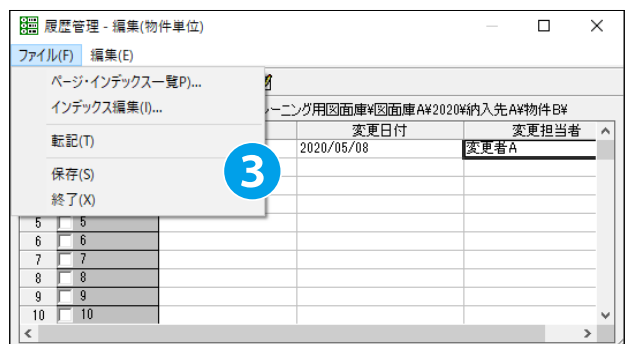
- 履歴管理 - 編集 (物件単位) ダイアログが表示されます。
インデックス「1」に以下の編集を行います。②
共通記事：履歴管理編集用
変更日付：本日日付
変更担当者：変更者 A



※変更日付について、セルをクリックするとセル右側に「…」が表示されます。こちらをクリックすると本日日付が入力されます。

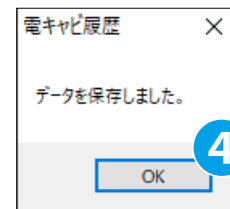


- [ファイル]-[保存] をクリックします。③

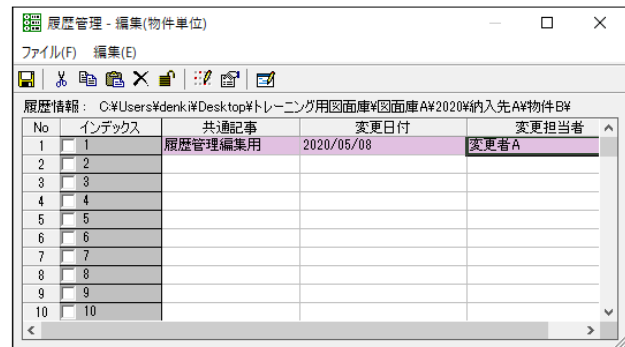


5. 確認のダイアログが表示されます。

"OK" をクリックします。④



6. データが保存されます。

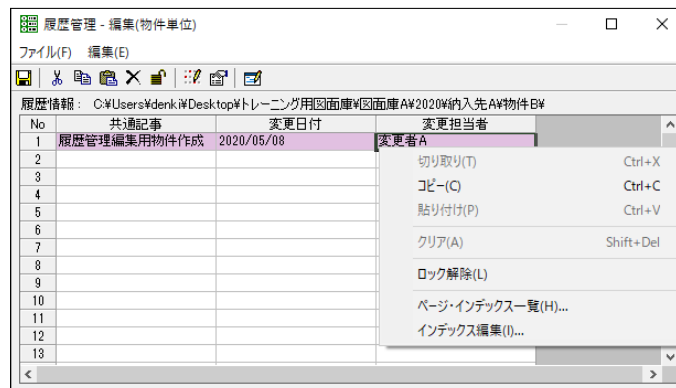


！ワンポイント

■データのロックについて

データを保存するとデータ行がロック状態（ピンク色の網掛）となり、編集ができない状態になります。再度、編集する場合は、ロックを解除する必要があります。

編集したいセルを選択し、右クリックで表示されるメニューから、[ロック解除] をクリックすることで、編集可能となります。

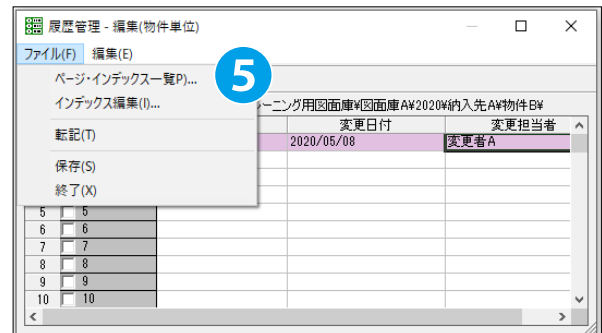


5章 . 目次・履歴

7. 物件単位で作成した履歴をどのファイルに設定するか選択します。

[ファイル]-[ページ・インデックス一覧]をクリックします。

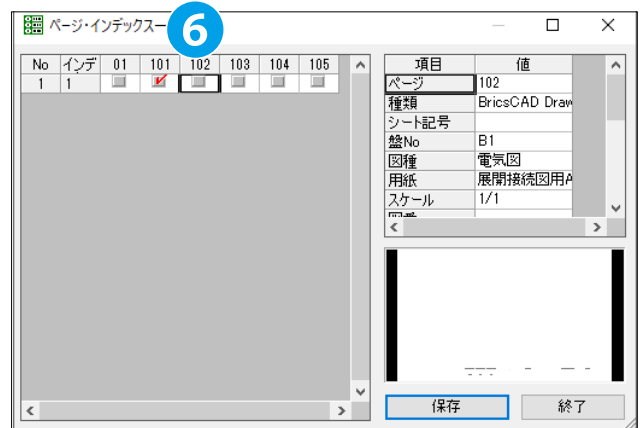
5



8. ページ・インデックス一覧ダイアログが表示されます。

履歴欄を設定したいページを選択します。

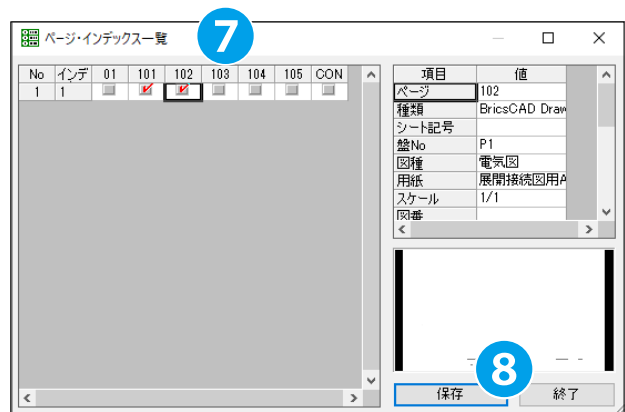
ページ「101」は「5.2.2.履歴管理（物件単位 - ページ編集）」で履歴を記入したため、チェックが入っている状態です。6



11. クリックすると、チェックマークがつきます。

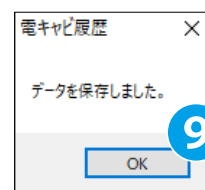
同様にページ「102」にもチェックをつけます。7

12. "保存"をクリックします。8

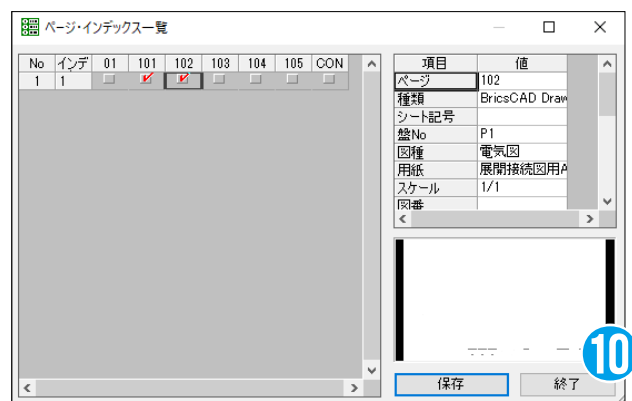


13. 確認のダイアログが表示されます。

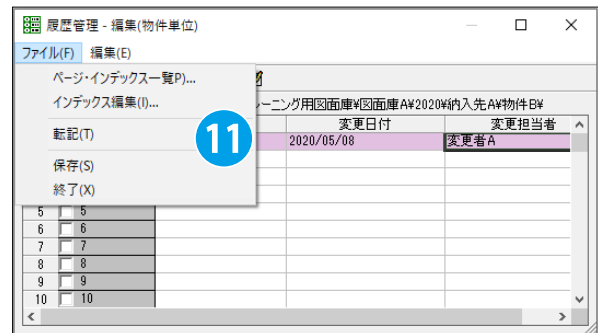
"OK"をクリックします。9



14. ページ・インデックス一覧ダイアログの "終了" をクリックします。10

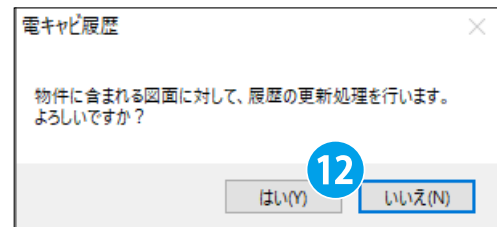


16. [ファイル]-[転記] をクリックします。⑪



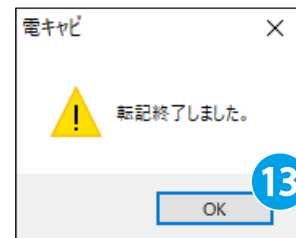
17. 確認のダイアログが表示されます。

"はい" をクリックします。⑫

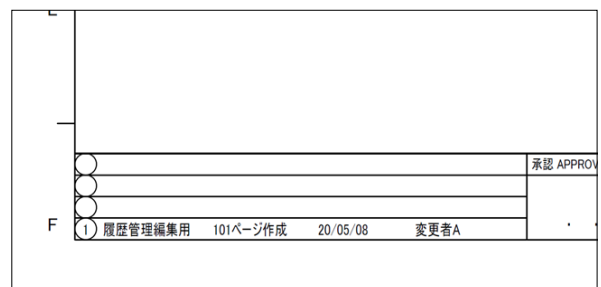


17. 確認のダイアログが表示されます。

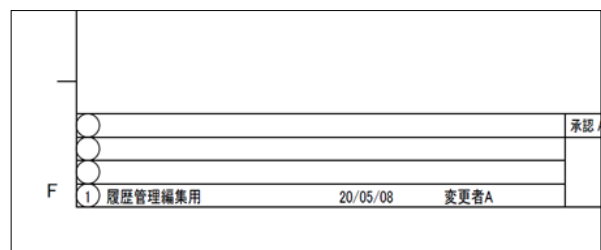
"OK" をクリックします。⑬



18. 電キャビからページ「101」を開き、図枠の履歴欄に入力した記事が転記されていることを確認します。

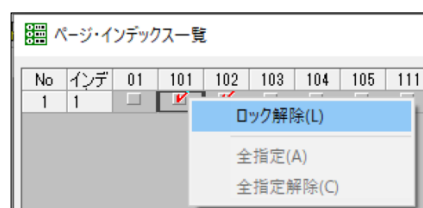


19. ページ「102」を開きます。ページ別記事である「101 ページ作成」は表示されていないことを確認します。確認したら、ACAD-DENKI を閉じ、電キャビ画面に戻ります。



！ワンポイント

履歴欄を設定するページを再選択したい場合、該当ページのチェック欄にカーソルを置き、右クリックでコンテキストメニューから、「ロック解除」をクリックすることで、再設定可能になります。

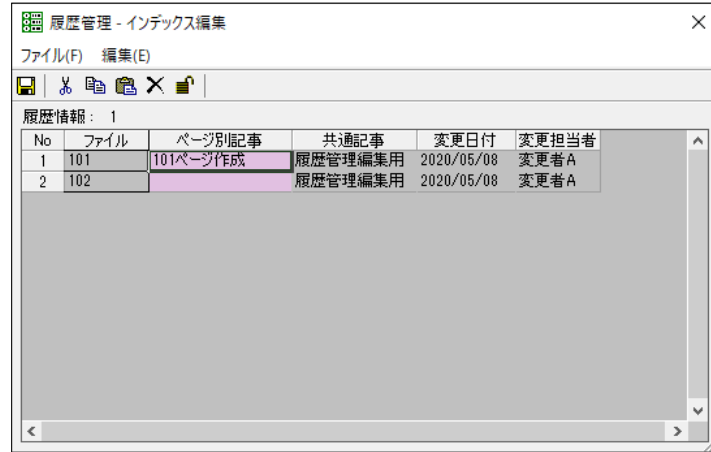


！ワンポイント

■ ページ別記事の変更について

ページ別記事については、5.2.2 のように ACAD-DENKI から編集する方法の他に電キャビから編集する方法があります。履歴管理 - 編集 (物件単位) ダイアログにて編集したい行を選択し、[ファイル]-[インデックス編集] をクリックします。

履歴管理 - インデックス編集ダイアログが表示されますので、ページ別記事を確認・編集します。



※ロック状態 (ピンク色の網掛) になっていますので、編集したいセルにカーソルを合わせ、[編集]-[ロック解除] をクリックすると編集可能となります。

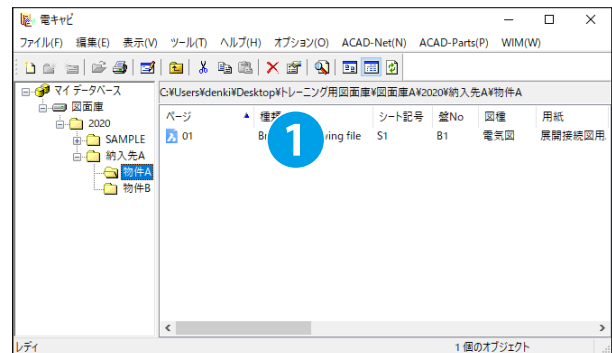
※編集後は [ファイル]-[保存] をクリックして編集内容を保存してください。

保存後はインデックス編集ダイアログを閉じます。

※編集した内容を図面に反映する場合は、保存後、履歴管理 - 編集 (ページ単位) ダイアログからの転記が必要です。

5.2.4. 履歴管理（ページ単位 - ページ編集）

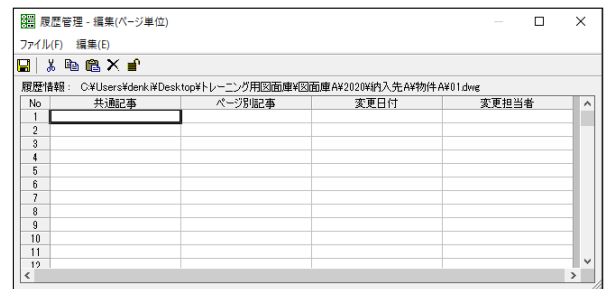
1. 電キャビを起動します。
2. 履歴を作成するファイルをダブルクリックします。
ここでは [図面庫 A]-[2020]-[納入先 A]-[物件 A]-[01] をダブルクリックします。①



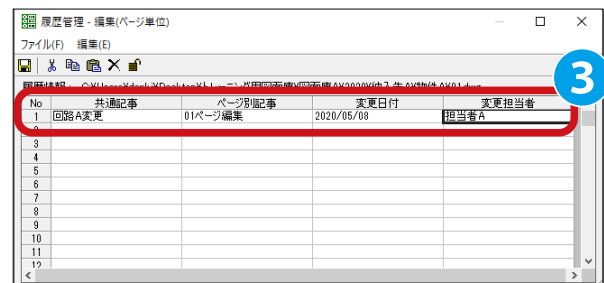
3. ACAD-DENKI が起動します。
電キャビツールバーの「履歴管理編集」アイコンをクリックします。②



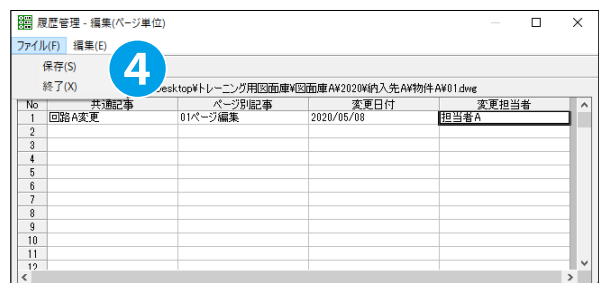
4. 履歴管理 - 編集 (ページ単位) ダイアログが表示されます。



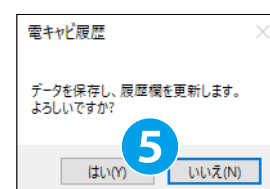
5. ページ別記事に以下の情報を入力します。③
共通記事：回路 A 変更
ページ別記事：01 ページ編集
変更日付：本日日付
変更担当者：担当者 A



6. [ファイル]-[保存] をクリックします。④



7. 確認のダイアログが表示されます。
"はい" をクリックします。⑤



6章

ACAD-Parts

ACAD-Parts とは部品情報データベース [部品マスタ] を参照して部品表や手配表などを生成するためのアプリケーションです。

6.1 ACAD-Parts とは

ACAD-Parts について説明します。

6.1.1. ACAD-Parts の概要と目的

ACAD-Parts とは部品情報データベース [部品マスタ] を利用して様々な操作を可能とするアプリケーションです。この章では部品マスタを用いた機能について記載し、実際に操作していただくことで機能を理解していただくことを目的としております。

※ ACAD-Parts の各種設定につきましては管理者マニュアルに記載しておりますので、そちらをご確認ください。

6.1.2. ACAD-Parts について

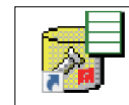
ACAD-Parts では部品情報データベース [部品マスタ] を参照して以下のような処理を行うことができます。

- ・ 部品マスタから検索した部品情報を図面内の指定シンボルの属性へ転記
- ・ プロジェクト内の図面から部品情報を抽出し編集した部品情報をシンボルの属性へ反映
- ・ プロジェクト内の電気図面から抽出した部品情報を基にして盤図面上へ対応する外形図シンボルを配置
- ・ プロジェクト内の電気図面と器具仮配置図面間での部品情報の過不足を照合
- ・ プロジェクト内の図面から部品情報を抽出し部品表を生成

6.1.3. ACAD-Parts の起動方法

1 デスクトップアイコンから

デスクトップの ACAD-Parts アイコンをクリックします。

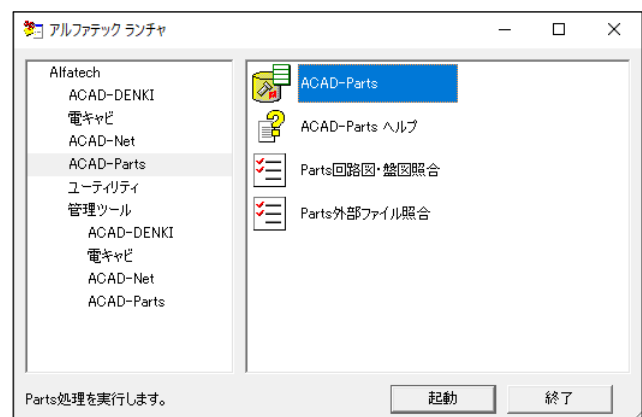


ACAD-Parts が起動します。

2 アルファテックランチャーから

スタートメニューから [Alfatech]-[アルファテックランチャー]-[ACAD-Parts] をダブルクリックします。

ACAD-DENKI の環境が複数ある場合、起動環境の選択ダイアログが表示されます。



7 章

部品表作成

部品表作成機能について説明します。

7.1 部品表抽出図面作成

部品表抽出元となる図面を作成する方法について説明します。

7.1.1. シンボル入力 (部品マスタ)

部品マスタを利用してシンボルを配置します。

1.ACAD-DENKI を起動します。

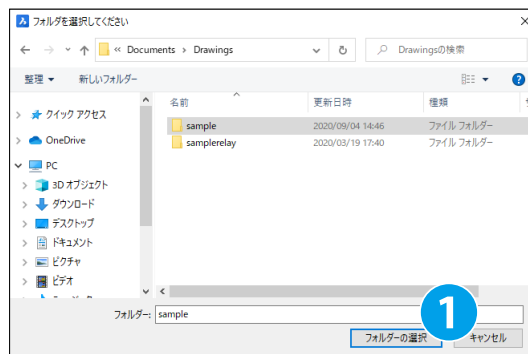
2.[プロジェクト]-[開く] をクリックします。

3. サンプル物件を開きます。

※トレーニング用のサンプルデータは、

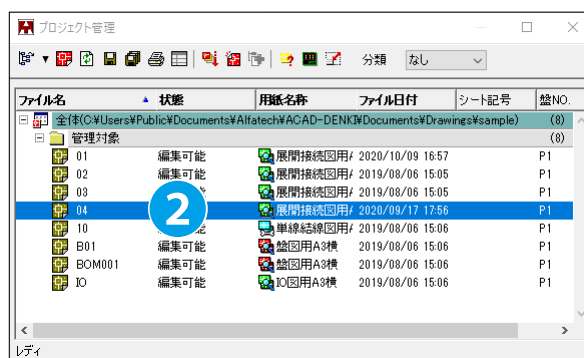
3.1.1. 環境ファイルのインポート、でダウンロードしたデータを使用します。

4."フォルダを選択" をクリックします。①

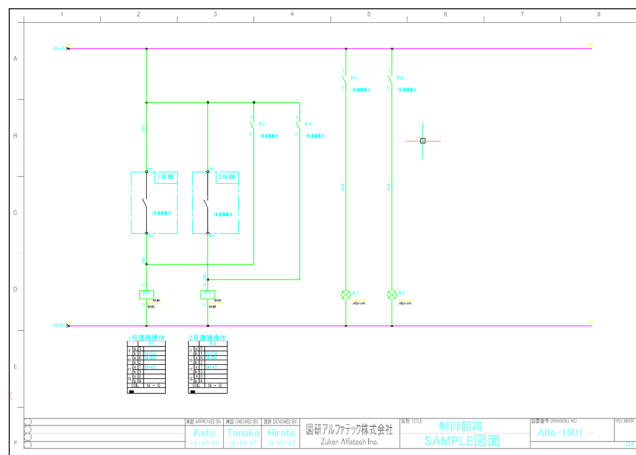


5. プロジェクト管理ダイアログが開きます。

6. 「04」 をダブルクリックします。②



7. 図面「04」が表示されます。



8.[シンボル]-[シンボル入力(部品マスタ)]をクリックします。

9. 検索条件リストに検索条件を入力します。③

項目：部品コード
条件：B1VAP
オプション：を含むもの

10." 検索 " をクリックします。④

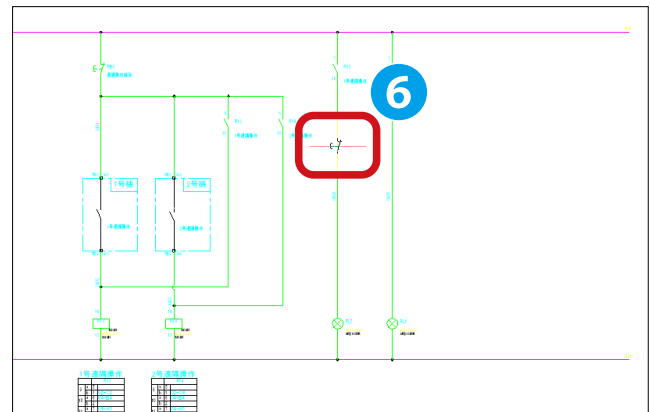


11. 部品検索結果リストに検索結果が表示されます。

部品コードが「B1VAP-2」の行を選択し、" 選択 " をクリックします。⑤



12. カーソルにシンボルが表示されます。下図を参考に配置したい位置でクリックします。⑥



13. 属性編集ダイアログが表示されます。

部品マスタに登録されている情報が転記されていることを確認します。

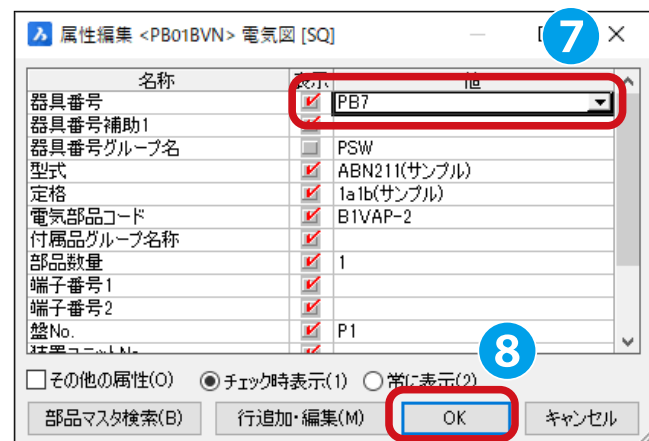
14. 器具番号を入力します。⑦

器具番号：PB7

15."OK" をクリックします。⑧

16.Enter を押します。

※連続配置を終了します。

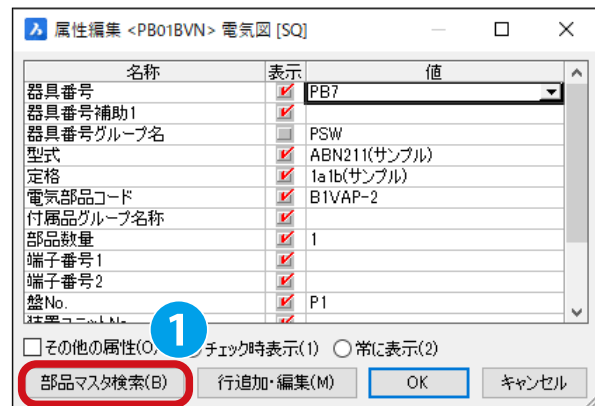


7.1.2. 部品マスタ検索

既に図面に配置してあるシンボルの情報を部品マスタにて入力(更新)します。

1. 「7.1.1. シンボル入力(部品マスタ)」にて配置した「PB7」をダブルクリックします。

2. 属性編集ダイアログが表示されます。
"部品マスタ検索" をクリックします。①



3. 検索条件ダイアログが表示されます。

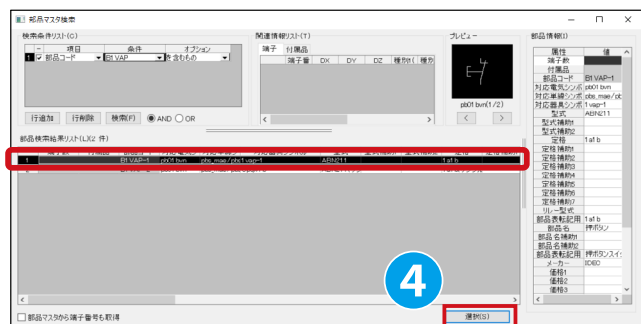
4. 検索条件リストに以下の検索条件を入力します。②

項目：部品コード
条件：B1VAP
オプション：を含むもの



5. "検索" をクリックします。③

6. 検索結果ダイアログに検索結果が表示されます。
部品コードが「B1VAP-1」の行を選択し、"選択" をクリックします。④

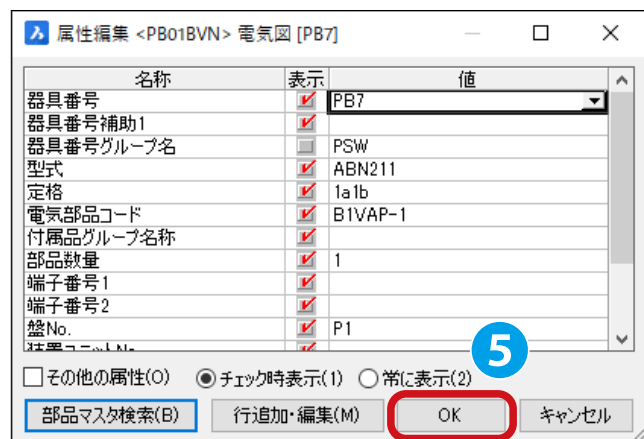


7. 属性編集ダイアログが表示されます。
部品マスタに登録されている情報が転記されていることを確認します。

8. "OK" をクリックします。⑤

9. Enter を押します。
※連続編集を終了します。

10. 図面に配置したシンボル「PB7」を削除します。
※後述は「PB7」が存在しない前提です。



7.2 部品情報抽出

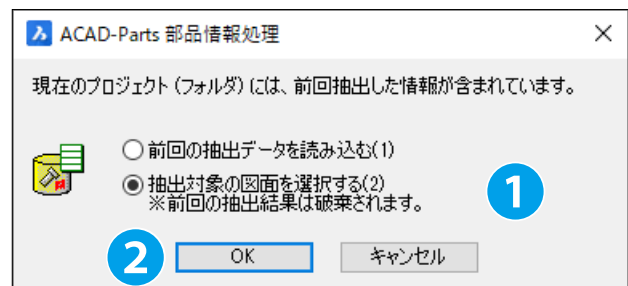
回路図から部品情報を抽出する方法について記載します。

7.2.1. 部品情報の抽出と反映

1.[ACAD-Parts]-[部品情報処理]をクリックします。

2. 該当のプロジェクトにて一度でも部品情報処理を実行した場合、ACAD-Parts 部品情報処理ダイアログが表示されます。「抽出対象の図面を選択する」にチェックを入れます。①

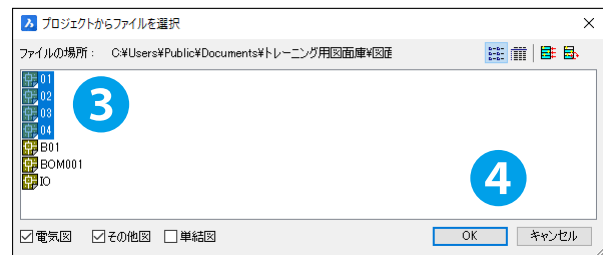
3."OK"をクリックします。②



4. プロジェクトからファイルを選択ダイアログが表示されますので、ファイルを選択します。

ここでは、「01」～「04」を選択します。③

5."OK"をクリックします。④

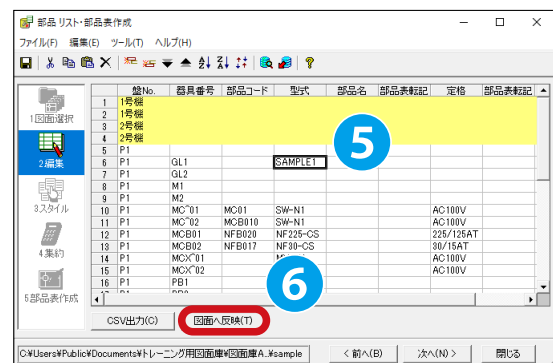


6. 部品リスト・部品表作成ダイアログが表示されます。項目を編集します。

ここでは器具番号「GL1」の型式を編集します。⑤

型式：SAMPLE1

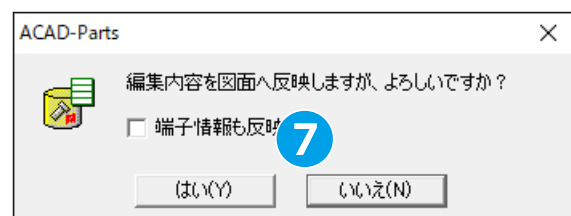
7."図面へ反映"をクリックします。⑥



8. 確認のダイアログが表示されます。

"はい"をクリックします。⑦

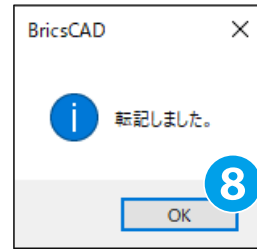
※「端子情報も反映」にチェックを入れると、部品マスタに登録されている端子情報も反映することができます。



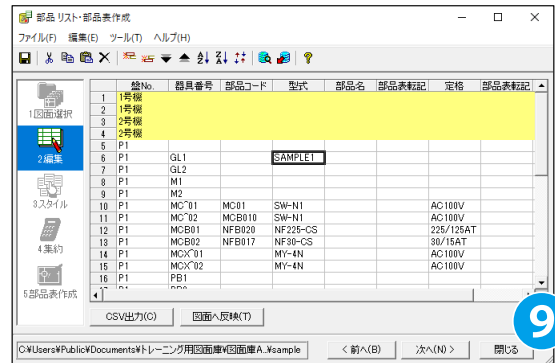
7章 . 部品表作成

9. 確認のダイアログが表示されます。

"OK" をクリックします。⑧

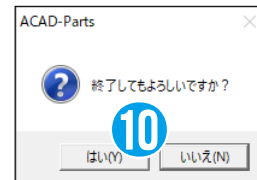


10. 部品リスト・部品表作成ダイアログの "閉じる" をクリックします。⑨



11. 確認のダイアログが表示されます。

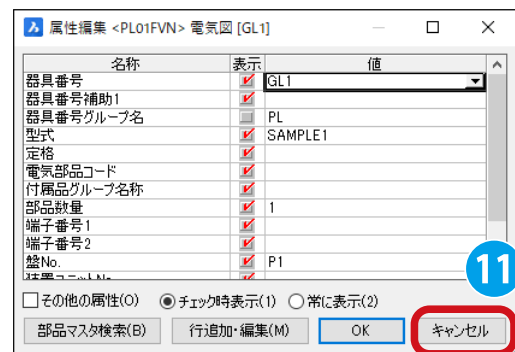
"はい" をクリックします。⑩



12. 図面に反映されているか確認します。

図面「02」の器具番号「GL1」を選択し、右クリックで表示されるメニューの [編集 (DENKI)] から型式に「SAMPLE1」が反映されていることを確認します。

確認できたら "キャンセル" をクリックして属性編集ダイアログを閉じます。⑪



！ワンポイント

■部品リスト・部品表作成ダイアログについて

CAD 操作（図面の編集等）を行う場合、部品リスト・部品表作成ダイアログを閉じる必要があります。ダイアログを最小化してもタスクバーに残っていると⑫ CAD 操作はできませんので、ダイアログを閉じるようお願いします。

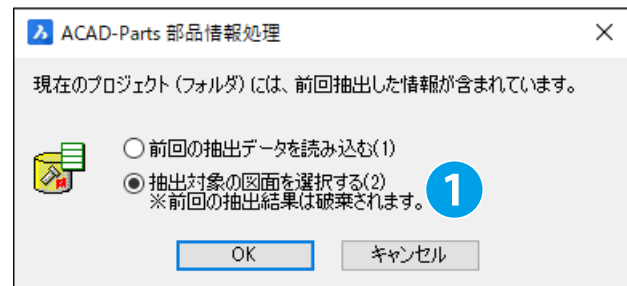


7.2.2. 部品情報更新 (部品マスタ)

1.[ACAD-Parts]-[部品情報処理] をクリックします。

2. 該当のプロジェクトにて一度でも部品情報処理を実行した場合、ACAD-Parts 部品情報処理ダイアログが表示されます。「抽出対象の図面を選択する」にチェックを入れます。①

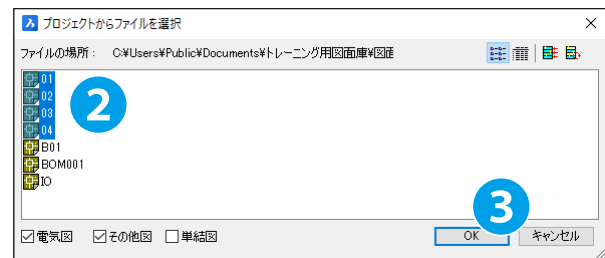
3."OK" をクリックします。



4. プロジェクトからファイルを選択ダイアログが表示されますので、ファイルを選択します。

ここでは、01～04 を選択します。②

5."OK" をクリックします。③

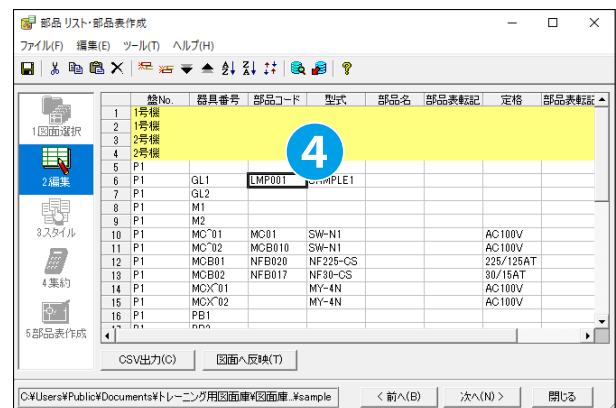


6. 部品リスト・部品表作成ダイアログが表示されます。

対象の行を更新します。

ここでは器具番号「GL1」の部品コードを編集します。④

部品コード：LMP001



7. 器具番号「GL1」の部品コードにカーソルがある状態で

[ツール]-[情報更新 (部品マスタ)] をクリックします。⑤

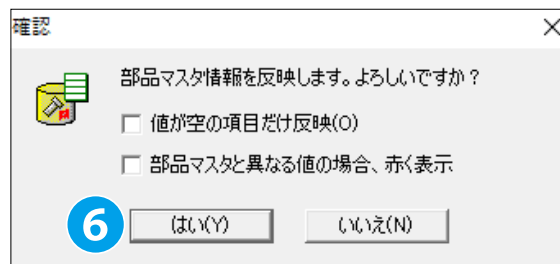


7章 . 部品表作成

8. 確認のダイアログが表示されます。

[はい] をクリックします。⑥

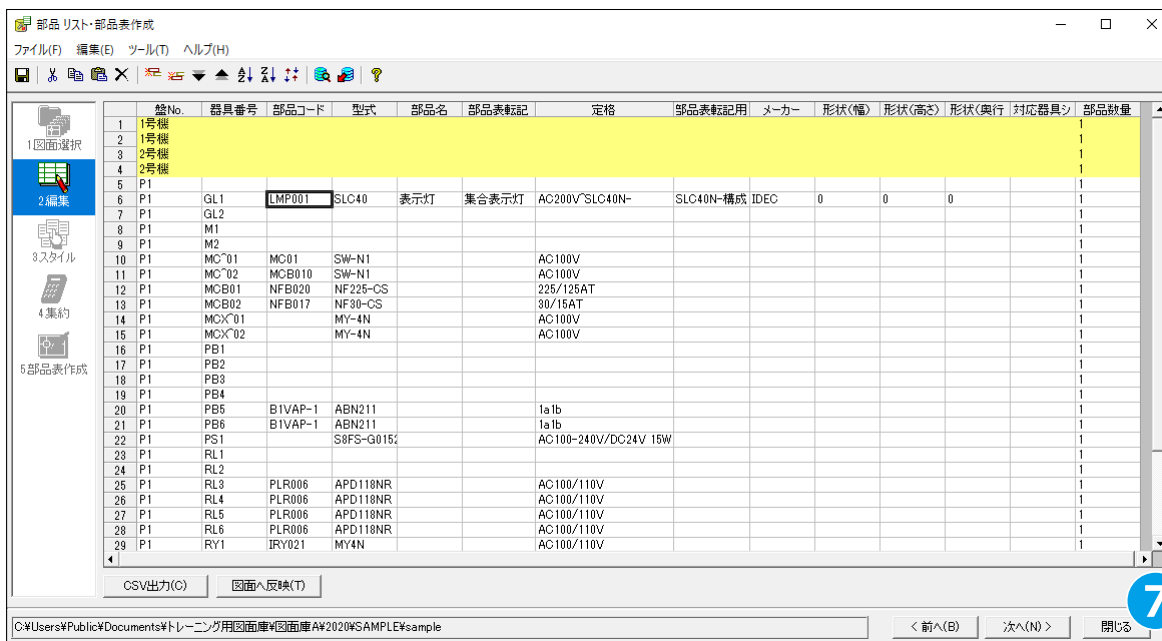
※ 「値が空の項目だけ反映」にチェックを入れると、
空欄の項目のみ部品マスタにて情報が更新されます。
値が入っている項目は、部品マスタの値と異なっている
場合でも更新されません。



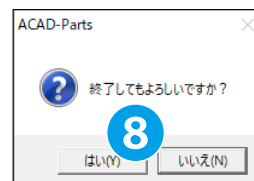
9. 器具番号「GL1」の行の項目が更新されているか確認します。

確認出来たら "閉じる" をクリックします。⑦

※ "図面へ反映" をクリックすることで、「7.2.1 部品情報の
抽出と反映」同様、更新情報を図面へ反映させることが
できます。



10. "はい" をクリックします。⑧

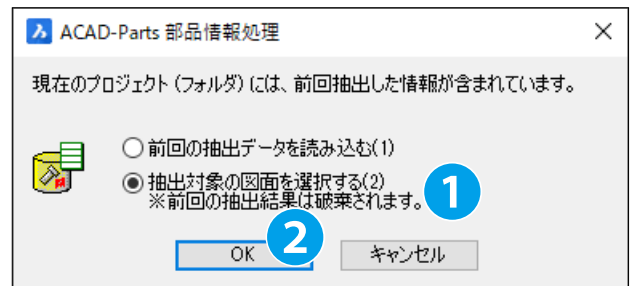


7.3 部品表作成

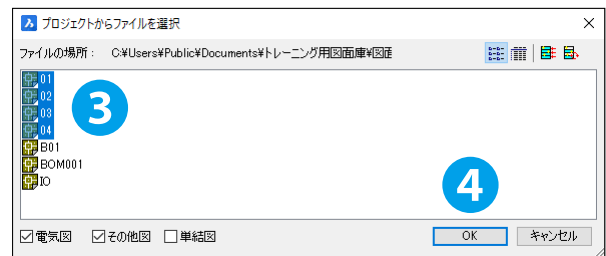
部品表を作成する方法について記載します。

7.3.1. スタイル選択

- 1.ACAD-DENKI を起動します。
- 2.[ACAD-Parts]-[部品情報処理] をクリックします。
3. 該当のプロジェクトにて一度でも部品情報処理を実行した場合、ACAD-Parts 部品情報処理ダイアログが表示されます。「抽出対象の図面を選択する」にチェックを入れます。①



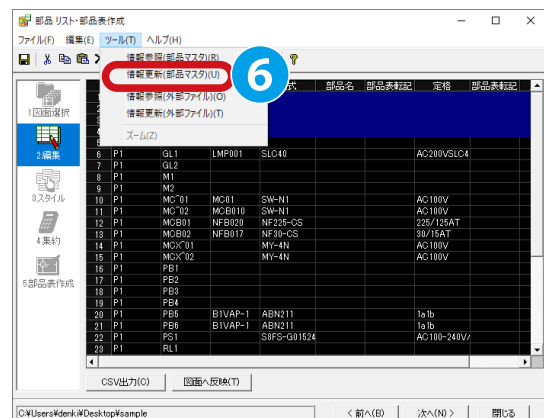
- 4."OK" をクリックします。②
5. プロジェクトからファイルを選択ダイアログが表示されますので、ファイルを選択します。ここでは、01 ~ 04 を選択します。③
- 6."OK" をクリックします。④



7. 部品リスト・部品作成ダイアログが表示されます。表左上の空白セルを選択し、全セルを選択状態にします。⑤



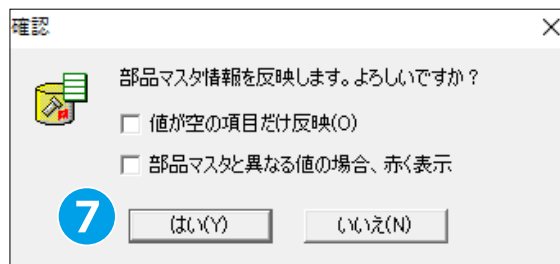
- 8.[ツール]-[情報更新 (部品マスタ)] をクリックします。⑥



7章 . 部品表作成

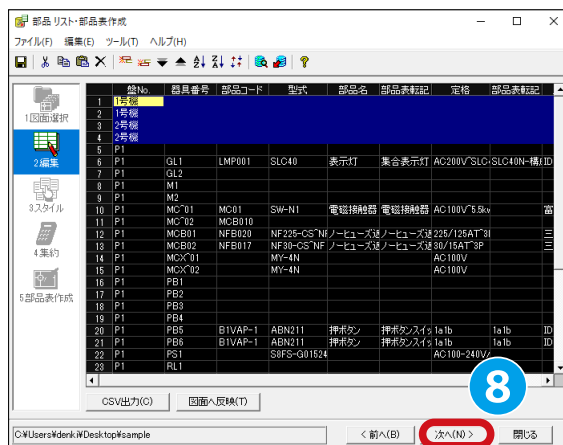
9. 確認のダイアログが表示されます。

"はい" をクリックします。⑦

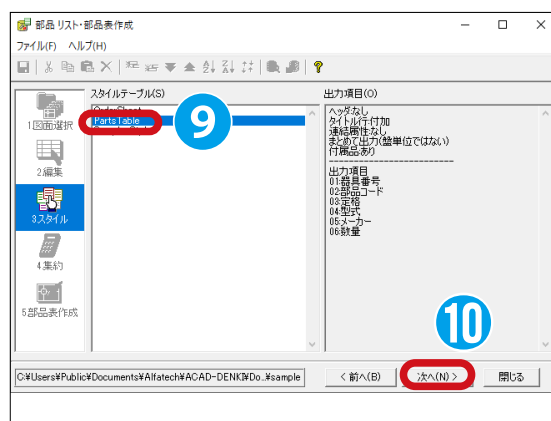


10. 部品情報が更新されます。

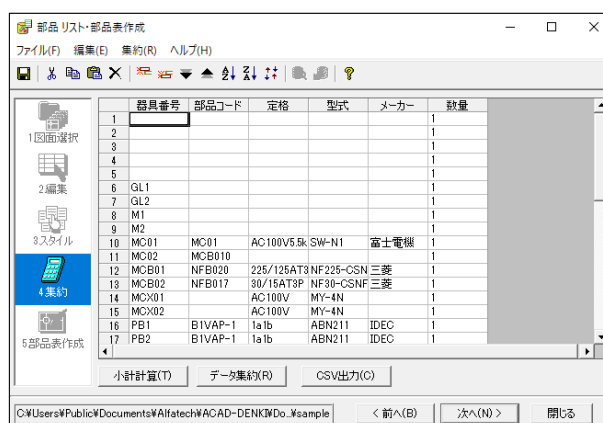
"次へ" をクリックします。⑧



11. スタイル「Parts Table」を選択し、⑨ "次へ" をクリックします。⑩

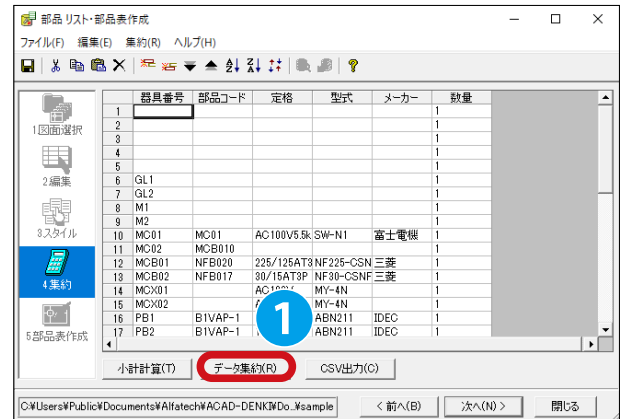


12. スタイルに基づき、項目が整理されました。



7.3.2. 部品情報の集約

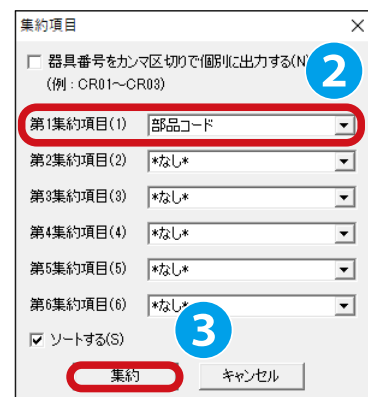
1."データ集約"をクリックします。①



2. 集約項目ダイアログが表示されます。

第1集約項目に「部品コード」を選択します。②
(プルダウンにより選択します)

3."集約"をクリックします。③

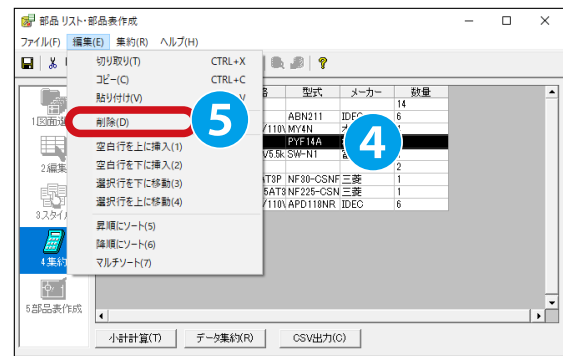


4. 部品コード単位で項目が集約されました。

型式「PYF14A」の行を選択します。④

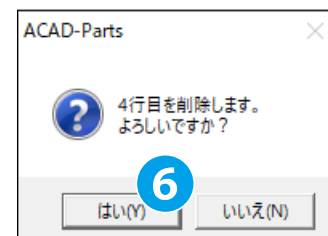
5.[編集]-[削除]をクリックします。⑤

※ここで削除等、編集した内容は部品表に反映されますが、
図面には反映されません。



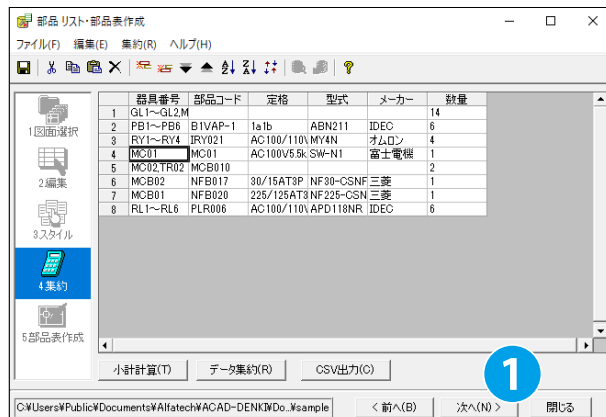
6. 確認のダイアログが表示されます。

"はい"をクリックします。⑥



7.3.3. テンプレート選択、部品表出力

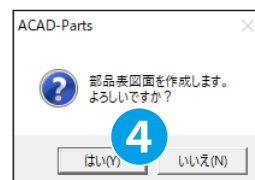
1. "次へ" をクリックします。①



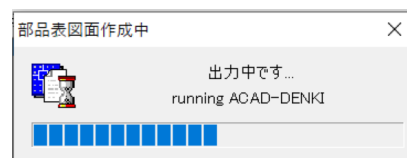
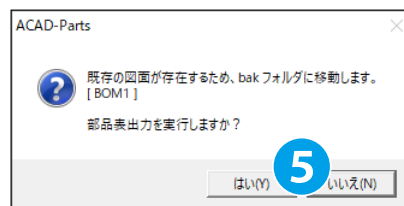
2. 表枠テンプレート「Parts Table」を選択し、
"部品表図面の出力実行" をクリックします。③



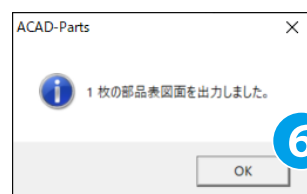
3. 確認のダイアログが表示されます。
"はい" をクリックします。④



4. 既にプロジェクト内に同名の部品表が存在する場合、
確認のダイアログが表示されます。
"はい" をクリックします。⑤



5. 出力が終了すると、結果のダイアログが表示されます。
"OK" をクリックします。⑥

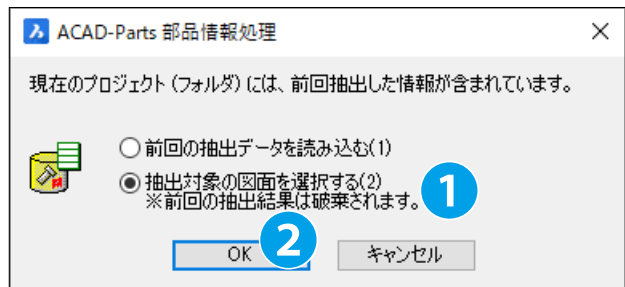


7.3.4. CSV への出力

1.[ACAD-Parts]-[部品情報処理] をクリックします。

2. 該当のプロジェクトにて一度でも部品情報処理を実行した場合、ACAD-Parts 部品情報処理ダイアログが表示されます。「抽出対象の図面を選択する」にチェックを入れます。①

3."OK" をクリックします。②



4. プロジェクトからファイルを選択ダイアログが表示されますので、ファイルを選択します。

ここでは、01～04 を選択します。③



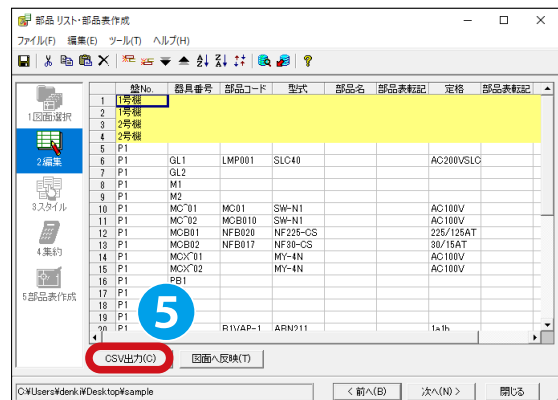
※ 「その他図」のチェックを外すことで、「7.3.3 テンプレート選択、部品表出力」にて作成した部品表を非表示にすることができます。

5."OK" をクリックします。④



6. 部品リスト・部品表作成ダイアログが表示されます。

"CSV 出力" をクリックします。⑤



7.CSV 出力ダイアログが表示されます。

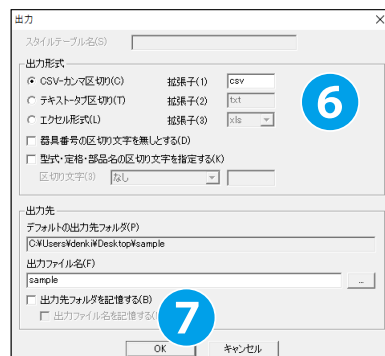
出力形式、出力先を指定し、⑥ "OK" をクリックします。⑦

出力形式：CSV- カンマ区切り

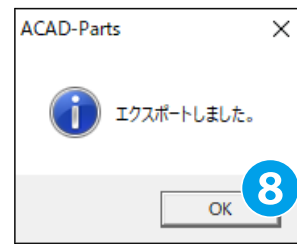
拡張子：csv

出力ファイル名：sample

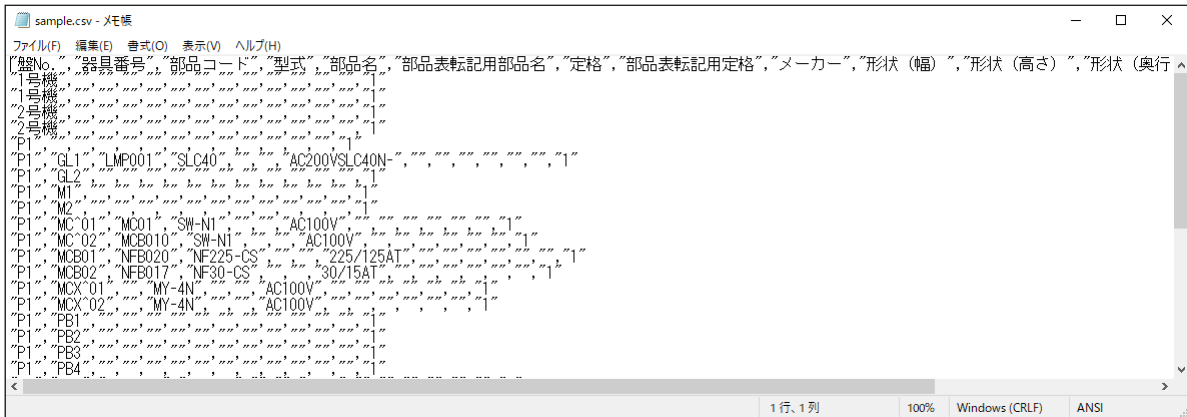
※デフォルトの出力先は「…」をクリックすることで変更可能です。



8. 確認ダイアログが表示されますので、「OK」をクリックします。⑧



9. 出力したファイルを開き、出力結果を確認します。
結果を確認したら、部品リスト・部品表作成ダイアログを閉じます。



- ※ CSV出力は「7.3.2. 部品情報の集約」の集約画面から行うことも可能です。



7章．部品表作成

《このページは空白ページです》

8章

盤図コマンド

盤図を作成するための機能について説明します。

8.1 器具仮配置

器具仮配置機能を利用して盤図に部品を配置する手順を記載します。

8.1.1. 物件の作成

1. サンプル物件から以下のファイルを PC の任意の場所にコピー＆ペーストします。

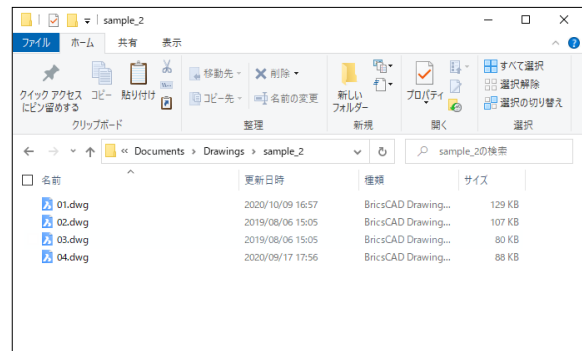
コピーするファイル：01.dwg ～ 04.dwg

※サンプル物件は下記 URL の [サンプルファイル]-[ACAD-DENKI チュートリアルファイル] よりサンプル物件「sample」をダウンロードし、利用してください。

<https://www.alfatech.jp/support/supportdownload/>

外部ネットワークに接続できない環境の場合、インストーラーデータ (MEDIA_A_1041.iso) 内の下記パスに上記 URL と同じデータがあります。

MEDIA_A_1041\MISC¥Manual_Sample¥sample



- 2.ACAD-DENKI を起動します。

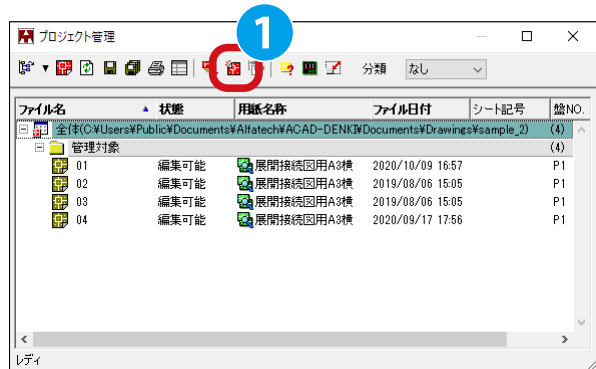
- 3.[プロジェクト]-[開く]をクリックします。

- 4.「1.」でコピー＆ペーストした物件を開きます。

- 5."フォルダーの選択"をクリックします。

- 6.プロジェクト管理ダイアログが開きます。

新ページ作成アイコンをクリックします。①



- 7.新ページ作成ダイアログが表示されます。

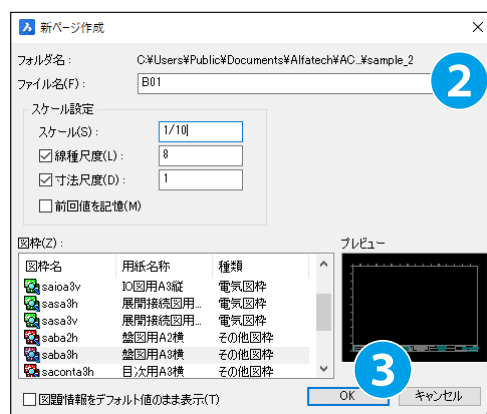
以下を入力します。②

ファイル名：B01

スケール：1/10

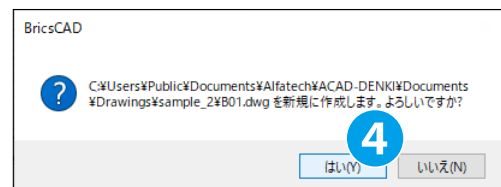
図枠：saba3h

- 8."OK"をクリックします。③

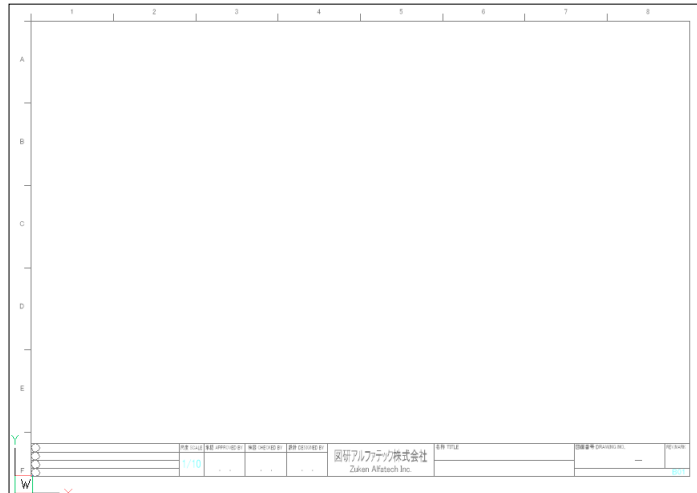


9. 確認のダイアログが表示されます。

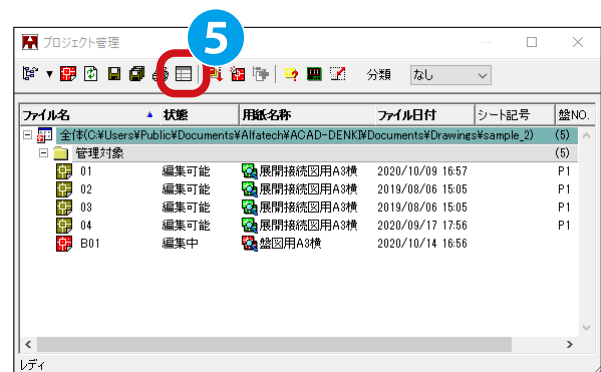
"はい" をクリックします。④



10. 「B01」が作成されます。



11. プロジェクト管理ダイアログで図題情報編集アイコンをクリックします。⑤

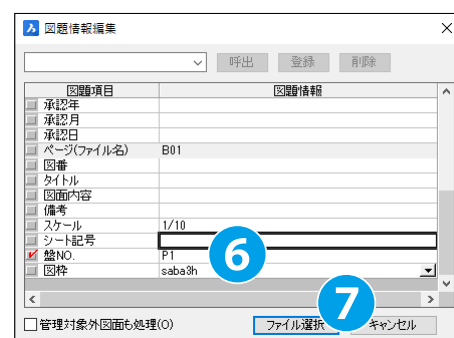


12. 図題情報編集ダイアログが表示されます。

以下を入力します。⑥

盤 No. : P1

13. "ファイル選択" をクリックします。⑦



8章 . 盤図コマンド

14. ファイル選択ダイアログが表示されます。

「B01」が選択されていることを確認し、「OK」をクリックします。⑧



15. 確認のダイアログが表示されます。

"OK"をクリックします。⑨



8.1.2. 部品情報の抽出

1.[ACAD-Parts]-[部品情報処理] をクリックします。

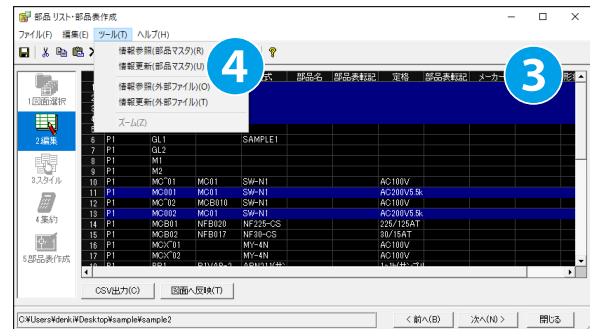
2. ファイル選択ダイアログが表示されます。

「01」～「04」を選択して、① "OK" をクリックします。②



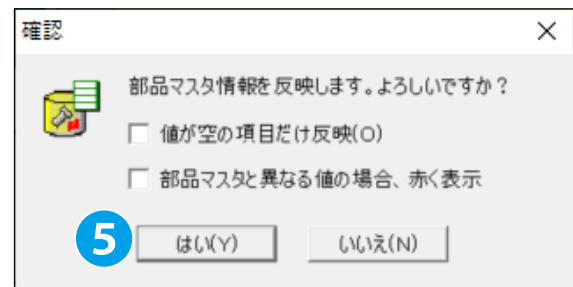
3. 部品リスト・部品表作成ダイアログが表示されます。

すべての行を選択し、③ [ツール]-[情報更新 (部品マスタ)] をクリックします。④



4. 確認のダイアログが表示されます。

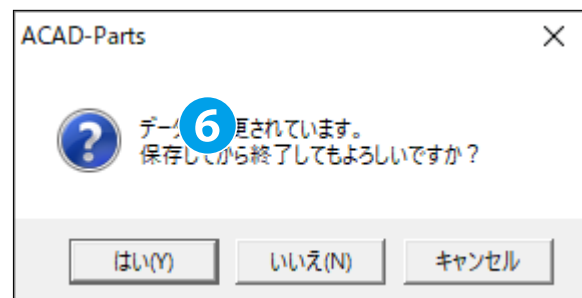
"はい" をクリックします。⑤



5. 部品リスト・部品表作成ダイアログの "閉じる" をクリックします。

6. 確認のダイアログが表示されます。

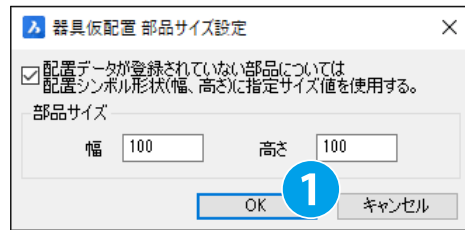
"はい" をクリックします。⑥



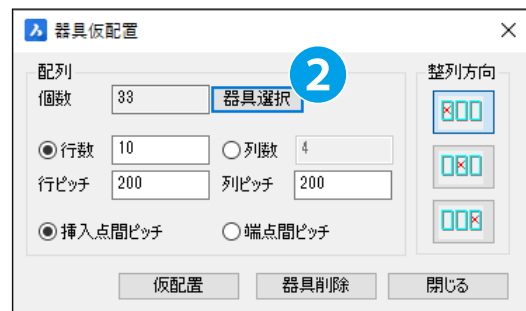
8.1.3. 器具仮配置

盤図面に回路図から抽出した部品情報を基にシンボルを配置します。

1. カレントページを「B01」にします。
2. [ACAD-Parts]-[器具仮配置] をクリックします。
3. 器具仮配置部品サイズ設定ダイアログが表示されます。
"OK" をクリックします。①



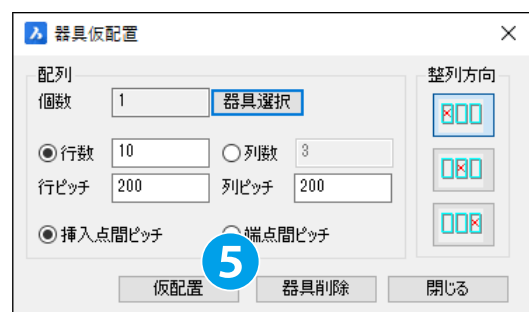
4. 器具仮配置ダイアログが表示されます。
"器具選択" をクリックします。②



5. 器具選択ダイアログが表示されます。
PB1 を選択し、③ "OK" をクリックします。④



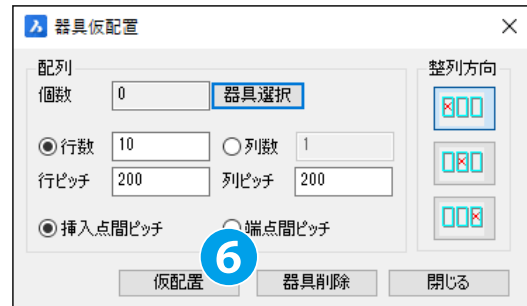
6. 器具仮配置ダイアログが表示されます。
個数が器具選択ダイアログで選択した個数となります。
"仮配置" をクリックします。⑤



7. カーソルに PB1 が付随します。
任意の場所に配置します。

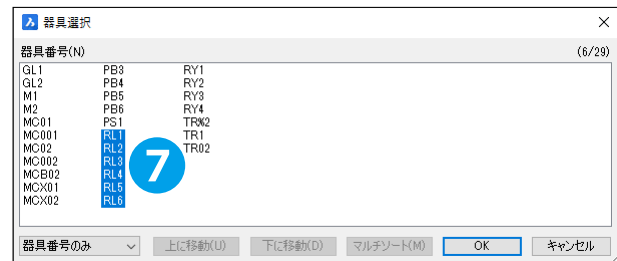


8. 器具仮配置ダイアログが表示されます。
" 器具選択 " をクリックします。⑥



9. 器具選択ダイアログが表示されます。
以下を選択して "OK" をクリックします。⑦

選択する器具番：RL1 ~ RL6



10. 器具仮配置ダイアログが表示されます。
以下を編集します。⑧

行数：2
列数：3
行ピッチ：200
列ピッチ：200

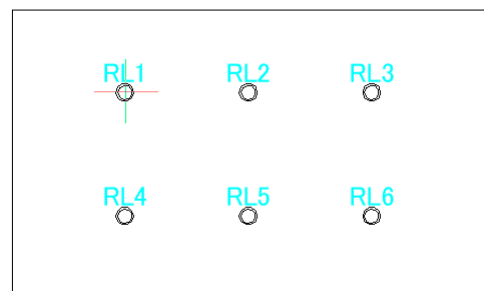


11. " 仮配置 " をクリックします。⑨

12. カーソルに RL1 ~ RL6 が配列で付随します。
任意の位置に配置します。

13. 器具仮配置ダイアログが表示されます。
" 閉じる " をクリックします。

14. [ファイル]-[上書き保存] をクリックします。



8.2 盤構造ブラウザ

盤構造ブラウザを使用して盤図に部品を配置する手順を記載します。

この処理を行う前に「8.1.1. 物件の作成」、「8.1.2. 部品情報の抽出」を行っておく必要があります。

8.2.1. 盤構造ブラウザを使用する前に

1.ACAD-DENKI を起動します。

2.[電気編集]-[ACAD-DENKI 環境設定] をクリックします。

3.ACAD-DENKI 環境設定ダイアログが表示されます。

[プロジェクト]-[WIM DB] を選択します。①

4.「 WIM 登録・更新を行う」にチェックを入れます。②

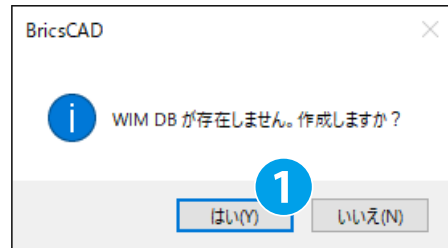
※チェックを入れることで、盤構造ブラウザを使用した部品配置が可能となります。

5."OK" をクリックします。③

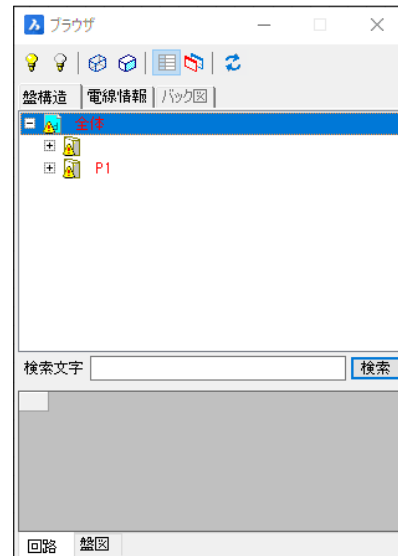


8.2.2. 盤構造ブラウザを開く

1. 「B01」がカレントページであることを確認し、
[盤図]-[盤構造ブラウザ]をクリックします。
2. 確認のダイアログが表示されます。
"はい"をクリックします。①



3. 盤構造ブラウザが表示されます。



！ワンポイント

■盤構造ブラウザの各タブについて

■盤構造タブ

盤 No. 単位で部品をツリー表示します。
黒色の部品は盤図面に配置済み、赤色の部品は盤図面に配置されていない部品を表します。



■電線情報タブ

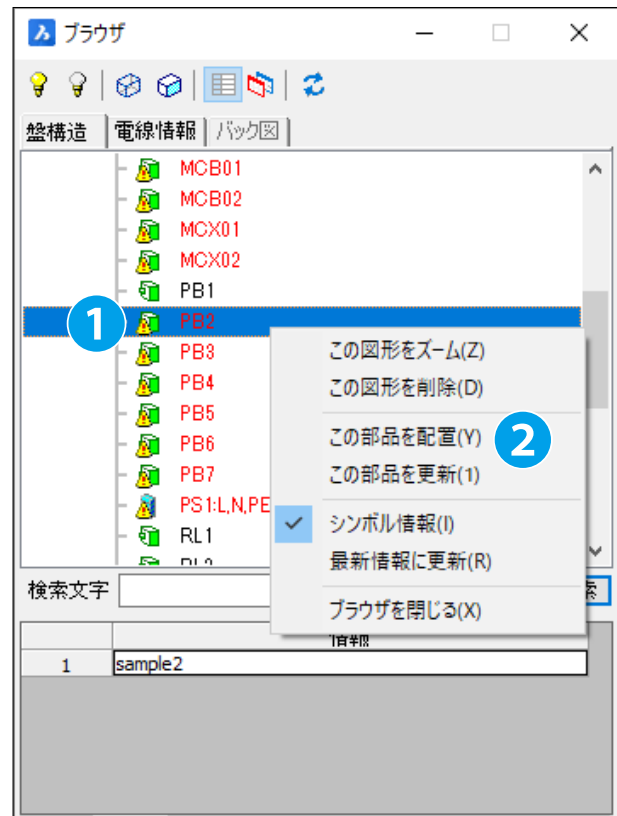
回路図の線番と電線毎のサブネット、および、接続されている部品情報をツリー表示します。

■バック図タブ

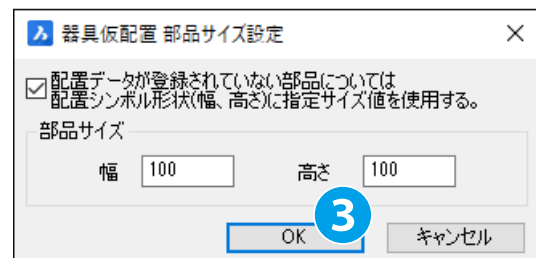
オプション製品である盤配線支援にて使用する機能です。

8.2.3. 部品の配置

1. 盤構造ブラウザの [全体]-[P1]-[(空白)]-[PB2] を選択します。①
2. 右クリックして表示されるメニューから [この部品を配置] をクリックします。②



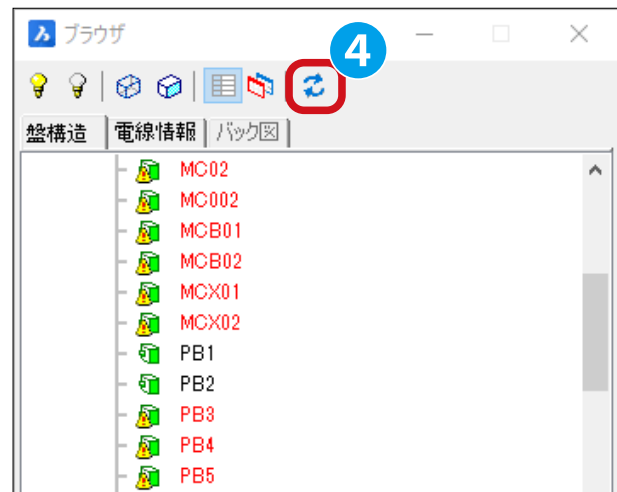
3. 器具仮配置 部品サイズ設定ダイアログが表示されます。
"OK" をクリックします。③



4. カーソルに部品「PB2」が付随します。
図面の任意の位置でクリックし、図面に配置します。



5. 盤構造ブラウザの更新アイコンをクリックします。④
表示が更新され、「PB2」が黒色で表示されます。



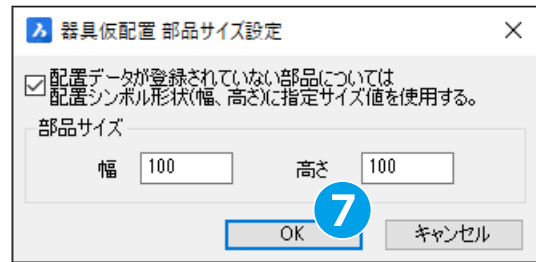
6. 盤構造ブラウザの [P1]-[(空白)]-[MCB01] を選択します。
⑤

7. 右クリックして表示されるメニューから [この部品を配置] をクリックします。⑥

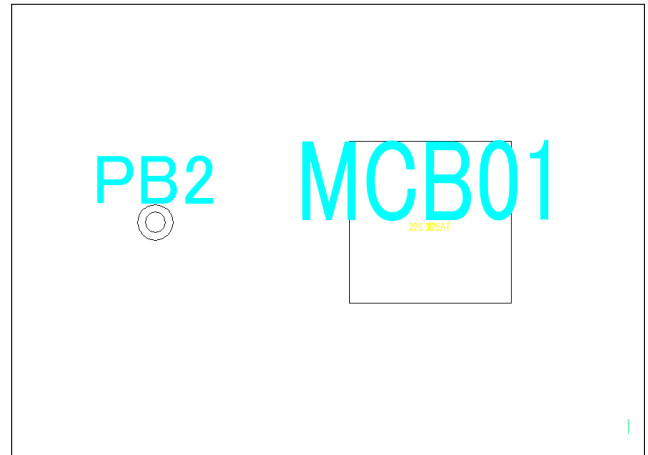


8章 . 盤図コマンド

8. 器具仮配置 部品サイズ設定ダイアログが表示されます。
"OK" をクリックします。⑦



9. カーソルに部品「MCB01」が追従します。
図面の任意の位置でクリックし、図面に配置します。



! ワンポイント

■部品配置時の部品形状について

前述の手順で配置した「PB2」は外形図として配置されました。一方、「M1」は 100mm × 100mm の正方形で配置されました。

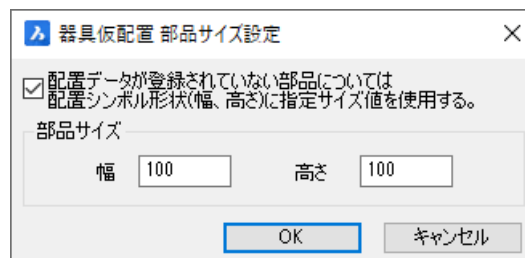
この違いは部品の形状 (シンボル) が部品マスタに登録されているか否かに依ります。

※正確には物件ファイル内の .mdb ファイルに部品の形状が登録されているか否かとなります。

「PB2」に指定されている部品コード「B1VAP-1」には盤図に配置する際のシンボル (項目名: 対応器具シンボル) が指定されています。

一方、「M1」に指定されている部品コード「NFB020」には対応器具シンボルが登録されていません。

この場合、部品マスタに形状 (項目名: 形状 (幅)、形状 (高さ)) が登録されていれば、その値に応じた長方形のダミーシンボル、形状も登録されていない場合は、下記ダイアログ (手順 3.) で設定した形状のダミーシンボル (デフォルトは 100mm × 100mm) が配置されます。



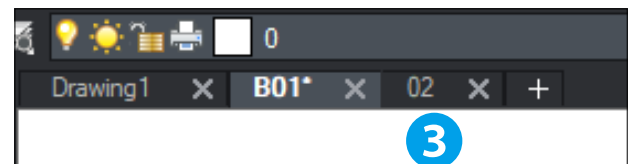
8.1.4. 設計変更

設計の変更（部品の変更）が発生した際の手順を記載します。ここでは「PB1」を変更する際の手順を記載します。

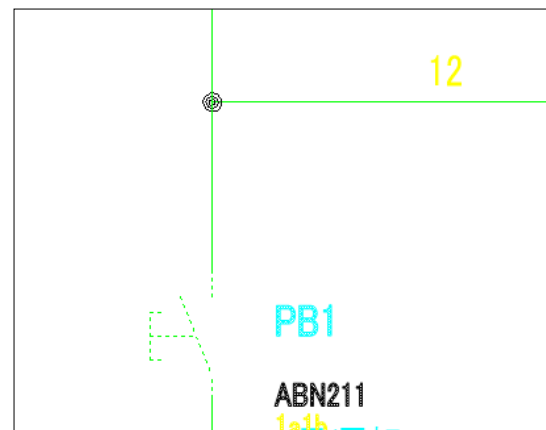
1. 盤構造ブラウザの [P1]-[(空白)]-[PB1] を選択します。①
2. 右クリックして表示されるメニューから [この図形をズーム] をクリックします。②



3. 図面「02」が自動で開きます。
図面タブの「02」をクリックします。③



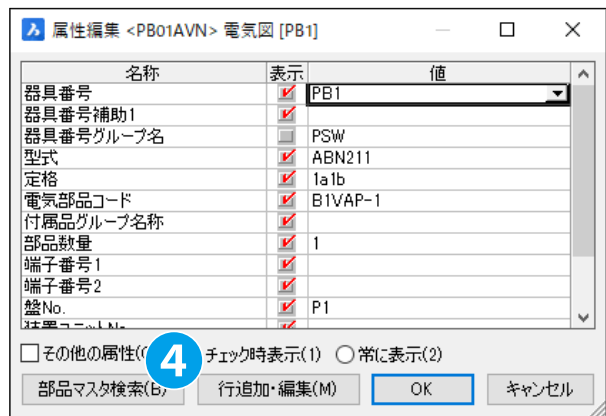
4. 「PB1」が拡大・選択された状態で表示されています。
「PB1」をダブルクリックします。



8章．盤図コマンド

5. 属性編集ダイアログが表示されます。

"部品マスタ検索" をクリックします。④



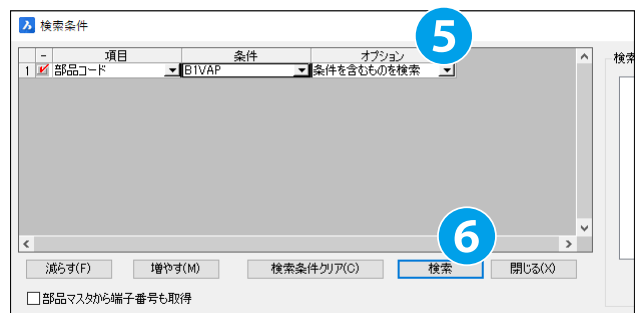
6. 検索条件ダイアログが表示されます。

以下の条件を入力します。⑤

項目：部品コード

条件：B1VAP

オプション：条件を含むものを検索

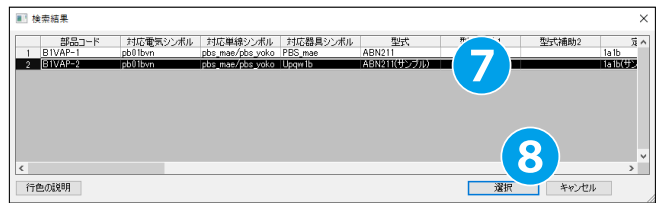


7." 検索 " をクリックします。⑥

8. 検索結果ダイアログに検索結果が表示されます。

部品コード「B1VAP-2」の行を選択し、⑦ " 選択 " をクリックします。⑧

9." キャンセル " をクリックして、検索結果ダイアログを閉じます。



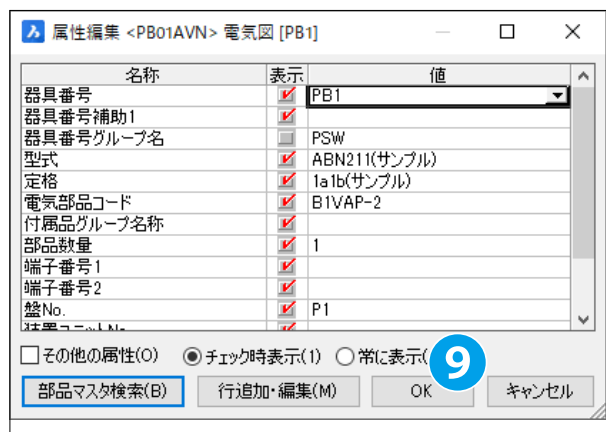
10. 属性編集ダイアログの電気部品コードが「B1VAP-2」になっていることを確認します。

11."OK" をクリックして属性編集ダイアログを閉じます。⑨

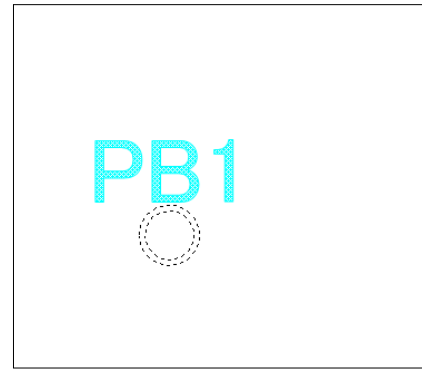
12.Enter を押します。

※連続配置を終了します。

13.[ファイル]-[上書き保存] をクリックします。



12. 図面タブの「B01」をクリックします。
「PB1」が拡大・選択された状態で表示されています。



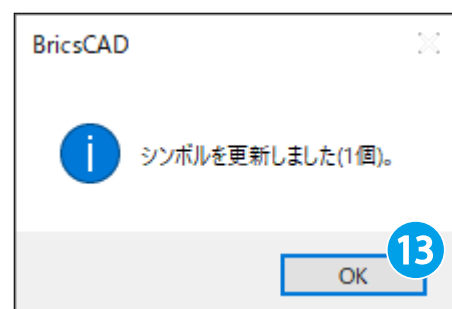
12. 盤構造ブラウザの更新アイコンをクリックします。⑩

13. [P1]-[(空白)]-[PB1] を選択します。⑪

- 14 右クリックして表示されるメニューから [この部品を更新] をクリックします。⑫

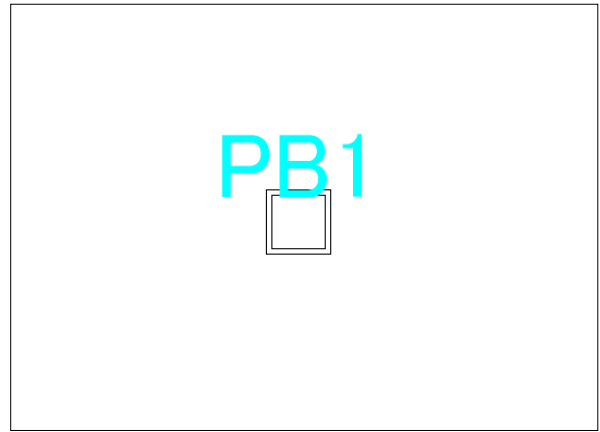


15. "OK" をクリックします。



8章 . 盤図コマンド

16. 「PB1」の形状が更新されていることを確認します。
17. 盤構造ブラウザを閉じます。
18. [ファイル]-[上書き保存]をクリックします。



8.3 端子配置

盤図に端子を配置する手順を記載します。

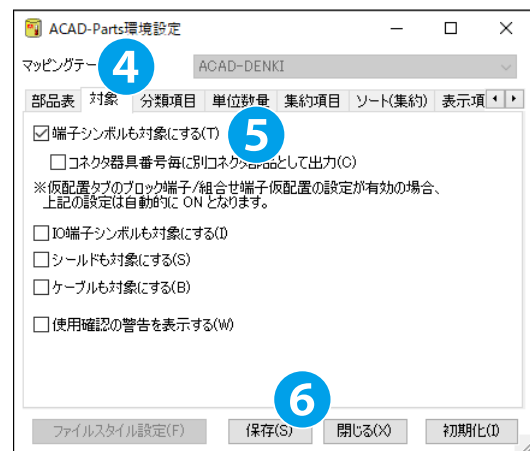
8.3.1. 端子配置の前に

端子配置の前に端子が配置できるよう ACAD-Parts の設定を変更します。

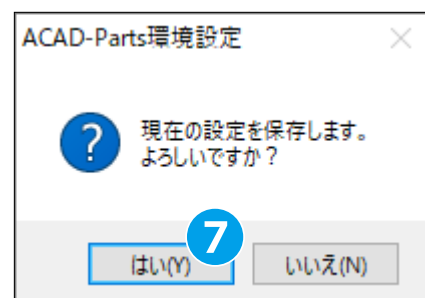
- 1.Windows のスタートメニューの [Alfatech]-[アルファテックランチャー] をクリックします。
2. アルファテックランチャーが起動します。
3. 左ペインの [管理ツール]-[ACAD-Parts] を選択します。①
4. 右ペインの [環境設定] を選択し、② "起動" をクリックします。③



- 5.ACAD-Parts 環境設定ダイアログが表示されます。
6. 「対象」タブをクリックします。④
7. 「端子シンボルも対象にする」にチェックを入れます。⑤
8. "保存" をクリックします。⑥



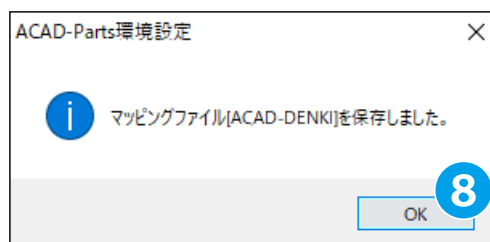
9. 確認のダイアログが表示されます。
"はい" をクリックします。⑦



8章 . 盤図コマンド

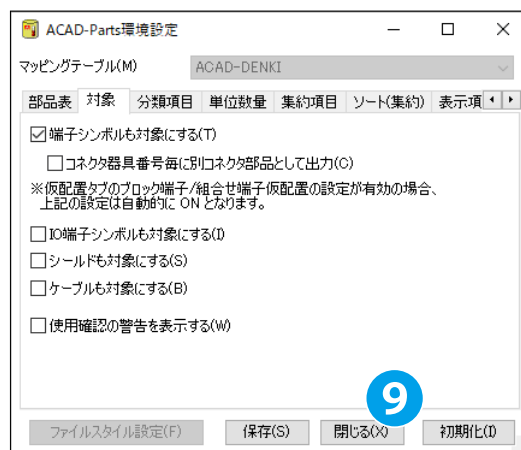
10. 確認のダイアログが表示されます。

"OK" をクリックします。⑧



11. "閉じる" をクリックします。⑨

12. アルファテックランチャーで "終了" をクリックします。

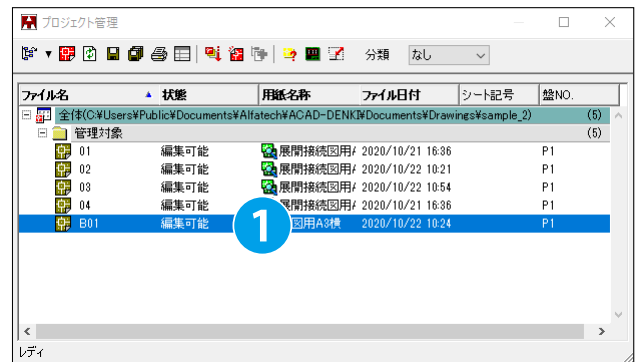


8.3.2. ブロック端子仮配置

1.ACAD-DENKI を起動します。

2.[プロジェクト]-[開く]をクリックし、8.1.1. でコピー & ペーストしたフォルダを開きます。

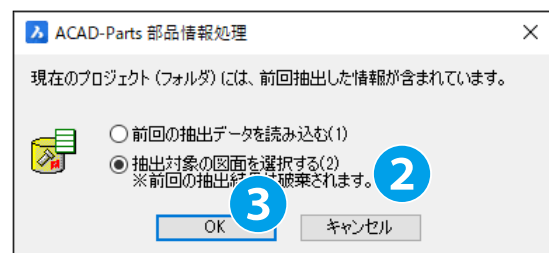
3. プロジェクト管理ダイアログが表示されます。
「B01」をダブルクリックします。①



4. 「B01」が開きます。

[ACAD-Parts]-[部品情報処理]をクリックします。

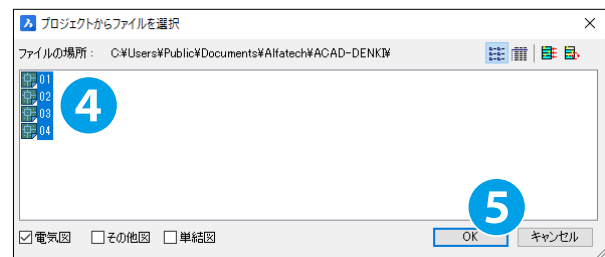
5.ACAD-Parts 部品情報処理ダイアログが表示されます。
「○抽出対象の図面を選択する」にチェックします。②



6."OK"をクリックします。③

7. ファイル選択ダイアログが表示されます。

「01」～「04」を選択して、④ "OK" をクリックします。⑤

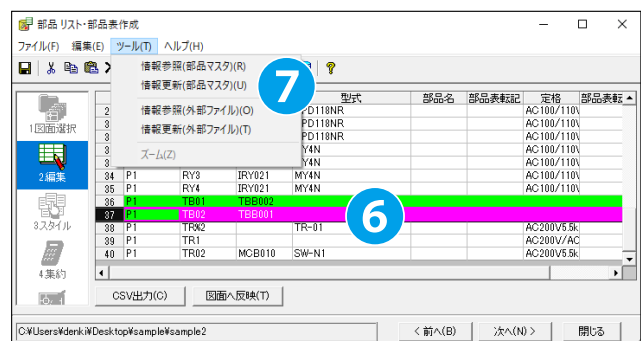


8. 部品リスト・部品表作成ダイアログが表示されます。

ブロック端子(行色:緑)が抽出されていることを確認します。

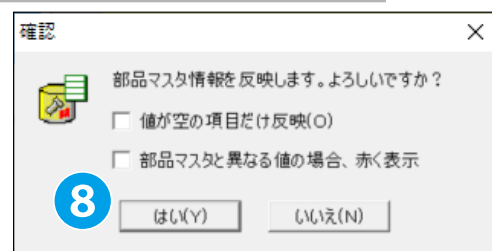
以下の行を選択し、⑥ [ツール]-[情報更新(部品マスタ)]
をクリックします。⑦

器具番号: TB02



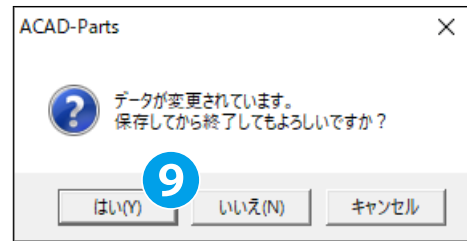
9. 確認のダイアログが表示されます。

"はい"をクリックします。⑧



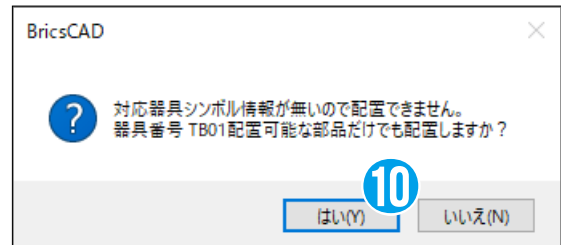
8章．盤図コマンド

10. 部品リスト・部品表作成ダイアログの "閉じる" をクリックします。



11. 確認のダイアログが表示されます。
"はい" をクリックします。⑨

12.[ACAD-Parts]-[ブロック端子仮配置] をクリックします。

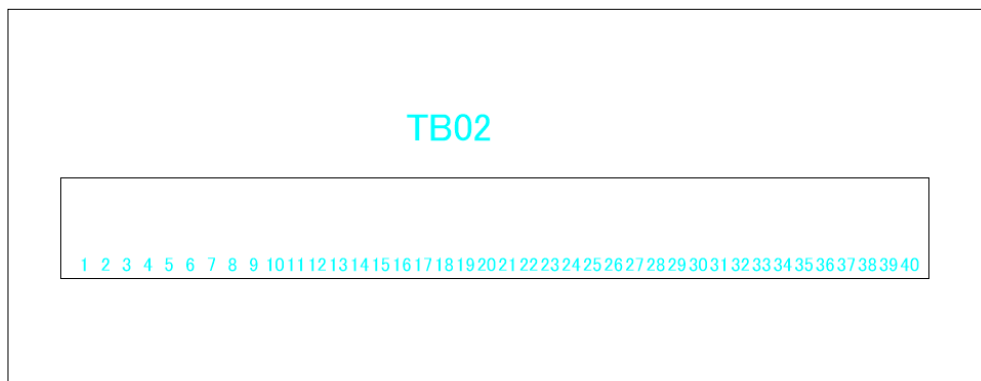


13. 確認のダイアログが表示されます。
"はい" をクリックします。⑩

14. ブロック端子仮配置ダイアログが表示されます。
器具番号「TB02」を選択し、⑪ "配置" をクリックします。
⑫



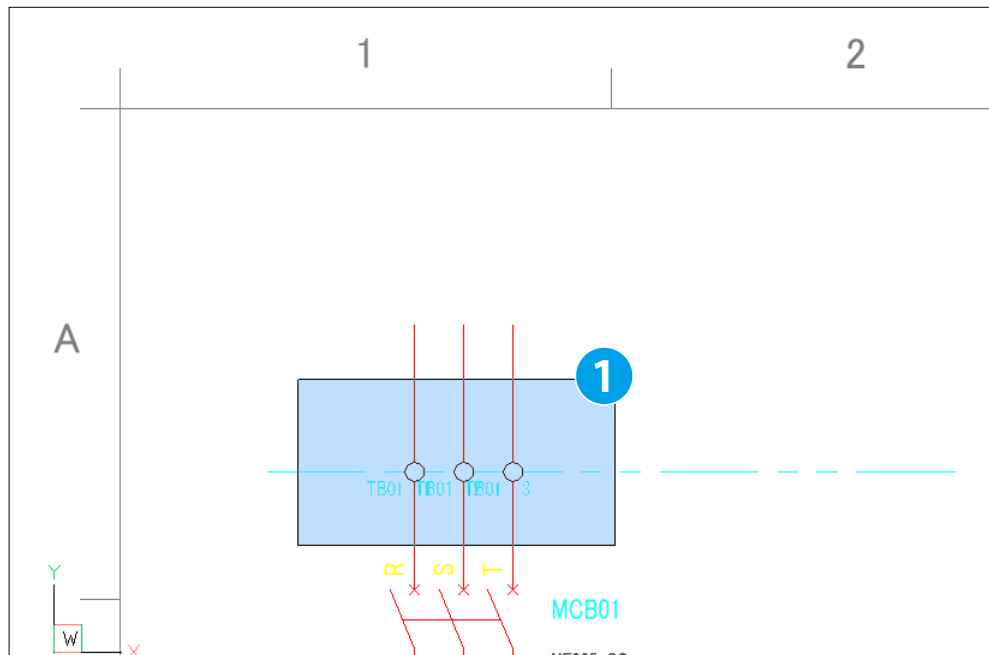
15. カーソルに端子台 (ブロック) が付随します。
任意の位置に配置します。



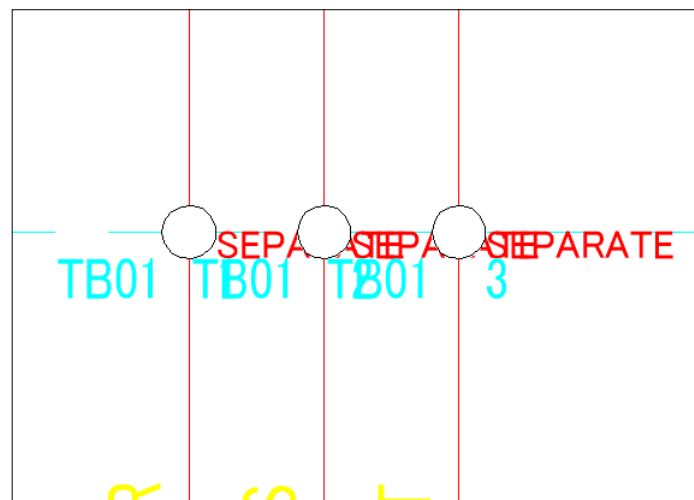
16. ブロック端子仮配置ダイアログで "閉じる" をクリックします。

8.3.3. 組合せ端子仮配置

1. プロジェクト管理ダイアログから「01」を開きます。
2. [シンボル]-[PARTS 処理対象指定]-[端子シンボル個別化指定] をクリックします。
3. 下図を参考に図面内の端子シンボルを範囲選択します。①



4. Enter を押します。
端子シンボルに「SEPARATE」が表示されます。



! ワンポイント

■端子シンボル個別化指定について

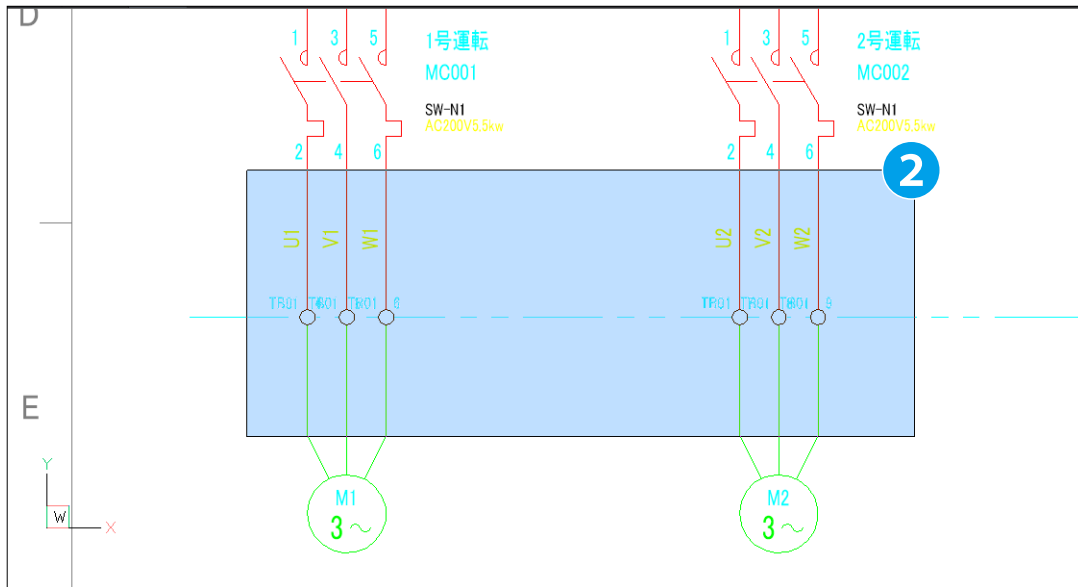
端子シンボル個別化指定は部品情報処理にて端子シンボルを個別端子として扱う設定に変更する処理です。

この処理を行わない場合、部品情報処理において端子は器具番号単位で処理されます。

8章．盤図コマンド

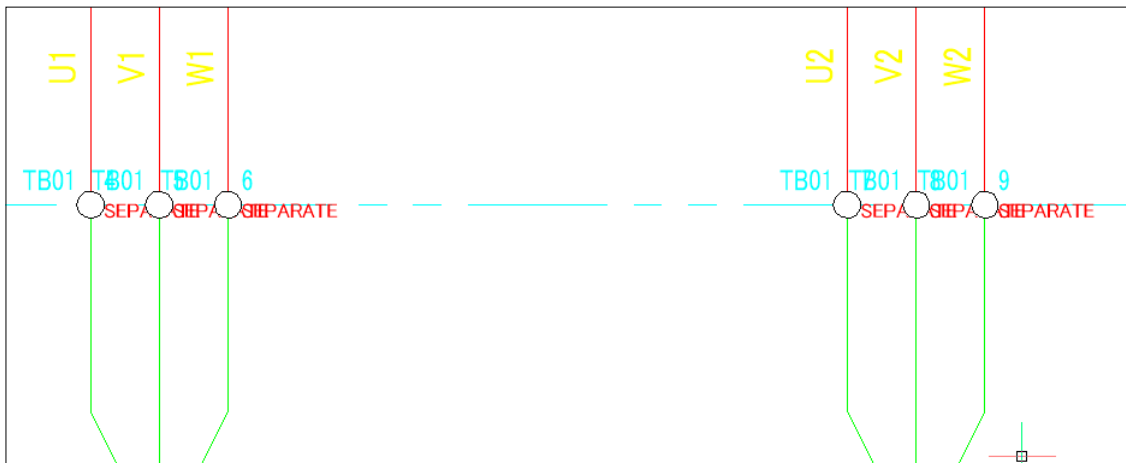
5.[シンボル]-[PARTS処理対象指定]-[端子シンボル個別化指定]
をクリックします。

6. 下図を参考に図面内の端子シンボルを範囲選択します。



7.Enterを押します。

端子シンボルに「SEPARATE」が表示されます。



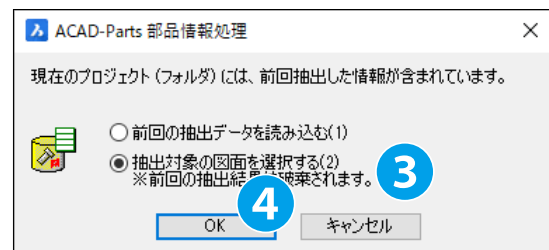
8. 「B01」をカレントページにします。

9.[ACAD-Parts]-[部品情報処理]をクリックします。

10.ACAD-Parts 部品情報処理ダイアログが表示されます。

「○抽出対象の図面を選択する」にチェックします。③

11."OK" をクリックします。④



12. ファイル選択ダイアログが表示されます。

「01」～「04」を選択して、5 "OK" をクリックします。6

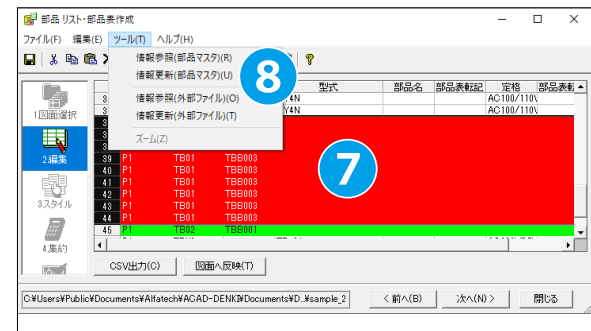


13. 部品リスト・部品表作成ダイアログが表示されます。

組合せ端子 (行色: 水色) が抽出されていることを確認します。

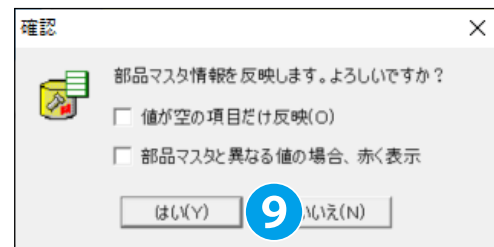
以下の行を選択し、7 [ツール]-[情報更新 (部品マスタ)] をクリックします。8

器具番号: TB01



14. 確認のダイアログが表示されます。

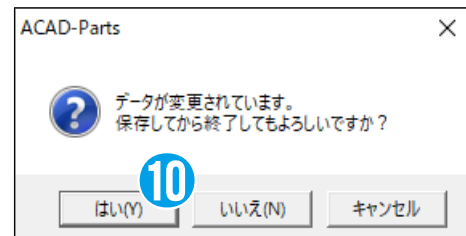
"はい" をクリックします。9



15. 部品リスト・部品表作成ダイアログの "閉じる" をクリックします。

16. 確認のダイアログが表示されます。

"はい" をクリックします。10



17.[ACAD-Parts]-[組合せ端子仮配置] をクリックします。

18. 組合せ端子仮配置ダイアログが表示されます。

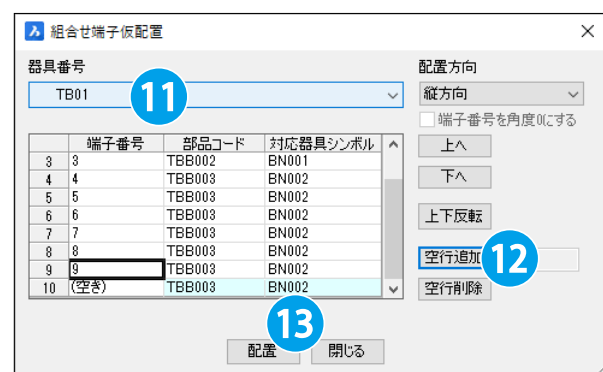
器具番号「TB01」を選択します。11

19. 端子番号「9」の行を選択し、" 空行追加 " をクリックします。

12

20. 空行 (未使用の端子) が追加されます。

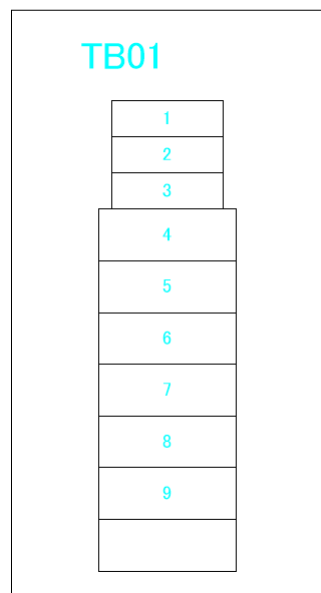
21." 配置 " をクリックします。13



8章．盤図コマンド

22. カーソルに端子台 (組合せ) が付随します。
任意の位置に配置します。

23. 組合せ端子仮配置ダイアログで " 閉じる " をクリックします。



! ワンポイント

■ブロック端子と組合せ端子について

ブロック端子は端子台単位 (器具番号単位) を一つのシンボルで表します。

一方、組合せ端子は端子一つ一つが別のシンボルで表します。

そのため、組合せ端子は手順 22. で配置したように端子毎に形状を変えることが可能です。

8.4 Parts 外部ファイル照合

外部ファイルと部品情報処理にて抽出した回路図面情報を照合する手順を記載します。

8.4.1. 情報の照合

1.ACAD-DENKI を起動します。

2.[プロジェクト]-[開く] をクリックします。

3. サンプル物件を開きます。

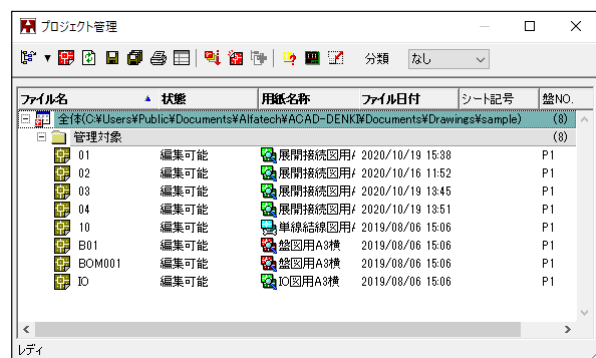
※サンプル物件は下記 URL の [サンプルファイル]-[ACAD-DENKI チュートリアルファイル] よりサンプル物件「sample」をダウンロードし、利用してください。
<https://www.alfatech.jp/support/supportdownload/>

外部ネットワークに接続できない環境の場合、インストーラデータ (MEDIA_A_1041.iso) 内の下記パスに上記 URL と同じデータがあります。

MEDIA_A_1041¥MISC¥Manual_Sample¥sample
 サンプル物件の配置先は任意で問題ありません。

4."フォルダを選択" をクリックします。

5. プロジェクト管理ダイアログが開きます。

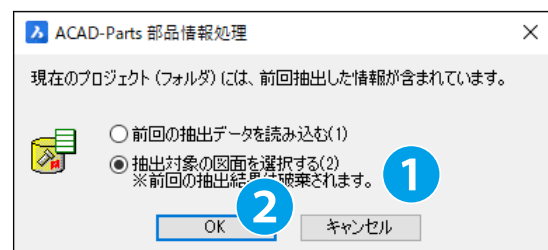


6.[ACAD-Parts]-[部品情報処理] をクリックします。

7. 確認のダイアログが表示されます。

「○抽出対象の図面を選択する」にチェックします。①

8."OK" をクリックします。②



9. プロジェクトからファイル選択ダイアログが表示されます。

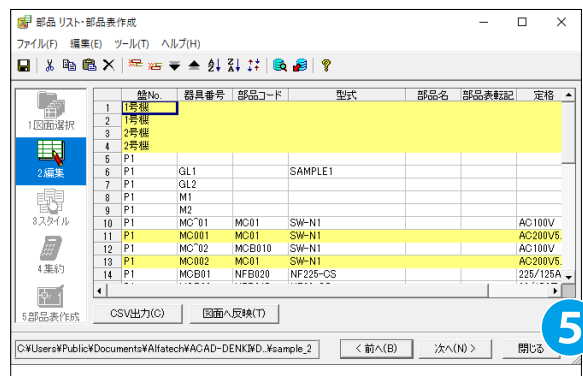
「01」～「04」を選択し、③ "OK" をクリックします。④



8章 . 盤図コマンド

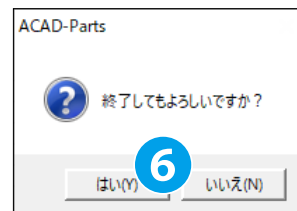
10. 部品リスト・部品表作成ダイアログが表示されます。

"閉じる"をクリックします。⑤



11. 確認のダイアログが表示されます。

"はい"をクリックします。⑥



12. [ACAD-Parts]-[Parts 外部ファイル照合] をクリックします。

13. Parts 外部ファイル照合ダイアログが表示されます。

以下の項目を設定・入力します。⑦

ファイルスタイル: Sample-Style1

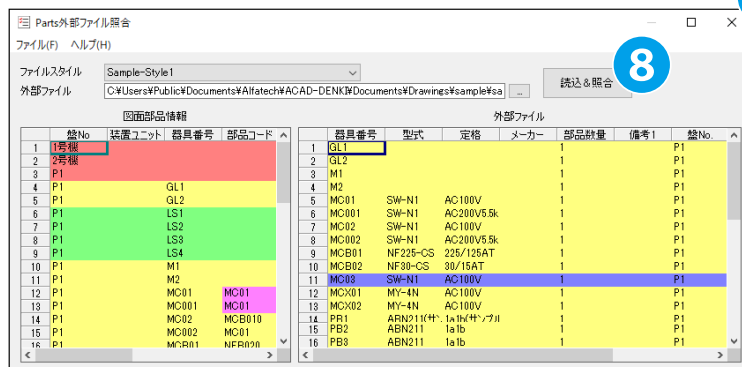
外部ファイル: サンプル物件内の sample.csv



14. "読み込 & 照合" をクリックします。⑧

15. 照合結果が表示されます。

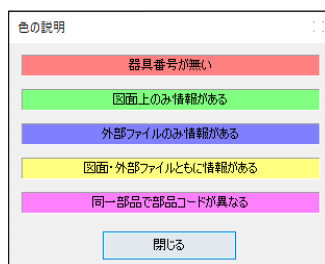
確認したら "×" をクリックし、ダイアログを閉じます。⑨



ワンポイント

■照合結果の行色について

Parts 外部ファイル照合ダイアログの [ヘルプ]-[色の説明] をクリックすると、行色の説明を確認できます。



8.5 Parts 回路図・盤図照合

回路図面と盤図面の情報を照合する手順を記載します。

8.5.1. 情報の照合

1.ACAD-DENKI を起動します。

2.[プロジェクト]-[開く] をクリックします。

3. サンプル物件を開きます。

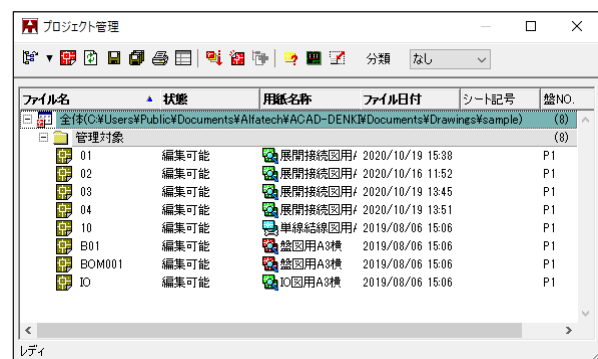
※サンプル物件は下記 URL の [サンプルファイル]-[ACAD-DENKI チュートリアルファイル] よりサンプル物件「sample」をダウンロードし、利用してください。
<https://www.alfatech.jp/support/supportdownload/>

外部ネットワークに接続できない環境の場合、インストーラデータ (MEDIA_A_1041.iso) 内の下記パスに上記 URL と同じデータがあります。

MEDIA_A_1041\MISC¥Manual_Sample¥sample
 サンプル物件の配置先は任意で問題ありません。

4."フォルダを選択" をクリックします。

5. プロジェクト管理ダイアログが開きます。

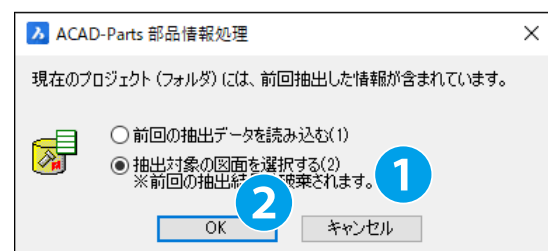


6.[ACAD-Parts]-[部品情報処理] をクリックします。

7. 確認のダイアログが表示されます。

「○抽出対象の図面を選択する」にチェックします。①

8."OK" をクリックします。②



9. プロジェクトからファイル選択ダイアログが表示されます。

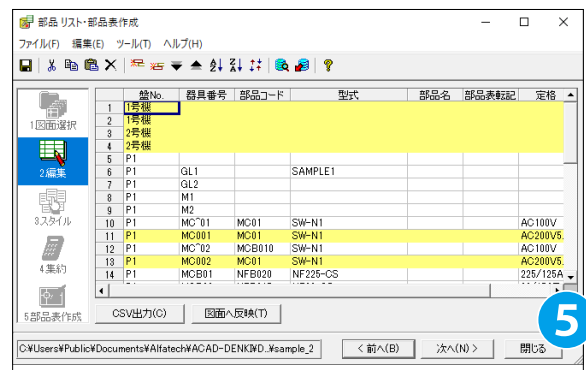
「01」～「04」を選択し、③ "OK" をクリックします。④



8章 . 盤図コマンド

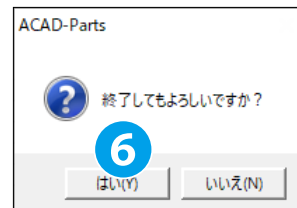
10. 部品リスト・部品表作成ダイアログが表示されます。

"閉じる"をクリックします。⑤



11. 確認のダイアログが表示されます。

"はい"をクリックします。⑥



12.[ACAD-Parts]-[Parts 回路図・盤図照合]をクリックします。

13.Parts 回路図・盤図照合ダイアログが表示されます。

照合結果が表示されます。

確認したら "×" をクリックし、ダイアログを閉じます。⑦

ワンポイント

■照合結果の行色について

Parts 回路図・盤図照合ダイアログの [ヘルプ]-[色の説明] をクリックすると、行色の説明を確認できます。



2021年12月 第1版 発行
2022年12月 第3版 発行

発行者
図研アルファテック株式会社
<https://www.alfatech.jp/>
